

# 事業概要

令和5年版



---

# 公園管理

---

## ●上野恩賜公園

例年多くのお花見観光客で賑わう上野恩賜公園ですが、新型コロナウイルスに伴う制限が解除され、4年ぶりに園内の一部箇所でお花見宴会を解禁いたしました。なお、混雑緩和のため、さくら通りを一方通行にするとともに、地元警察、消防、観光連盟と連携した夜間合同パトロールを実施し、お花見ルールの徹底を図りました。

また、東京都都市公園制度制定150周年記念事業の一環である「It's My Park Day!」では、台東区ラジオ体操連盟協力のもと、竹の台広場にて「みんなでラジオ体操」を開催しました。当日は上野恩賜公園のゆるキャラである「うえのん」も登場し、盛況のうちにイベントを終えることができました。このようなイベント等を通じて、公園利用者に対して公園の楽しみ方や公園への理解を発信いたしました。

(桜花期のさくら通り)



(お花見ルールの横断幕)



(みんなでラジオ体操)



(「うえのん」と記念撮影)



---

# 公園整備

---

## ● 青山公園

令和5年2月1日青山公園の南地区拡張部分が新たに開園しました。芝生広場やモニュメント遊具などが整備されました。



## ● 篠崎公園

「篠崎公園地区高台まちづくり事業」において令和5年度から予定する盛土工事に先立ち、仮設道路の整備等を実施しました。



## ● 戸山公園

震災時に断水しても機能を発揮できるように防災トイレを整備しました。



## ● 横網町公園

災害時に管理所が停電しても電気を供給できるように非常用発電設備を整備しました。



---

---

## 庭園整備

---

---

文化財庭園の修復・復元を推進することにより世界をおもてなしする庭園を再生し、東京の魅力を向上させています。

### ●旧岩崎邸庭園

管理所を新築すると共に、これまで復元工事を行ってきた芝庭のさらなる拡張整備を行いました。

<芝庭の復元>



### ●浜離宮恩賜庭園

崩落の危険性がある箇所があった庭園外周部の石積について、伝統工法も用いながら修復を行いました。

<庭園外周の石積修復>



---

---

## 霊園整備

---

---

霊園の再生では墓所の移転や立体埋蔵施設の設置等により、墓所需要に対応すると共に広場空間を確保しています。

### ●青山霊園

西半部の2箇所では墓所の移転・返還跡地を小広場として整備し、散策や墓参時の休憩に利用できるようにしました。

<整備した小広場>



### ●谷中霊園

西部・北東部の2箇所では墓所の移転・返還跡地を小広場として整備し、散策や墓参時の休憩に利用できるようにしました。

<整備した小広場>



# 動物園整備

## ●多摩動物公園

ウォッチングセンター建物内の動物ホールの天井を改修し、フルカラーLED照明や音響に配慮した安全な天井として利用されています。



アフリカ園チーター舎の放飼場の天井等を改修し、令和5年2月にリニューアルオープンしました。10頭のチーター（2023年7月現在）は来園者に大変人気があります。



## ●葛西臨海水族園

マグロ等展示施設の機械設備の要である水槽循環ポンプを更新しました。これらの機械設備は安全安心な飼育展示を支えています。



# はじめに

都立公園は、東京の緑と水のネットワークの拠点として極めて重要であるとともに、都市環境の改善、散策やスポーツなどのレクリエーション、賑わい創出や地域活性化の拠点、動植物の生息・生育空間、そして激甚化する災害等に対する防災機能の発揮等、複合的で多様な役割を果たしています。また、本年5月に五類へと移行した新型コロナウイルス感染症への対応、東京2020大会レガシーの継承と更なる発展、首都東京が直面する様々なニーズへの対応も求められています。

東部公園緑地事務所は、昭和20年(1945)に東京都公園緑地北部出張所として誕生しました。現在、23区内にある50の都立公園(練馬城址公園を含む)、5つの霊園(千葉県松戸市にある八柱霊園を含む)、2つの葬儀所、4つの動物園(日野市の多摩動物公園、武蔵野市・三鷹市の井の頭自然文化園を含む)の計61の施設の整備や管理を所管しています。以下に、本事務所の今年度の取組の一端をご紹介します。

本年10月に開園150年を迎える上野恩賜公園は、我が国の都市公園の嚆矢といえる公園です。平成21年度の再生基本計画に基づく整備を進め、令和2年にはJR上野駅公園口の移設に合わせた駅前広場等の整備を行い、駅と公園との動線の快適性、安全性等を向上させました。本年度は夜間景観の向上を目指した整備や、開園150周年イベント上野恩賜公園総合文化祭等を開催します。

都立公園の新規拡張を含めた防災公園機能の強化は都立公園事業の重要な柱です。本年4月には城北中央公園の追加開園(約0.58ha)、5月には練馬城址公園の新規開園(約3.21ha)、9月には高井戸公園の追加開園(約1.17ha)等を行いました。篠崎公園、城北中央公園、林試の森公園等では引き続き新規拡張整備を進めるとともに、猿江恩賜公園や石神井公園、浮間公園等では災害時に備えた非常用発電設備等の整備を行っていきます。

東京を代表する庭園の一つ浜離宮恩賜庭園では、外周石積みの修復設計や、お伝い橋の改修工事等を行います。また、小石川後楽園では通天橋の修復準備工事、旧古河庭園では洋館外壁の補修等を進めます。旧岩崎邸庭園は新管理所、芝庭拡張部分の約0.25haを6月に追加開園しました。この他の庭園についても、文化財庭園としてのさらなる価値の向上と活用をめざして計画的に修復、復元等を行っていきます。

シャオシャオ、レイレイの双子のパンダ等で人気の恩賜上野動物園では、新正門脇へのスタッフ事務所の設置やサル山改修準備、輸送施設の解体工事等に取り組みます。また、サバナエリアの再整備の進む多摩動物公園ではシマウマ・オリックス舎等の整備を引き続き進めていきます。

都立霊園の整備等も本事務所の主要業務の一つです。快適に広く都民が利用できる「霊園」と緑豊かな「公園」とが共存する空間となるよう、青山、谷中、染井、雑司ヶ谷の各霊園において再生事業を進めるとともに、瑞江葬儀所、青山葬儀所ではそれぞれ施設の建替えを進めていきます。

このように幅広い業務を所管する東部公園緑地事務所は、『『未来の東京』戦略 version up 2023』の「水と緑溢れる東京戦略」に掲げる「水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京」の実現に向けて、以下の方針により業務に取り組んでまいります。

## 令和五年度 東部公園緑地事務所組織方針

### ○基本方針

- 1 「未来の東京」戦略に基づき、成長と成熟が両立した持続可能な都市・東京の実現に向け総合的な施策をより現場に近い視点から展開
- 2 「T O K Y O強靱化プロジェクト」等に基づいた、組織の枠を超えて未来につながる公園・庭園、霊園、動物園等の効果的・重点的な整備と、適正かつ効率的な管理運営の推進
- 3 都立公園 150 周年を迎え、都立公園大改革をはじめとする様々な取組を推進し、都民の財産である都立公園が有するポテンシャルを 最大限発揮させることで、都民の Q O Sを向上
- 4 「シン・トセイ」戦略に基づき、D Xの推進を梃子に制度や仕組みの根本まで遡って構造改革を推進するとともに職員の意識を改革

### ○重点方針

- 1 バージョンアップした「未来の東京」戦略及び「T O K Y O強靱化プロジェクト」に基づき、強靱で持続可能な都市・東京の実現に向けた都市づくりを着実に推進するとともに、東京 2020 大会を契機として前進したバリアフリー化など、大会レガシーを着実に継承・発展させるとともに、コロナ禍を乗り越え、「水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京」に向けた都市づくりを事務所として着実に推進する
- 2 都立公園大改革の各プラン実現に向けて、本庁、東京都政策連携団体と一体となり推進する
- 3 建設局事業改革・推進戦略に基づき、既存の概念や前例にとらわれることなく、仕事の進め方、職員の意識改革、建設 D X の推進などに迅速かつ弾力的に取り組み、整備効果の早期発現につながる事業執行力の一層の向上を図る
- 4 利用者満足度を高める適切かつ効率的な管理・運営を行うため、指定管理者の指導監督の一層の充実と直営上野恩賜公園における模範となる公園運営を着実に進めるとともに、公園の多面的活用を進めるなど、公園制度制定 150 年の歴史を有する公園の持つポテンシャルを引き出し、魅力を一層高めるための取組を進める
- 5 関係部署や所内横断的な連携強化による迅速で効率的な用地取得を進めるとともに、所事業の進行管理を徹底する
- 6 令和 6 年 4 月より時間外労働の罰則付き上限規制が建設業に適用されることを踏まえ、D X の推進や働き方改革などにより、品質を確保しつつ建設業の生産性や魅力の向上に取り組む
- 7 「現場第一主義」に立ち、東京都政策連携団体、本庁とのコミュニケーションの円滑化と組織の機能強化を図るとともに、24 時間・365 日体制で日頃から高い危機管理意識を持って職務に取り組み、事故ゼロを徹底、発災時の対応力の向上を図る
- 8 東京の緑を支え続けるため、職員一人ひとりが、幅広い視野と高い情報収集の感度を持ち、技術と知見の承継・研鑽、専門能力の向上を図るとともに、自由闊達な議論を通して、組織力の向上と一体感ある職場づくりを進め、スピードと柔軟さをもって課題解決を進める
- 9 東京都都市公園制度制定 150 周年・上野恩賜公園開園 150 周年総合文化祭等を成功させ、「上野の山・池から未来を紡ぐ」をテーマとした各種取組を地元区、関係団体等と連携・協力して積極的に推進する

# 目 次

## 巻頭トピックス

### はじめに

第1 概要	1
1 沿革	1
2 所掌事務と区域	3
3 組織と分掌事務	7
4 職員の配置	8
5 令和5年度予算と令和4年度決算	9
第2 主要事業	11
1 公園・緑地の計画及び事業	11
2 事業用地の取得	17
3 動物園の計画及び事業	18
4 公園の整備	22
5 上野恩賜公園再生事業	25
6 文化財庭園保存修復	26
7 霊園再生事業等	27
8 動物園の整備	28
9 検査業務	30
10 苗木の育成	31
11 既設公園の維持	31
12 ホームレス及び屋台対策	32
13 都民との協働	34
14 思い出ベンチ事業	35
第3 施設の概要	36
1 あらまし	36
2 指定管理者制度	36
3 公園・管理施設一覧表	39
(1) 直営公園	39
(2) 委任公園	43
(3) 動物園等	86
第4 管内の文化財	91
付 表	93
1 有料施設の概要	94
(1) 入園料	94
(2) 使用料	94
2 年度別有料施設利用状況	101
3 開園（管理）面積調書	103
4 管内公園所在地一覧	104



# 第1 概 要

## 1 沿 革

当事務所は、平成10年度組織改正により従来の公園緑地事務所が、3事務所から2事務所構成となり、23区全域の都立公園・都立霊園の整備及び管理、風致地区の行為の許可事務等を担当する東京都東部公園緑地事務所として、旧東京都北部公園緑地事務所庁舎に平成10年4月1日発足した。

年 月 日	旧南部公園緑地事務所	旧北部公園緑地事務所
昭和20年4月1日	東京都計画局の出先機関として、東京都公園緑地南部出張所として発足した。	東京都計画局の出先機関として、東京都公園緑地北部出張所として発足した。
昭和21年2月1日	東京都計画局が建設局と改称される。東京都建設局公園緑地南部出張所と改称。	東京都計画局が建設局と改称される。東京都建設局公園緑地北部出張所と改称。
昭和24年6月11日	東京都南部公園緑地事務所と名称が変わる。	東京都北部公園緑地事務所と名称が変わる。
昭和37年7月20日		庁舎の老朽化及び上野公園改造計画に基づき、現在地の一面に庁舎を新築。
昭和38年5月	庁舎の老朽化及び日比谷公園内にあった法務省庁舎が移転したことにより、日比谷公園大音楽堂際に新築移転した。	
平成元年4月1日		庁舎の狭小と老朽化及び上野公園緑の相談所並びに上野公園総合案内所開設計画に伴い、現在地に庁舎を新築移転した。1階が緑の相談所、2・3階が北部公園緑地事務所となる。
平成2年7月1日	庁舎の老朽化及び日比谷公園緑の相談所（愛称「日比谷公園グリーンサロン」）の新規開設に伴い、新庁舎を建設した。1階が緑の相談所、2・3階が南部公園緑地事務所となる。	
平成10年3月31日	平成10年度組織改正により、南部公園緑地事務所及び北部公園緑地事務所を廃止。	
平成10年4月1日	東京都東部公園緑地事務所として発足。事業推進課設置。	
平成13年4月1日	用地課を廃止し庶務課に用地係設置。	

年 月 日	東部公園緑地事務所
平成18年4月1日	動物園関係組織の廃止（指定管理者制度）に伴い、管理課に「動物園管理担当係長」及び工事課に「動物園整備担当課長」と「動物園工事係」、「多摩動物公園工事担当係長」、「動物園設備担当係長」が配置され、従前の事務事業以外に、動物園整備・動物園管理業務が加わる。（東京都恩賜上野動物園、東京都多摩動物公園、東京都井の頭自然文化園、東京都葛西臨海水族園は、平成18年3月31日付で東京都の組織が廃止される。指定管理者へ管理を移行：公益財団法人 東京動物園協会）
平成27年4月1日	オリンピック・パラリンピック会場整備関係組織を工事課内に設置（オリンピック・パラリンピック会場整備係）
平成28年4月1日	オリンピック・パラリンピック会場整備事務所を夢の島公園内に設置
令和2年3月31日	オリンピック・パラリンピック会場整備事務所の廃止

【東京都東部公園緑地事務所庁舎概要】

	東京都東部公園緑地事務所 (事務所棟)	東京都東部公園緑地事務所（別棟）	
所在地	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-47		
用途地域	第3種高度地区、都市計画公園、第2種風致地区、第1種文教地区		
地域地区	第1種中高層住居専用地域	防火地域	準防火地域
全面道路	幅員(8.100~9.850m)	敷地面積	2,698.15㎡
建築面積	630.22㎡	191.29㎡	
延床面積	2,259.29㎡	374.30㎡	
建物構造	鉄筋コンクリート造（地上3階、地下1階）	軽量鉄骨ブレース構造（地上2階） GLから6.962m、軒高（6.380m）	
配置	1階（上野グリーンサロン：展示・休憩施設） 2階（所長室、庶務課、管理課、会議室：2室、女子休養室） 3階（庶務課用地担当、事業推進課、工事課、男子休養室）	1階（駐車場、物品・書類倉庫、身障者用便所） 2階（会議室：3室、便所、給湯室）	

## 2 所掌事務と区域

- (1) 東京都 23 区全域における都市公園、霊園、葬儀所、史跡名勝に関する事務を所掌する。  
 (2) このほか、多摩動物公園（日野市）、井の頭自然文化園（武蔵野市・三鷹市）及び八柱霊園（千葉県松戸市）を所掌する。

### [営造物公園等]

令和 5 年 6 月 1 日現在

種 別	箇 所 数			開園面積 (ha)
	総数	直営	指定管理者	
公 園	42	2	40	944.8
庭 園	8		8	59.3
計	50	2	48	1004.1
霊 園	5		5	158.7
葬儀所	2	1	1	4.7
動物園	4		4	94.6
計	11	1	10	258.0

### 《参 考》

#### ○ (財) 東京都公園協会に管理委託した公園等

- 昭和 60 年 10 月委託 ⇒ 青山霊園、谷中霊園、雑司ヶ谷霊園、染井霊園、八柱霊園、青山葬儀所、瑞江葬儀所 (5 霊園 2 葬儀所)
- 昭和 61 年 4 月委託 ⇒ 芝公園、戸山公園、亀戸中央公園、猿江恩賜公園、夢の島公園、潮風公園、台場公園、城北中央公園、東綾瀬公園、篠崎公園、浮間公園、東白鬚公園、舎人公園、赤塚公園、石神井公園、善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園 (18 公園)
- 昭和 61 年 4 月委託 ⇒ 緑の情報センター (緑の相談コーナー、緑の図書館)
- 平成 2 年 4 月委託 ⇒ 大泉中央公園 (1 公園)
- 平成 3 年 4 月委託 ⇒ 日比谷公園緑の相談所、上野公園緑の相談所、水元公園緑の相談所 (3 相談所)
- 平成 4 年 4 月委託 ⇒ 林試の森公園、木場公園 (2 公園)
- 平成 4 年 6 月委託 ⇒ 戸山公園緑の相談所、木場公園緑の相談所 (2 相談所)
- 平成 5 年 4 月委託 ⇒ 祖師谷公園 (1 公園)
- 平成 9 年 4 月委託 ⇒ 浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、清澄庭園、小石川後樂園、六義園、旧古河庭園、向島百花園 (7 庭園)
- 平成 10 年 4 月委託 ⇒ 砧公園、蘆花恒春園、駒沢オリンピック公園 (3 公園)
- 平成 11 年 4 月委託 ⇒ 光が丘公園 (1 公園)
- 平成 12 年 3 月廃止 ⇒ 緑の相談センター及び緑の相談所廃止 (組織改正)
- 平成 13 年 4 月委託 ⇒ 尾久の原公園、中川公園 (2 公園)
- 平成 13 年 10 月委託 ⇒ 旧岩崎邸庭園 (1 庭園)
- 平成 14 年 4 月委託 ⇒ 葛西臨海公園、大島小松川公園、宇喜田公園 (3 公園)

○指定管理者制度の導入による指定管理者への委任

- 平成 18 年 4 月委任 ⇒ 日比谷公園、上野恩賜公園、横綱町公園、代々木公園、青山公園、  
明治公園、水元公園を除き委任 (31 公園、8 庭園、5 霊園、2 施設)  
⇒ 動物園施設を委任  
(恩賜上野動物園、多摩動物公園、井の頭自然文化園、葛西臨海水族園)  
⇒ 汐入公園の開設に伴う委任追加
- 平成 20 年 4 月委任 ⇒ 青山公園、明治公園、横綱町公園の委任追加
- 平成 21 年 4 月委任 ⇒ 日比谷公園、代々木公園、水元公園の委任追加
- 平成 22 年 7 月委任 ⇒ 東京臨海広域防災公園の開設に伴う委任追加
- 令和 2 年 6 月委任 ⇒ 高井戸公園の開設に伴う委任追加
- 令和 5 年 5 月委任 ⇒ 練馬城址公園の開設に伴う委任追加

○各区長への委任

- 平成 12 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における風致地区の業務の一部

○第 2 次一括法に伴う権限移譲

- 平成 24 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における特別緑地保全地区の行為の規制等に係る業務の全部  
※同地区内の所有地の管理のみ行っている。

○政令改正に伴う権限移譲

- 平成 26 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における風致地区の業務の全部

○事務所の直営管理

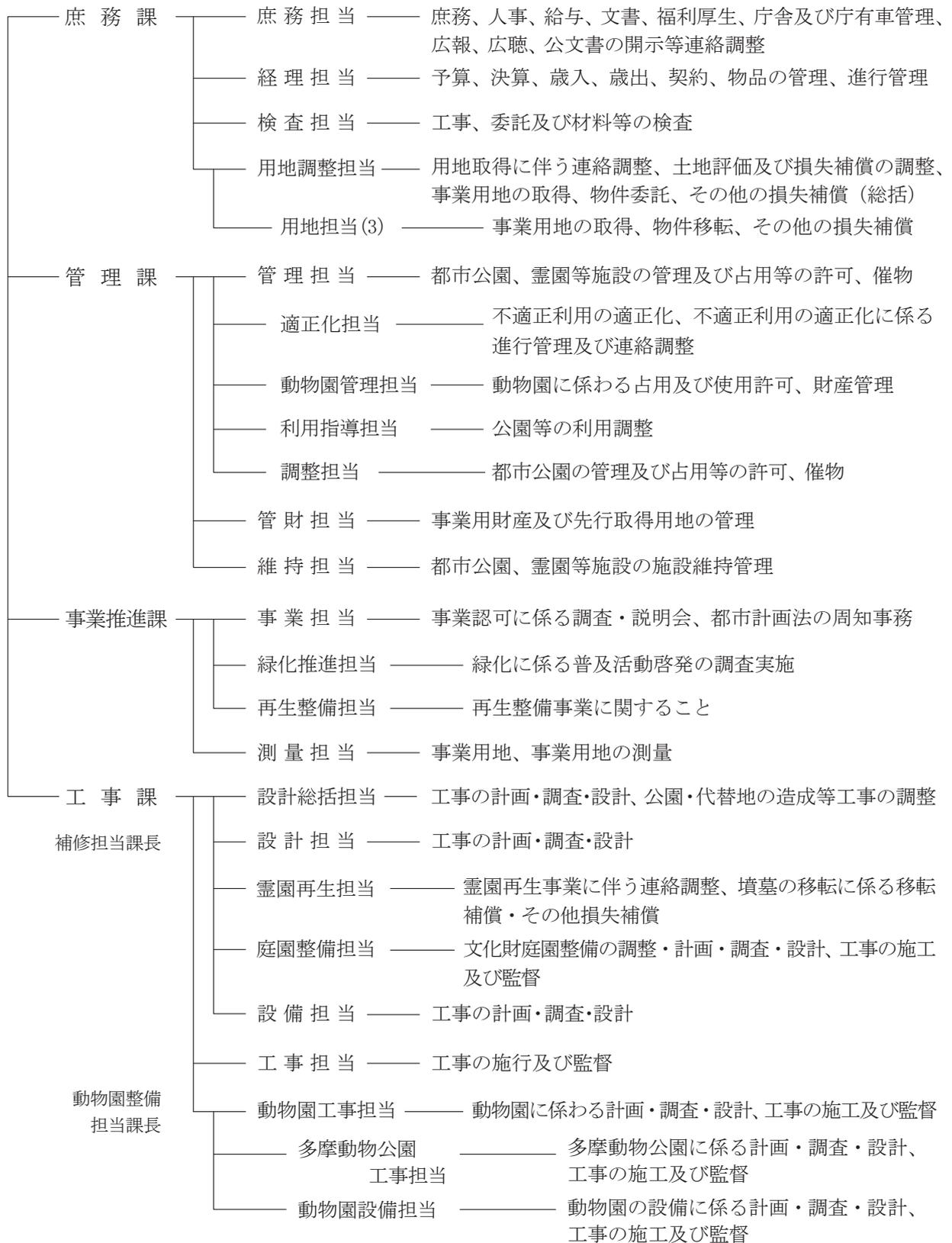
- 平成 28 年 4 月 1 日 ⇒ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備のため、  
明治公園が東部公園緑地事務所直営管理となった。
- 令和 3 年 4 月 1 日 ⇒ 施設老朽化に伴う建替えのため、青山葬儀所が東部公園緑地事務所  
直営管理となった。





### 3 組織と分掌事務

令和5年6月1日現在



# 4 職員の配置

令和5年6月1日現在

所属	職種	管理職				一般職員								小計	会計年度任用職員 (専門職)	会計年度任用職員 (アシスタント職員)	合計
		事務	土木	林業	造園	事務	土木	建築	機械	電気	造園	農園芸	1-技				
庶務課		1			1	<1> 11		1						<1> 14	1	2	<1> 17
	課長代理 (庶務担当)					1								1			1
	課長代理 (経理担当)					1								1			1
	課長代理 (検査担当)						<1> 1							<1> 1			<1> 1
	課長代理 (用地調整担当)					1								1			1
	課長代理 (用地担当)					3								3			3
	小計	1			1	<1> 17	<1> 1	1						<2> 21	1	2	<2> 24
管理課		1				8			2	<1> 2	<1> 1	1	1	<2> 15	9	4	28
	課長代理 (管理担当)					1								1			1
	課長代理 (適正化担当)				<1> 1									<1> 1			1
	課長代理 (動物園管理担当)					1								1			1
	課長代理 (利用指導担当)				<1> 1									<1> 1			1
	課長代理 (調整担当)					1								1			1
	課長代理 (管財担当)					1								1			1
	課長代理 (維持担当)									<1> 1				<1> 1			<1> 1
	小計	1				<2> 14			2	<2> 3	<1> 1	1	1	<5> 22	9	4	<5> 35
事業推進課					1		3					4		8	1		9
	課長代理 (事業担当)											1		1			1
	課長代理 (緑化推進担当)											1		1			1
	課長代理 (上野再生整備担当)											1		1			1
	課長代理 (測量担当)						1							1			1
	小計				1		4					7		12	1		13
工事課			1	1	1	2	5	7	3	4	<1> 17			<1> 41	2	1	44
	課長代理 (設計総括担当)											1		1			1
	課長代理 (設計担当)						1			1	1			3			3
	課長代理 (設備担当)								1					1			1
	課長代理 (壺園再生担当)					1								1			1
	課長代理 (庭園整備担当)										1			1			1
	課長代理 (工事担当)										1			1			1
	課長代理 (動物園工事担当)										1			1			1
	課長代理 (多摩動物公園工事担当)										1			1			1
	課長代理 (動物園設備担当)								1					1			1
	小計		1	1	1	3	6	7	5	5	<1> 23			<1> 52	2	1	<1> 55
合計		2	1	1	3	<3> 34	11	8	5	7	<3> 33	<1> 1	1	<8> 107	13	7	<8> 127

※再任用職員を<>内書

## 5 令和5年度予算と令和4年度決算

東部公園緑地事務所

### 歳入

(単位：千円)

科 目		令和5年度予算額	令和4年度決算額
使用料及手数料		7,085,722	5,398,187
使 用 料		7,078,136	5,389,871
土 木 使 用 料		7,078,136	5,389,871
	公園及付属施設	2,996,995	3,094,197
	動物園	3,765,082	1,985,298
	霊園葬祭施設	316,059	310,376
手 数 料		7,586	8,316
土 木 手 数 料		7,585	8,313
	証 明 閲 覧	537	582
	霊園使用許可証交付	7,048	7,731
諸 手 数 料		1	3
	情 報 公 開	1	3
諸 収 入		18,007	26,304
延滞金及加算金		0	0
	延滞金	0	0
弁償金及報奨金		0	0
	諸費弁償金	0	0
物品売払代金		6,630	10,825
	不用品売払代金	6,630	10,825
雑 入		11,377	15,479
納 付 金		0	0
	雇用保険料納付金	0	0
庁舎管理費等収入		11,377	13,776
	光熱水費	11,377	13,776
	通 信 費	0	0
契約違約金		0	1,612
	契約違約金	0	1,612
雑 入		0	91
	雑 入	0	91
合 計		7,103,729	5,424,491

歳 出

(単位:千円)

会計	科目		5年度 予算額 ※1 (A)	4年度 予算額 ※1 (B)	予算増減 (A-B)	4年度 決算額 (C)	4年度 執行率 (C/B)%	
	款	項						
一般	土木費		10,387,319	10,562,733	▲ 175,414	9,342,073	88%	
		土木管理費	15	4,710	▲ 4,695	1,748	37%	
		管理費	15	4,710	▲ 4,695	1,748	37%	
		道路橋梁費	0	0	0	534	-	
		交通安全施設費	0	600	▲ 600	534	-	
	公園霊園費		10,387,304	10,558,023	▲ 170,719	9,339,791	88%	
		管理費	27,002	24,538	2,464	20,867	85%	
		公園管理費	448,085	438,168	9,917	415,972	95%	
		動物園管理費	4,831	11,524	▲ 6,693	9,919	86%	
		霊園葬儀所管理費	4,721	4,824	▲ 103	4,135	-	
		公園整備費	6,806,278	6,683,202	123,076	6,964,701	104%	
		(用地補償費内書)	(5,338,000)	(2,489,000)	(2,849,000)	(3,513,878)	(141%)	
		動物園整備費	2,009,293	2,433,945	▲ 424,652	1,211,435	50%	
		霊園葬儀所整備費	1,087,094	961,822	125,272	712,762	74%	
	会	諸支出金		0	0	0	0	-
			諸費	0	0	0	0	-
			過誤納還付金	0	0	0	0	-
計	環境費		13,202	12,618	584	12,351	98%	
		環境保全費	13,202	12,618	584	12,351	98%	
		自然環境費	13,202	12,618	584	12,351	98%	
	産業労働費		45,540	0	45,540	0	-	
		労働費	45,540	0	45,540	0	-	
就業促進費 ※2		45,540	0	45,540	0	-		
商工業振興費		0	0	0	0	-		
観光産業振興費 ※2		0	0	0	0	-		
一般会計合計			10,446,061	10,575,351	▲ 129,290	9,354,424	88%	
用地	用地費		2,110,000	2,967,000	▲ 857,000	2,633,189	89%	
		用地買収費	2,110,000	2,967,000	▲ 857,000	2,633,189	89%	
		諸用地先行取得費	2,110,000	2,967,000	▲ 857,000	2,633,189	89%	
総合計			12,556,061	13,542,351	▲ 986,290	11,987,613	89%	

※1 「予算額」は年度当初に本庁から示される配付計画額であるため、年度途中の追加配付を受け執行した場合、執行率が100%を超えることがある。

※2 令和4年度の就業促進費は、全件とも起工額が8,000万円以上であることから全て本庁起工案件のため、所への配付予算は0円である。

# 第2 主要事業

## 1 公園・緑地の計画及び事業

### (1) 公園・緑地の役割

東京のような大都市における都立公園のように大規模な公園は、次のような役割を果たす重要な都市施設であり、なくてはならない存在である。

- ① 都市景観に風格をもたらすとともに季節感を与え、心にうるおいを醸し出す場
- ② 大気を浄化し、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の急激な気象の変化を緩和する場
- ③ 自然豊かな環境のもとにおけるレクリエーションの場
- ④ 災害発災時の避難場所や救援部隊等の活動拠点となる防災空間

特に近年の阪神・淡路大震災（1995年）や東日本大震災（2011年）、度重なる水害の教訓から、公園・緑地の公共空地（オープンスペース）の機能や災害時の救援活動等の拠点として都民の生命や財産を守る役割が改めて認識されている。

東京においては、公園や緑地の面積は未だ十分とは言えず、上記の役割を果たすためには、大規模な公園や緑地を引き続き計画的に着実に整備していく必要がある。

### (2) 公園・緑地計画の沿革

#### ア 公園の始まり

東京における公園の歴史は、1873年の太政官布達により、かねてより市民の慰楽の地として親しまれてきた上野、浅草、芝、深川及び飛鳥山の5公園が指定されたことに始まった。

その後、1889年に東京市区改正設計に基づく「公園」として、日比谷公園を始めとする49か所（約330ha）が新たに造成する計画的な公園として決定された。

#### イ 都市計画への位置づけ

1919年に都市計画法（旧法）が制定され、「公園」が道路や河川と同じ都市計画施設（用地を取得して設置する公共施設）として位置付けられた。その際、東京市区改正条例により決定された「公園」も都市計画法に基づく「公園」として位置付けられた。

その後、1923年に発生した関東大震災の復興計画の一環として新たに隅田公園、浜町公園、錦糸公園の3大公園と52か所の小公園が都市計画決定され、ただちに事業化された。

1940年には都市計画法が改正され、新たに「緑地」（公園のような利用を目的とするものではなく、オープンスペースとして存在することを目的とする）が都市計画施設として位置付けられた。また、戦時中の1941年改正防空法により、都市に対する空襲被害が出た場合の避難場所、また延焼を防ぐ目的の空地として「防空緑地」が位置付けられた。

これを受け、砧・神代・小金井・舎人・水元・篠崎の通称「防空大緑地」が「緑地」として都市計画決定された。また、1942年には、駒沢・和田堀・上板橋・浮間・善福寺・石神井・高井戸等が、1943年には祖師ヶ谷・赤塚・東淵江等が都市計画決定され急速な事業化が図られた。

#### ウ 環状緑地計画の策定

1945年の太平洋戦争終了後、焦土と化した東京の再建のため、戦災復興大緑地構想が次の内容で策定された。

- ① 環状に一定（1～4 km）の間隔で、30haから100haの面積を有する大規模な緑地を配し、それぞれを広いグリーンベルトで結ぶ。
- ② 放射方向については、環状の大規模な緑地から都市中心部に向ってくさび状に緑地を導入し、生活圏をそれぞれ分離する。

この構想のもとに青山公園、明治公園など約3,200haの東京復興都市計画公園・緑地を都市計画決定した。

#### エ 都市公園法の制定と都市計画公園・緑地の再検討

1945年の終戦以降、戦後の急激な街並みの復興や占領政策等の諸情勢の変化に対応して1950年には都市計画全体が縮小された。それに伴い公園・緑地計画も廃止縮小など後退を余儀なくされた。

1956年には、公園の管理法として「都市公園法」が施行された。それまでの公園は、単なる空き地として見られることが多く、他に機能が転用され、あるいは不適正な管理が行われることが相次いでいた。「都市公園法」は都市公園の保存を図るため、廃止の際の代替公園の設置、占用物件の制限、建築面積の制限など空地の保存を主眼としていた。この「都市公園法」の制定により、都市公園が将来にわたって存続する施設であることの根拠を得た。

一方、日本経済の立ち直りは早く、各方面にわたる復興と成長は急激な都市の膨張をひきおこした。これにより公園や緑地の用地確保が困難となった。そのため、今までの都市計画公園・緑地の再検討が行われることになった。

1957年以前の公園・緑地計画は以下の系列の計画が併存していた

- ・東京市区改正設計の系列（日比谷公園を含む都市計画中央公園ほか）
- ・関東大震災からの震災復興特別都市計画系列（隅田公園ほか）
- ・東京特別都市計画による緑地（防空緑地ほか）
- ・太平洋戦争からの復興特別都市計画系列（明治公園ほか）

これらの都市計画公園・緑地について東京全体の公園の配置計画を見据えた再検討がなされた。従来の公園のうち事業施行不可能なものを廃止し、その代わりに河川、池沼、社寺境内地等の公共空地の積極的確保が新たに加えられた。この計画は、東京都市計画公園・緑地として全て都市計画審議会に諮られ一元化された。これにより、現在の東京都市計画公園・緑地の骨格が形づくられた。

#### オ 近代～現代の公園緑地計画

1970年代から1980年代初頭にかけては、緑のマスタープランの策定とも相まって政府機関の移転跡地や基地返還跡地などに大規模な公園（光が丘公園、大泉中央公園など）が計画決定された。

### (3) 公園・緑地の整備事業

#### ア 戦前・戦後の公園事業

都市計画決定された公園・緑地を開設するためには、都市計画事業としての認可を得たうえで、用地を取得し、整備工事を行う必要がある。

東京の都市計画公園・緑地の事業は、度重なる大災害や戦災からの復興、社会経済情勢の変化を踏まえた変更を余儀なくされてきた。

1957年の都市計画公園・緑地の再検討以前に事業化がほぼ完了したのは、東京市区改正設計（旧設計）による日比谷公園、震災復興計画による55公園及び砧・神代・小金井・舎人・水元・篠崎の6箇所の防空大緑地の用地買収だけであった。

しかし、他の都市計画公園・緑地は事業化に難航し、次々と計画の縮小を求められた。また、用地買収をほぼ終えていた防空大緑地は、食糧増産の場として地元の農事組合等に貸付け、防空緑地としての機能を維持してきた。しかし、戦後の農地解放により、買収済みであった緑地745haのうち、463haを手放すこととなった。この際に失われた緑地については、後の都市計画事業として改めて着手され、用地取得、整備を進めながら、現在に至っている。

#### イ 大規模用地の公園事業化

1970年代から1980年代初頭にかけて、政府機関の移転跡地や、基地返還跡地に計画された光が丘公園や大泉中央公園など大規模な公園が計画決定され、順次整備開園されていった。

#### ウ 未整備の都市計画公園・緑地の整備方針の策定

イのように一団の用地が確保できた公園は、整備事業がスムーズに進んだ一方、その他の民有地の事業化は困難を極めた。1957年に都市計画決定したものの整備に着手していない区域は2005年当時約2,600haにのぼっていた。

都市計画公園・緑地の区域内の土地は、都市計画法第53条に基づく建築規制（木造2階建て、地下なし）がかかるため、地権者の負担が大きく、都市計画公園の計画的な事業化が求められた。

このため、2006年には東京都都市計画審議会答申「東京らしいみどりをつくる新戦略」を踏まえ「都市計画公園・緑地の整備方針」を都と区市町合同で策定した。

整備方針の内容としては、未整備の都市計画公園・緑地のうち今後10年以内に整備に着手する区域を「優先整備区域」として指定・公表する一方、優先整備区域外の区域については建築規制の内容を緩和するものであった。

「都市計画公園・緑地の整備方針」はその後2011年、2021年の2度改定された。現在はこの2021年改定の整備方針に沿って、「優先整備区域」の2030年度までの事業認可取得に向けて取り組んでいる。なお、当所管内の「重点公園・緑地」は22公園・緑地、「優先整備区域」は面積約52haである。

#### エ 「未来の東京戦略」における公園整備事業

2023年1月策定の「未来の東京戦略Version up 2023」においては、「人々に潤いと活力を与える、緑あふれる東京を実現する」とし、2026年度には都立公園の面積を累計2,098haとする目標である。

#### (4) 事業説明・用地測量

都市計画公園・緑地の、事業認可の取得に先立ち、事業関係者の皆さんからのご理解・ご協力が得られるよう、「事業・測量説明会」を開催し、都市計画事業の仕組みや計画内容の説明を行っている。また、認可告示後には「用地説明会」を開催するなどして用地取得に対する理解を深める機会を設けている。

事業における測量は、関係者の貴重な財産である土地を取得させていただくため、境界や面積を確定し、評価額を算定するための基礎となる重要な作業である。そのための境界確定作業は、公図や登記資料等に基づき再現した点を、関係人立会の下に確認していくことから、細やかな配慮のもと、丁寧に作業を進めている。

都市計画公園・緑地事業の状況

令和5年6月1日現在

都市計画			事業認可				主な都立公園名称	
公園・緑地名称	面積 ha	告示年月日 番号	当初告示年月日 番号	面積 ha	最終告示年月日 番号	面積ha	施行期間	
芝公園	33.0	昭和43年10月17日 建 3106	平成1年8月10日 建 1415	0.1	令和5年2月20日 関 37	0.32	平成1年8月10日 ～令和10年3月31日	芝公園
明治公園	55.13	令和4年3月10日 都 284	令和3年4月21日 関 202	1.6	令和3年4月21日 関 202	1.6	令和3年4月21日 ～令和6年3月31日	明治公園
上野公園	82.5	令和3年3月4日 都 216	令和3年8月23日 関 238	0.03	令和3年8月23日 関 238	0.03	令和3年8月23日 ～令和7年3月31日	上野恩賜公園
清澄公園	9.66	昭和32年12月21日 建 1689	平成10年1月8日 建 19	0.38	令和5年2月20日 関 38	0.44	平成10年1月8日 ～令和10年3月31日	清澄庭園
亀戸中央公園	10.6	昭和48年3月3日 都 243	平成26年4月18日 関 227	0.36	令和4年3月16日 関 101	0.36	平成26年4月18日 ～令和7年3月31日	亀戸中央公園
目黒公園	14.2	平成31年3月8日 都 267	令和2年4月2日 関 179	0.18	令和2年4月2日 関 179	0.18	令和2年4月2日 ～令和7年3月31日	林試の森公園
			令和5年4月3日 関 118	1.82	令和5年4月3日 関 118	1.82	令和5年4月3日 ～令和11年3月31日	
代々木公園	65.8	昭和51年7月13日 都 686	平成28年7月20日 関 258	0.4	令和3年1月5日 関 002	0.4	平成28年7月20日 ～令和7年3月31日	代々木公園
善福寺公園	10.89	昭和32年12月21日 建 1689	昭和27年12月19日 建 1471	2.01	令和3年1月5日 関 003	0.27	昭和27年12月19日 ～令和11年3月31日	善福寺公園
			令和5年2月17日 関 035	0.36	令和5年2月17日 関 035	0.36	令和5年2月17日 ～令和9年3月31日	
善福寺川緑地	28.58	昭和35年3月31日 建 796	令和5年2月17日 建 796	18.4	令和4年3月17日 関 106	18.4	昭和35年3月31日 ～令和11年3月31日	善福寺川緑地

都市計画		事業認可				主な都立公園名称	
公園・緑地名	面積 ha	告示年月日 番 号	当初告示年月日 番 号	面積 ha	最終告示年月日 番 号	面積ha	施行期間
和田堀公園	54.4	昭和51年12月24日 都 1256	昭和32年11月25日 建 1483	5.79	令和3年1月5日 関 004	25.96	昭和32年11月25日 ～令和12年3月31日
和田堀公園	54.4		平成25年6月14日 関 301	0.3	平成31年3月26日 関 65	0.3	平成25年6月14日 ～令和16年3月31日
			平成28年8月31日 関 281	4.3	平成28年8月31日 関 281	4.3	平成28年8月31日 ～令和8年3月31日
高井戸公園	17.4	平成16年5月14日 都 869	平成24年8月27日 関 300	10.9	平成31年3月26日 関 68	10.9	平成24年8月27日 ～令和16年3月31日
祖師ヶ谷公園	53.33	昭和32年12月21日 建 1689	平成1年3月20日 建 665	4.03	令和4年3月16日 関 99	7.37	平成1年3月20日 ～令和10年3月31日
			平成30年4月18日 関 165	0.73	令和5年2月20日 関 039	0.73	平成30年4月18日 ～令和10年3月31日
上板橋公園	43.6	昭和51年7月13日 都 686	令和4年1月25日 関 023	0.1	令和4年1月25日 関 023	0.1	令和3年1月25日 ～令和8年3月31日
			平成8年3月7日 建 393	0.4	令和4年3月17日 関 105	4.2	平成8年3月7日 ～令和13年3月31日
石神井公園	41.1	平成26年11月28日 都 1574	平成26年4月18日 関 225	4.97	平成26年4月18日 関 225	4.97	平成26年4月18日 ～令和6年3月31日
			平成25年6月14日 関 302	0.3	平成31年3月26日 関 67	0.3	平成25年6月14日 ～令和16年3月31日
練馬城址公園	26.66	昭和32年12月21日 都 1689	昭和28年3月30日 建 367	1.99	令和2年2月5日 関 29	9.0	令和3年6月8日 ～令和16年3月31日
			令和3年6月8日 関 216	13.42	令和3年6月8日 関 216	13.42	令和3年6月8日 ～令和16年3月31日

都市計画			事業認可				主な都立公園名称	
公園・緑地名	面積 ha	告示年月日 番号	当初告示年月日 番号	面積 ha	最終告示年月日 番号	面積ha	施行期間	
舎人公園	69.5	平成8年8月23日 都 981	昭和51年10月6日 建 1354	5.0	令和3年1月5日 関 005	65.9	昭和51年10月6日 ～令和8年3月31日	舎人公 園
浮間公園	12.75	昭和32年12月21日 建 1689	昭和35年12月9日 建 2596	12.15	令和3年1月27日 関 21	0.2	昭和35年12月9日 ～令和9年3月31日	浮間公 園
赤塚公園	32.1	平成11年2月26日 都 184	平成2年9月11日 建 1555	0.5	令和5年2月20日 関 040	0.75	平成2年9月11日 ～令和10年3月31日	赤塚公 園
水元公園	145.0	平成16年8月13日 都 1288	昭和62年4月11日 建 957	3.2	令和4年3月16日 関 100	106	昭和46年12月2日 ～令和10年3月31日	水元公 園
			昭和46年12月2日 建 1921					
篠崎公園	86.5	平成27年10月2日 都 1485	平成27年7月31日 関 304	1.0	令和4年3月17日 関 104	1.0	平成27年7月31日 ～令和12年3月31日	篠崎公 園
			平成5年1月12日 建 46					
			平成30年4月18日 建 166					
宇喜田公園	20.0	昭和32年12月21日 建 1689	昭平成18年3月22日 関 126	0.6	令和4年3月16日 関 98	0.32	平成18年3月22日 ～令和10年3月31日	宇喜田公 園

※番号欄 都：東京都告示、建：建設省告示、関：関東地方整備局告示を示す。

## 2 事業用地の取得

当所管内での用地取得は、平成10年度から都内23区全域を対象にしており、令和5年度は、主に篠崎公園・和田堀公園・城北中央（上板橋）公園において用地取得を行う予定である。

なお、令和5年度の用地取得予定公園及び令和4年度の用地取得実績は次表のとおりである。

(1) 令和5年度 用地取得予定

区分		用地	補償
		規模 m <sup>2</sup>	棟
事業地	篠崎公園	2,672	27
	上板橋公園 (城北中央公園)	2,396	15
	和田堀公園	1,635	15
	石神井公園	489	2
	善福寺川緑地	77	1
	善福寺公園	3,600	0
合計		10,869	60

(2) 令和4年度 用地取得実績

区分		用地	補償
		規模 m <sup>2</sup>	件 - 棟
事業地	篠崎公園	5,723	54 - 37
	上板橋公園 (城北中央公園)	210	3 - 2
	和田堀公園	1,700	22 - 12
	石神井公園	0	1 - 0
	祖師ヶ谷公園 (祖師谷公園)	1,068	3 - 1
	上野公園 (上野恩賜公園)	289	0 - 0
合計		8,990	83 - 52

### 3 動物園の計画及び事業

#### (1) 都立動物園・水族園の状況

動物園・水族園は、多様な野生動物の行動や生態、生息環境を伝え、その保全に取り組む必要性を学ぶ場であり、あわせて憩いや安らぎの場を提供している。

都は、平成23年9月に都立動物園・水族園の目指す姿とそれを実現するための取組の方向を示す「都立動物園マスタープラン」を公表、プランに基づき野生動物の保全に貢献し、賑わいを創出するための取組を行ってきた。計画終了に伴い、令和2年11月に「第2次都立動物園マスタープラン」を新たに策定、社会環境の変化等に適切に対応し、持続可能な社会の実現を目指す方向性と取組を示した。

#### (2) 都立動物園マスタープラン

##### ア 計画期間と対象

令和3年度から令和12年度までの概ね10年間

都立動物園・水族園（建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園及び井の頭自然文化園、環境局所管の大島公園動物園）

##### イ 都立動物園の目指す姿と取組の方向

	目指す姿	取組の方向
レクリエーション	<p><b>魅せる</b></p> <p>快適な観覧環境と魅力的な展示や催しで、あらゆる人々をひきつけよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 展示施設や催しの魅力向上を図り、国内外からの多様な来園者をひきつける</li> <li>▶ 多様な来園者が快適に過ごせ、ホスピタリティに満ちた、満足度の高い都立動物園を創る</li> </ul>
環境学習	<p><b>伝える</b></p> <p>野生動物そして地球への理解を深めるため、多様な情報を伝えていこう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ターゲットを定めた多様なプログラムやふれあい活動を実施し、効果的に情報を発信する</li> <li>▶ 多様な主体との協働の取組を進め、環境学習をより積極的かつ効果的に実施する</li> </ul>
種の保存	<p><b>守る</b></p> <p>野生動物の多様性、地球環境を守り、次世代に確実に引き継いでいこう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 希少種の保全など生息域外保全の取組を強化すると共に、生息域内保全にも貢献していく</li> <li>▶ アニマルウェルフェア（動物福祉）に配慮した飼育展示や施設整備を推進する</li> </ul>
調査・研究	<p><b>極める</b></p> <p>野生動物保全の技術を継承し発展させ、化学的な知見を極めていこう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ これまで培ってきた展示手法や飼育繁殖技術等を継承・発展し、発信していくことで、動物園・水族館の発展に寄与する</li> <li>▶ 調査・研究の一層の推進と外部研究機関等の多様な主体との連携を図る</li> </ul>

## ウ 施設更新における方向性

施設を更新していく上では、動物園や水族館という施設の特殊性を踏まえた対応が不可欠なことから、常に最新の情報や知見に基づき、計画的に取り組む必要があり、本計画だけでなく、飼育展示計画や教育普及計画、各園基本方針などを踏まえて検討する必要がある。各園のエリア区分やエリア内での施設の配置や規模などについては、動物の飼育展示施設単体で捉えるのではなく、各展示エリア全体の中でバリアフリーを含めた利用動線、各施設や機能の集約・再配置等の視点で、柔軟に検討していく。

### (3) 各動物園の沿革

#### ア 恩賜上野動物園

恩賜上野動物園は、明治6年の上野恩賜公園開園時には博物館、動物園の適地として計画され国立博物館の付属施設として出発しており、同14年1月に着工、翌15年3月に竣工し、令和4年3月20日には開園140年を迎えている。創設の目的は博物教育に主眼が置かれ、開園面積は約1ha、農商務省の所管であった。その後、同19年に宮内省所管となり、皇室直営の博物館施設として予算にも恵まれ、施設の改良増設がされている。

大正13年に東京市に下賜された後は、檻や囲いをできるだけ廃し、動物と観覧者との距離を縮めた生態観察に留意した施設として改造している。第二次大戦末期には空襲などによる被害を考慮して猛獣等を処分する事態となったが、施設への被弾は一部のみで終戦を迎えた。

戦後は市民のレクリエーションの場として動物園全盛時代を迎え、昭和24年に東照宮周辺や不忍池北側、同26年には不忍池北側を拡張した。昭和27年に海水水族館の新設、交通局による連絡用モノレールの運行が昭和32年に開始され、複数年にわたり建設したアフリカ生態園が昭和34年に竣工、昭和39年には80周年記念事業として水族館が開館した。一方、動物舎は建造から約50年を経過し老朽化したため開園100周年を目指しての大改造計画に着手し、新ゾウ舎（昭和43年）、ゴリラ舎（同44年）、猛禽舎（同45年）、動物病院（同48年）、猛獣プロムナードとペンギン池（同49年）等が順に完成した。

また、昭和47年10月には日中国交回復を記念してジャイアントパンダ2頭が贈呈され、入園者数は倍増し年間800万人近くまで及んだ。その後、飼育下唯一のジャイアントパンダ「リンリン」が平成20年4月に死亡し、三年後の平成23年2月には新たなペア「リーリー」と「シンシン」が来園した。現在、都は中国野生動物保護協会と協定を締結し、共同でジャイアントパンダ日中研究協会プロジェクトを進め、平成29年6月12日には「シャンシャン」が誕生し、令和3年6月23日に誕生した恩賜上野動物園初の双子となる「シャオシャオ・レイレイ」は2歳を迎え元気に成長している。

近年は、自然環境を再現し動物本来の行動を導き出す行動展示を目指した動物舎及び老朽化施設の再整備を進めており、令和4年3月には恩賜上野動物園の「正門」が完成した。動物園の顔である正門は、JR上野駅からの来訪者を動物園に誘導する軸線の中央に位置し、旧正門の門柱や門扉のデザインを踏襲しアレンジした新たなエントランス空間として整備している。

その他、動物舎等の施設の完成は次のとおり。

ゴリラ・トラの住む森（平成5年～平成7年）、両生爬虫類館（平成11年）、ゾウのすむ森（平成16年）、クマたちの丘（平成18年）、アイアイのすむ森（平成21年）、ホッキョクグマとアザラシの森（平成23年）、繁殖センター（平成24年）、管理事務所（平成25年）、動物医療センター（平成27年）、子ども動物園すてっぷ・弁天門（平成29年）、さるやまキッチン(無料休憩所)（令和元年）、パンダのもり（令和2年）

## イ 多摩動物公園

多摩動物公園は、昭和31年1月に建設が開始され昭和33年5月5日に開園した。恩賜上野動物園の入園者数及び動物収容数の増大に伴うセカンドゾーン実現のため適地調査が実施され、郊外の広い敷地での無柵放養式展示と豊かな自然環境の中での動物の保護増殖の推進が可能な場所として、当時の南多摩郡七生村の丘陵地28.7haが入手された。

開園当初の展示はアジアの動物を地理学的に配置したものであったが、来園者からのアフリカ産の動物展示要望を受け、昭和36年に既設北側隣接に約15haの用地を取得し、ライオン園を含むアフリカ園を開園した。また、昭和36年に発足した昆虫園は当時世界的にも希少な施設であったが、昭和44年に本館を開設し施設の充実が図られた。

昭和39年には京王電鉄の乗り入れが実現し道路整備も進み入園者数が増加、ライオンバスの運行が開始された。その後、昭和49年には開園時の二倍を超える年間190万人に達している。また、昭和59年にはオーストラリアから2頭のコアラが来園し爆発的な人気となり、昭和63年には大温室形式の昆虫生態園が完成した。

近年は、緑豊かで広大な敷地を十分に活用したダイナミックな展示施設が整備され人気を博している。アジア園では、アジアゾウの群れ展示に向け、ゾウ舎本体を平成29年、外構を含めた整備は令和3年7月に完成した。また、アフリカ園ではサバンナキッチン（無料休憩所）やライオンバスステーションと放飼場の改築工事に続き、キリン舎の耐震上の課題や老朽化の解消に向けた改築工事が令和4年3月に完成した。令和4年度以降はシマウマ・オリックス舎の改築や、サバンナに生息するキリンやグレービーシマウマ等の放飼場の整備を予定している。

その他、動物舎等の施設の完成は次のとおり。

アフリカゾウ舎（平成6年）、アフリカゾウ展示施設（平成8年）、チンパンジー舎及びマレーバク展示施設（平成12年）、昆虫園本館リニューアル（平成14年）、オランウータンの森（平成17年）、インドサイ舎（平成19年）、ウォークインバードケージ（平成20年）、アジアの平原（平成24年）、サバンナキッチン（無料休憩所）（平成30年）、ライオンバスステーションと放飼場（令和3年）

## ウ 葛西臨海水族園

葛西臨海水族園は、恩賜上野動物園開園100周年記念事業として計画され、昭和59年には葛西臨海公園内に建設されることが決定した。昭和62年3月に工事が着工され、平成元年10月10日に開園を迎えた。葛西臨海公園の中央部に広がる水族園の敷地は約8.6ha、3階建て地上から30.7mの高さ（最高部）のガラスドームが特徴的な建物である。噴水やテントデッキ、海との一連の眺望と周辺の公園を一体のものとして整備している。

施設内容は、マグロの群泳が見られる2,184トンのドーナツ型大水槽の「大洋の航海者」、熱帯・温帯・寒帯の海、そして北極や南極の海の生き物も展示する「世界の海」、波や潮の干満を起こす「渚の生物」、ジャイアントケルプの繁茂する「海藻の林」、小笠原諸島から伊豆七島を経て東京湾までの生物「東京の海」、エトピリカ等海鳥の「海鳥の生態」、波の大プールのペンギン「ペンギンの生態」、東京周辺の河川の再現や池沼、溪流の生物が観察できる「水辺の自然」で構成され、開園以来、飼育展示技術の高さや、希少種の保存の取組が高い評価を受けている。

近年は、経年による施設の劣化が進行し外装材の脱落や躯体コンクリートの損傷等の事象が生じており、老朽箇所対策を計画的に進めるための長期保全計画（10年間／平成29年度）により順次、改修を進めている。

## エ 井の頭自然文化園

井の頭自然文化園は、昭和9年に井の頭恩賜公園にある井の頭池の中之島に小動物園を設置したことに始まり、御殿山地区の自然生態園地区を含めた約11.6haを「東京市井の頭恩賜公園自然文化園」として、昭和17年5月17日に開園した。当園は動植物中心の野外博物館としての性格を持ち、戦時中の手軽なレクリエーション施設として人気を集めたが、戦争末期には爆撃により休園状態となった。しかし、戦後の復興は早く、昭和22年に7月には水生物館が再開した。その後、昭和28年4月にスポーツランドが開設され、昭和29年3月にゾウ舎が完成し、アジアゾウはな子が来園した。

また、井の頭自然文化園の特徴の一つである彫刻園は、故北村西望氏が長崎の平和記念像製作の場としてアトリエを園内に設けたことに始まり、多数の作品が寄贈された。その後、彫刻館の新築やアトリエ館が改修され、平成5年には現在の彫刻館A館、B館、アトリエ館、屋外彫刻からなる彫刻園が完成した。その他、本園にはアカマツや雑木林を活かした武蔵野ハビタット、野鳥の森、リスの小径等の日本産動物の飼育施設、来園者に人気のモルモットふれあいコーナーや、山野草園、ツバキ園などが散在している。分園には水生物館、ハクチョウの池、水禽舎など水に関係のある施設が集められ、特に水生物館では日本産淡水魚及び両生類の飼育展示と保護増殖を行っている。当園は、令和4年5月17日には開園80周年を迎えた。

### 4園の飼育動物総数（令和5年3月31日現在）

施設名	恩賜上野動物園	多摩動物公園	葛西臨海水族園	井の頭自然文化園
総数	299種	282種	918種	162種
	2,822点	21,041点	34,091点	3,050点
哺乳類	96種	55種	—	31種
鳥類	96種	80種	9種	59種
爬虫類	64種	5種	3種	8種
両生類	33種	7種	9種	10種
魚類	7種	5種	451種	38種
無脊椎動物	3種	130種	446種	16種

## 4 公園の整備

### (1) 一般公園造成(公園の新規造成)

都民の公園緑地に対する希求、都市の防災性の向上などの観点から、当事務所では公園の拡大に取り組んでいる。成果として管内(区部)の都立公園面積は1,000ヘクタールを超え、「都民一人当たりの公園面積(都内全域)」も令和5年6月1日現在5.74㎡となっている。

広域的な緑の拠点となる都市公園をめざして都市計画に基づき実施する新規整備の令和5年度事業と令和4年度の整備実績は以下のとおりである。

令和5年度公園整備費(一般公園造成)

計画 1,927百万円(用地、補償関係を除く)

一般公園造成	
芝公園	…園地整備基本・実施設計、園地整備工事
戸山公園	…園地整備実施設計
上野恩賜公園	…園地整備実施設計、園地整備工事、便所建築基本・実施設計、便所建築工事
林試の森公園	…園地整備工事
祖師谷公園	…園地整備基本・実施設計
善福寺川緑地	…園地整備基本・実施設計
和田堀公園	…園地整備工事
高井戸公園	…園地整備工事、擁壁補修工事、駐車場詰所新築工事
城北中央公園	…園地整備基本設計
赤塚公園	…園地整備修正設計、園地整備工事
石神井公園	…園地整備修正設計
舎人公園	…外周園路補足設計
中川公園	…園地整備実施設計
水元公園	…園地整備基本設計、園路基盤整備設計
篠崎公園	…基本・実施設計、駐車場整備工事、施設撤去工事、便所解体工事、便所建築工事、園地改修実施設計、便所解体実施設計、便所改築基本・実施設計、盛土修正基本設計

令和4年度 一般公園造成 整備費ならびに整備概要

箇所	金額(千円)	概要
青山公園・旧岩崎邸庭園・林試の森公園・祖師谷公園・善福寺川緑地・高井戸公園・城北中央公園ほか	6,172,407	園地整備ほか

(2) 既設公園の整備

開園以来、長年多くの人々に利用されてきた公園では、施設の老朽化が進んでいる。こうした施設の改修にあたっては、都民要求の具体化や施設レベルの向上に取り組み、防災機能の向上など公園の諸機能を継続・拡充する整備を行っている。

また、文化財庭園では施設の保存復元に取り組んでいる。このほか、生物多様性の確保や環境負荷の少ない施設への転換、水辺の再生などに、それぞれの公園で取り組んでいる。

令和5年度の主要事業及び令和4年度の整備状況は以下のとおりである。

計画 7,478 百万円

(交付金、上野恩賜公園再生事業、文化財庭園保存修復を含む、補償費は除く)

令和5年度 予算事業別の主な内容

予算事項	令和5年度主な内容
防災公園の整備	潮風公園護岸改修 石神井公園、大島小松川公園ほか防災公園整備 ほか
既設公園の整備	日比谷公園建物改修 芝公園園地改修 戸山公園園路等改修 上野恩賜公園便所建築 猿江恩賜公園受変電設備改修 夢の島公園熱帯植物館空調設備等改修 亀戸中央公園じゃぶじゃぶ池改修基本設計 木場公園遊具改修工事 潮風公園園地改修 林試の森公園排水設備改修実施設計 砧公園園地改修 祖師谷公園テニスコート改修 代々木公園水景施設改修実施設計 和田堀公園競技場改修 尾久の原公園便所建築 汐入公園遊具改修 城北中央公園野球場改修基本設計 浮間公園護岸改修基本設計 石神井公園園地改修基本・実施設計 大泉中央公園受変電設備改修 東綾瀬公園園地改修実施設計 舎人公園陸上競技場改修 中川公園遊具改修 水元公園ドッグラン改修基本設計 篠崎公園便所改修基本・実施設計 葛西臨海公園鳥類園ウォッチングセンター改修 大島小松川公園運動施設照明改修 宇喜田公園施設改修 ほか

公園施設の長寿命化推進	橋梁改修（木場公園、駒沢オリンピック公園、水元公園）
世界をおもてなしする庭園の整備	浜離宮恩賜庭園（お伝い橋ほか改修工事ほか） 小石川後樂園（脇堀復元設計、通天橋修復設計ほか） 旧芝離宮恩賜庭園（施設改修設計、準備工事） 旧古河庭園（洋館外壁修理工事ほか）

令和4年度 公園整備費 予算事項別整備費及び整備の概要

整備概要

予算事項	金額（千円）	概要
防災公園の整備	350,587	戸山公園便所改築、横網町公園防災用発電設備、その他防災公園整備（善福寺川緑地、和田堀公園、宇喜田公園など）
既設公園の整備	1,866,431	代々木公園サッカー・ホッケー場改修工事、尾久の原公園木製デッキ改修工事、東綾瀬公園テニスコート改修工事、大島小松川公園遊具改修工事ほか
環境負荷の少ない都立公園の整備	89,230	葛西臨海公園鳥類園照明設備改修工事
世界をおもてなしする庭園の再生	201,624	浜離宮恩賜庭園石積修復ほか 芝離宮恩賜庭園園地改修設計ほか 旧岩崎邸庭園芝庭復元工事、園地改修設計ほか 旧古河庭園洋館外壁修復設計、木橋改修設計

## 5 上野恩賜公園再生事業

### (1) 上野公園グランドデザイン検討会

東京都は、上野公園を東京の顔となる文化・観光の拠点として、より魅力ある公園に再生させるため、平成19年5月に「上野公園グランドデザイン検討会」（委員長：進士五十八東京農業大学教授（当時））を設置し、上野公園の将来像と10年後を見据えた具体的取組の方向性を検討した。

この検討会の過程で、上野公園グランドデザイン（中間のまとめ）を公表し、平成20年3月から4月にかけて、広く都民の方々に意見を募集した。約500人の方々から頂いた貴重なご意見やご提案などを踏まえ、さらに検討を行った結果について、同検討会から最終報告を受けた。

### (2) 上野公園の将来像

上野公園グランドデザイン検討会報告書は、上野公園の現状と特性を踏まえ、上野公園の将来像を『日本の顔となる「文化の森」の創造』～世界に向けて日本の文化・芸術を発信する拠点づくり～と示した。そして施策の方向を、①世界に向けた『文化』の発信強化、②魅力あるみどりと水の空間創出、③快適な利用の推進とあげている。そして、それを実現するために、公園と周辺地域の各機関が連携、協働し、一体となって取り組むしくみと体制づくりの重要性を示している。

さらに、施策の方向別に、「文化の森」の創造に向けた今後おおむね10年間の基本施策とその具体策を示し、上野公園の整備を推進していくにあたって、歴史や現状の特性を踏まえた「ゾーンとエリア」、「主軸」に分け、それぞれの整備に関する基本的考え方と整備イメージを例示した。

同検討会報告書に基づき、平成4年3月に策定した「上野恩賜公園再生基本計画」の見直しを行い、防災面への対応にも配慮した「(改訂)上野恩賜公園再生基本計画」を平成21年3月に作成した。

### (3) 上野恩賜公園再生整備事業の概要と執行実績

地域の特性を活かしたまちづくり構想の実現や広域的観点から見た適切な地域構造の形成を図る目的で、国土庁・文化庁・運輸省・建設省は合同で、上野周辺の文化施設・鉄道交通・道路交通・市街地・公園の整備について総合的に検討を行い、「上野公園周辺地域整備計画策定報告書（平成7年3月）」をまとめた。「上野恩賜公園再生基本計画」（平成4年3月）は、同報告書に「上野公園整備計画」として位置づけられ、上野恩賜公園再生整備事業が始まった。

整備工事は、平成9年度から平成19年度までに、大噴水東側（1.2ha）、桜並木（1.5ha）、袴腰広場（0.6ha）、公園口前広場外（0.7ha）、中央広場外（3.1ha）、行幸道路外（0.7ha）、日本芸術院前外（1.3ha）、野球場（0.8ha）、旧奏楽堂前（0.9ha）、不忍池周辺（0.4ha）を完了した。

平成22年度からは、平成21年3月に策定した「上野恩賜公園再生基本計画」に基づき、「文化の森」上野恩賜公園の再生として、竹の台広場の整備を行い、平成24年5月にオープンした。

歴史資源エリア及び桜ヶ丘エリアの整備は平成24年度に着手し、平成25年度に完成した。袴腰エリアは平成26年度に着手し、平成27年度に完成した。また、JR上野駅公園口エリアでは、舗装、広場等の整備工事を行い、令和2年度に駅前広場における公園内通路のロータリー化が完了した。

### (4) 今年度の執行予定

令和5年度は、台東区旧上野区民館跡地整備工事、旧東京音楽学校奏楽堂周辺の広場改修工事、新6号トイレ建築工事、並びに13号トイレ建築工事、ローソンヒノキの後継樹植栽工事を予定している。

令和4年度 上野恩賜公園の整備

箇所別	金額（千円）	主な整備内容
上野恩賜公園園地整備設計	13,915	基本設計等 1 式
上野恩賜公園 6 号便所設計	0.001	便所設計 1 棟
上野恩賜公園 6 号便所埋蔵文化財 試掘調査委託	3,234	埋蔵文化財試掘調査 1 式
上野恩賜公園13号便所実施設計(その2)	8,364	便所設計 1 棟
上野恩賜公園夜間景観整備設計	9,680	照明設備等修正設計 1 式
都立公園既存建物解体工事	13,224	解体工事 1式【令和4年度 繰越】
都立公園既存建物解体工事監理業務	1,260	工事監理業務 1 式【令和4年度 繰越】
計	49,677	

## 6 文化財庭園保存修復

名勝や史跡等文化財に指定されている都立庭園は、その価値の保存・活用に十分に配慮した整備・管理が求められる。保存・管理の基本的な考え方や内容等をまとめた保存管理計画（平成16年度策定、22年度改訂、28年度より庭園別に「保存活用計画」として改訂中）に基づき、学識経験者や文化庁担当者等で構成する委員会の指導・助言を受けながら、老朽化した施設の修復や失われた建造物の復元に取り組んでいる。

これまで浜離宮恩賜庭園では、護岸の修復や大泉水周辺の茶屋群の復元等を、小石川後樂園では白糸の滝の修復及び唐門の復元を、また旧岩崎邸庭園では、芝庭の復元等を進めてきた。

今後も、浜離宮恩賜庭園における石積修復や、小石川後樂園における「唐門」に接続する脇堀の復元整備を始め、各庭園における園地や建物の保存・修復事業に引き続き取り組んで行く。令和5年度主要事業計画及び令和4年度の主な整備状況は、以下のとおりである。

令和5年度公園整備費（“世界をおもてなし”する庭園の再生）  
計画 830百万円（4の（2）既設公園の整備の内数）

### 令和5年度 主な整備概要

浜離宮恩賜庭園	お伝い橋ほか改修工事ほか
小石川後樂園	脇堀復元設計、通天橋修復設計ほか
旧芝離宮恩賜庭園	施設改修設計、準備工事
旧古河庭園	洋館外壁修理工事ほか

### 令和4年度 “世界をおもてなし”する庭園の再生 整備費及び整備の概要

予算事項	金額（千円）	概要
浜離宮恩賜庭園	113,380	石積修復ほか
旧芝離宮恩賜庭園	6,541	園地改修設計ほか
旧岩崎邸庭園	18,458	芝庭復元工事、園地改修設計ほか
旧古河庭園	15,368	洋館外壁修復設計、木橋改修設計

## 7 霊園再生事業等

公営葬祭施設として5霊園[青山・谷中・雑司ヶ谷・染井・八柱・付属施設(雑司ヶ谷霊園崇祖堂・八柱霊園納骨堂)]及び2葬儀所(青山・瑞江)は数多くの葬祭利用のほか、都市内の貴重な緑空間としての役割も担っている。

このため青山霊園、谷中霊園及び染井霊園では再生計画に基づいて事業をすすめており、立体埋蔵施設の設置や広場の確保等計画的に実施している。また、雑司ヶ谷霊園においても、令和4年度より再生事業が開始されたため、施設整備等を順次進めていく。

八柱霊園および青山・瑞江葬儀所については園路改修、葬儀所建替、火葬炉改修等を実施している。さらに、各霊園で貸付のための無縁墳墓改葬処理を行っている。これらの事業により施設の保全や利便性向上、貸付可能墓所の確保、さらには災害時の避難場所機能の向上や良好な緑の保全にも努めている。

令和5年度霊園葬儀所整備費  
計画 2,496百万円

青山霊園	霊園再生事業、霊園利用広場設計	ほか
谷中霊園	霊園再生事業、小広場設計	ほか
雑司ヶ谷霊園	霊園再生事業、再生支援施設新築工事	ほか
染井霊園	霊園再生事業、立体埋蔵施設整備工事	ほか
八柱霊園	墓所貸付準備工事、細園路改修工事	ほか
青山葬儀所	葬儀所建替え工事	ほか
瑞江葬儀所	葬儀所建替え工事	ほか

令和4年度 霊園葬儀所整備費 主な事業の整備費及び整備の概要

霊園	金額(千円)	概要
青山霊園	39,482	小広場整備工事 ほか
谷中霊園	62,732	小広場整備工事 ほか
染井霊園	143,277	立体埋蔵施設整備工事 ほか
雑司ヶ谷霊園	17,333	再生支援施設設計 ほか
八柱霊園	71,059	細園路改修工事 ほか
青山・瑞江葬儀所	1,215,757	瑞江葬儀所建替え設計、青山葬儀所解体 ほか

## 8 動物園の整備

- (1) 世界に発信する首都東京の動物園整備 令和5年度予算 1,070,784千円  
動物園の更なる魅力向上を目指して、「第2次都立動物園マスタープラン」(令和2年11月策定)に基づき整備を進める。

### 主要工事等

#### 恩賜上野動物園

- ・新スタッフ事務所整備 令和5-6年度債務負担行為 288,000千円  
(令和5年度114,400千円)
- ・輸送施設解体撤去工事 令和5-6年度債務負担行為 700,000千円  
(令和5年度280,000千円)
- ・アフリカの動物エリア改築基本設計 令和5年度 50,000千円

#### 多摩動物公園

- ・シマウマ・オリックス舎改築工事 令和4-5年度債務負担行為 620,000千円

- (2) 動物園施設整備 令和5年度予算 2,055,613千円  
老朽化した既存施設等の改修を行う。

### 主要工事等

#### 恩賜上野動物園

- ・サル山改修準備工事(令和4-5年度債務負担行為)
- ・深井戸改修工事(令和4-5年度債務負担行為)
- ・動物飼育展示施設改修工事

#### 多摩動物公園

- ・動物病院・検疫舎基本設計
- ・深井戸改修工事(令和4-5年度債務負担行為)

#### 葛西臨海水族園

- ・屋外展示施設改修工事(令和5-6年度債務負担行為)
- ・水槽改修、建物改修工事
- ・水処理設備改修工事
- ・電気設備改修工事

#### 井の頭自然文化園

- ・老朽施設改修工事
- ・電気設備改修工事

#### 都立動物園

- ・高圧受変電設備改修工事(令和4-5年度、5-6年度債務負担行為)

(3) 令和4年度整備概要

世界に発信する首都東京の動物園整備 348,872 千円

箇所	主な整備
恩賜上野動物園 多摩動物公園	アフリカの動物エリア改築基本計画 シマウマ・オリックス舎改築工事(令和4-5債務負担行為)

動物園施設整備 1,247,901 千円 (令和3年度明許繰越含む)

箇所	主な整備
恩賜上野動物園	ゴリラ・トラの住む森改修工事 サル山改修準備工事(令和4-5債務負担行為) 深井戸改修工事(令和4-5債務負担行為)
多摩動物公園	チーター舎改修工事 急傾斜地園地改修工事
葛西臨海水族園	水処理施設改修工事 電気設備改修工事
井の頭自然文化園	電気設備改修工事

## 9 検査業務

当事務所での令和四年度における、専任検査員による検査の回数は、330回であった。

令和四年度の専任検査員による検査の回数

	計
工 事	67
委 託	134
材 料 検 査	14
単価契約（工事）	21 (282)
単価契約（委託）	41 (303)
用地関係・清掃委託等	53
総検査件数	330

〈注〉：（ ）内は指示件数

\*単契（工事、委託）の検査回数は62回であるが、指示件数は585件。

## 10 苗木の育成

公園の造成、道路・街路築造等の局事業用樹木を供給するために、東京都では苗圃を設け、苗木の育成を行っている。最近では、特殊樹木（宇宙ケヤキ、ローソンヒノキ、桜の品種物等）、上野公園のサクラの後継樹育成、街路樹の一時保管なども行っている。

当所では、水元公園の苗圃を年間管理しており、令和4年度の育成関連経費及び令和4年度苗圃状況は、以下のとおりである。

### 令和4年度 苗木育成関連経費

箇所別	金額（千円）	主な整備内容
水元公園苗圃	11,659	保護管理
計	11,659	

### 苗圃状況

令和5年6月1日現在

箇所別	面積（㎡）	栽培種数	本(株)数	備考
水元公園苗圃	25,785	68	1,171	うち供給可能本数1,037本・株

なお、苗圃の一部で上野恩賜公園のサクラの後継樹育成を行い、「上野桜守の会」が管理している。

## 11 既設公園の維持

### 令和4年度 公園管理費の執行

(千円)

公園名	科目	委託料	工事請負費	主な内容
上野恩賜公園		219,765	17,512	園地施設維持・施設運営・業務委託・警備委託等
夢の島公園		29,792	0	第五福竜丸展示館業務委託
浜離宮恩賜庭園		4,792	0	ガイドサービス運用保守等
六義園		4,792	0	ガイドサービス運用保守等
日比谷公園		11,871	5,848	日比谷公会堂維持管理・警備業務等
その他		41,026	1,133	未開園地管理ほか
計		312,038	24,493	

## 12 ホームレス及び屋台対策

### (1) ホームレス対策

厳しい経済、雇用情勢等を背景に大都市を中心としたホームレスの増加が大きな社会問題となり、平成12年度から全国に先駆け都区共同で自立支援事業を開始した。

平成14年8月には「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」が施行され、公園管理者は自立支援に係る施策との連携により、施設の適正な利用に必要な措置をとることとされた。

東京都では自立支援事業により大きな成果を挙げてきたが、公園内のブルーテントが減らないことから、都区共同で平成16年度から公園内でテント生活をするホームレスに対し、借上げ住宅を低額で2年間貸し付け、就労や生活面での支援を図りながら自立を促す「ホームレス地域生活移行支援事業」が実施された。公園管理者は本事業の実施に連携し、公園内の巡回監視を強化すると共に退去指導等の取組により、テント生活するホームレスを多く減少させることが出来た。

今後も、定期巡回など監視強化による新規テント張りの阻止、福祉施策の活用もしながら退去指導等による既存テントの減少に努めると共に巡回美化清掃の実施による衛生面での環境改善など公園本来の機能の確保を図っていく。

#### (テント数の推移)

	施行年度	施行公園名	令和2年5月	令和3年5月	令和4年5月	令和5年5月
	ホームレス地域生活移行支援事業の公園 (※公園独自の取組による退去数含む。)	平成16年度	戸山公園	0張	0張	0張
平成17年度		上野恩賜公園	4張	4張	3張	2張
		代々木公園	18張	17張	16張	16張
平成19年度		芝公園	0張	0張	0張	0張
		青山公園	2張	2張	1張	1張
		駒沢公園	0張	0張	0張	0張
		善福寺川緑地・和田堀公園	0張	0張	0張	0張
		光が丘公園	0張	0張	0張	0張
その他の公園 (※公園独自の取組による)			0張	0張	0張	0張
計			24張	23張	20張	19張

#### (巡回美化清掃の実施)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象公園数	9公園	5公園	5公園	5公園	5公園
清掃回数	73回	60回	60回	60回	56回

## (2) 屋台対策

公園内で恒常的に営業する無許可の屋台と放置された屋台により、公園の適正利用が阻害されていた。この状況の改善を図るため、都立公園における屋台対策が始まった。

上野恩賜公園においては、平成17年度に公園管理所、保健所及び警察署と連携し、警告、指導等を実施した結果、常設屋台と留置屋台を完全に排除した。このとき一部残った季節的に出店する屋台についても平成23年以降は完全に阻止している。

代々木公園及び明治公園においても、平成18年度に公園管理所、保健所及び警察署と連携し、警告や指導等により違法屋台の適正化を図ったが、生活基盤となっている営業屋台の救済処置の要望が出された。

そこで、平成19年3月1日から新たな取組として、事前に申請者の資格審査をし、一定の条件の下、試行として特例的な占用許可を認めることとした。

このほか、戸山公園、日比谷公園、水元公園等においても違法屋台の適正化に向けて警告、指導等を実施し、平成24年7月までにすべての都立公園から違法屋台を排除した。

なお、代々木公園と明治公園では、秩序ある営業が行われるよう、平成19年度から公園緑地部公園課と共に定期的に監察指導を実施していたが、明治公園では平成26年9月に、代々木公園では平成31年2月に屋台営業を終了した。

この結果、すべての都立公園において屋台の出店がなくなった。

## 13 都民との協働

東部公園緑地事務所管内の各公園では、自然観察会、公園友の会、ガイドや愛犬グループなど、多数の団体が自主活動を行っている。市民活力による公園の利用促進と活性化を図り、新たな価値の創出を目的として、公園における市民活動の協働を推進している。

### [東部公園緑地事務所による協働の取組]

- ① 上野恩賜公園では、平成18年度より、江戸期以来の名所としての桜の保全・育成・普及を図るため、地域が中心となり、都民との協働による「上野桜守の会」を発足し、1) 保全活動、2) 普及啓発活動、3) 更新活動、4) 募金活動、5) 地域活性化・地域連携・協力を目的に活動を行っている。
- ② 水元公園では、東京都、葛飾区、地元町会、企業、ボランティアグループ、各種活動団体等がメンバーになっている水元公園地域活性化協議会を設置し、水元公園地域の活性化に向けた様々な取組を実施している。活性化事業の主な内容は、菖蒲まつり、子供釣り大会、子供まつり、耕作体験などの手作りイベント、ローイング教室、公園整備計画検討、バスルート検討、自然観察会、自然復元管理事業等がある。協議会形式の都民協働事業モデルとして、引き続き積極的に展開していく。

指定管理者制度の導入に伴い、都立公園における都民との協働の取組は、新たな段階を迎えている。協働の仕方には観察会、利用指導、維持管理作業、管理運営等様々な形態、段階がある。現場の状況に応じた取組の方法を検討し、整理していくと共に、今後も指定管理者と連携し、多くの公園で数多くの団体との積極的な協働を図っていく。

## 14 思い出ベンチ事業

本事業は「民間活力の導入・規制緩和」の一環として、ベンチについて個人や企業からの寄付を受け、都が設置するものである。この事業は、結婚など、心に残る人生の節目や、野球大会優勝などの記念にメッセージを刻んだプレートをつけたベンチを寄付していただくことによって、公園を今以上に身近に感じ愛着を持っていただくとともに、公園施設の充実を図り、親しみやすい公園をつくることを目的としている。平成15年度に日比谷公園100周年事業にあわせて事業を開始した。令和4年度、東部公園緑地事務所管内では、計34基の応募があり、代々木公園、砧公園、多摩動物公園、八柱霊園などに設置した。

《これまでの実績》

	公園等名	H15~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
公園	日比谷公園	202	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202
	上野恩賜公園	53	5	0	1	9	2	3	1	0	0	0	0	0	0	74
	代々木公園	25	1	0	0	0	4	3	2	1	3	1	9	0	6	55
	水元公園	4	1	1	0	0	2	0	1	0	1	1	2	0	2	15
	善福寺川緑地	2	1	1	3	4	0	0	1	0	0	0	0	2	0	14
	和田堀公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	城北中央公園	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
	光が丘公園	13	0	2	0	1	1	0	3	1	0	2	2	2	1	28
	東綾瀬公園	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	舎人公園	29	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6	1	39
	葛西臨海公園	1	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	6
	芝公園	19	2	0	2	2	2	0	1	2	7	1	2	4	2	46
	青山公園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	猿江恩賜公園	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5
	宇喜田公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	林試の森公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	蘆花公園	1	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	2	1	0	9
	砧公園	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	4	14
	祖師谷公園	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	善福寺公園	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	14
	浮間公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	赤塚公園	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	石神井公園	17	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	3	4	3	35
	夢の島公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	駒沢オリンピック公園	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	6
	横網町公園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
木場公園	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5	1	9	
戸山公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	2	10	
汐入公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	
東京広域防災公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
計		393	12	6	6	18	14	10	19	7	17	12	27	40	29	610
霊園	谷中霊園	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	雑司ヶ谷霊園	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	染井霊園	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	八柱霊園	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
計		16	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	20	
動物園	恩賜上野動物園	29	2	2	2	0	2	1	2	3	1	4	3	0	1	52
	多摩動物公園	20	2	0	2	1	2	1	1	2	1	6	2	0	2	42
	井の頭自然文化園	13	1	2	3	1	2	2	0	6	2	1	1	0	1	35
	計		62	5	4	7	2	6	4	3	11	4	11	6	4	129
合計		471	18	10	13	20	20	14	23	18	21	23	33	41	34	759

## 第3 施設の概要

### 1 あらまし

都市公園は、都市計画区域において地方公共団体が設置する公園や緑地（都市計画施設である公園・緑地を含む。）及び一つの都府県の区域を越えるような広域にまたがる公園・緑地または国家的な記念事業として国が設置する公園や緑地である。

都市公園の始まりは、明治6年の太政官布達（現在の**上野恩賜公園**ほか4公園）にさかのぼる。その後、市街地の発展、整備に伴ってその数を増やし、戦争等の幾多の変遷の中で消長を繰り返してきたが、その設置・管理は市（都）条例によって行われてきた。

昭和31年には、公園の設置・管理を統一的に規定する、公園にとって画期的といえる都市公園法が制定され、現在の制度となった。

都市公園の規模や内容は、都市の形態によって、また、地域の立地・社会条件によって種々様々であるが、都においては比較的規模が大きいもの、または特殊な性格を有するものを都市公園として設置・管理している。

東部公園緑地事務所は、主に特別区内にある公園等の施設（一部は多摩部、都外にある。）を所管している。そのうち、当事務所が直接管理しているものは2公園、青山葬儀所、特殊施設（日比谷公会堂）であり、その他指定管理者に8庭園、40公園、5霊園、4動物園、1葬儀所及び特殊施設（日比谷公園大音楽堂、夢の島熱帯植物館）の管理を委託している。

### 2 指定管理者制度

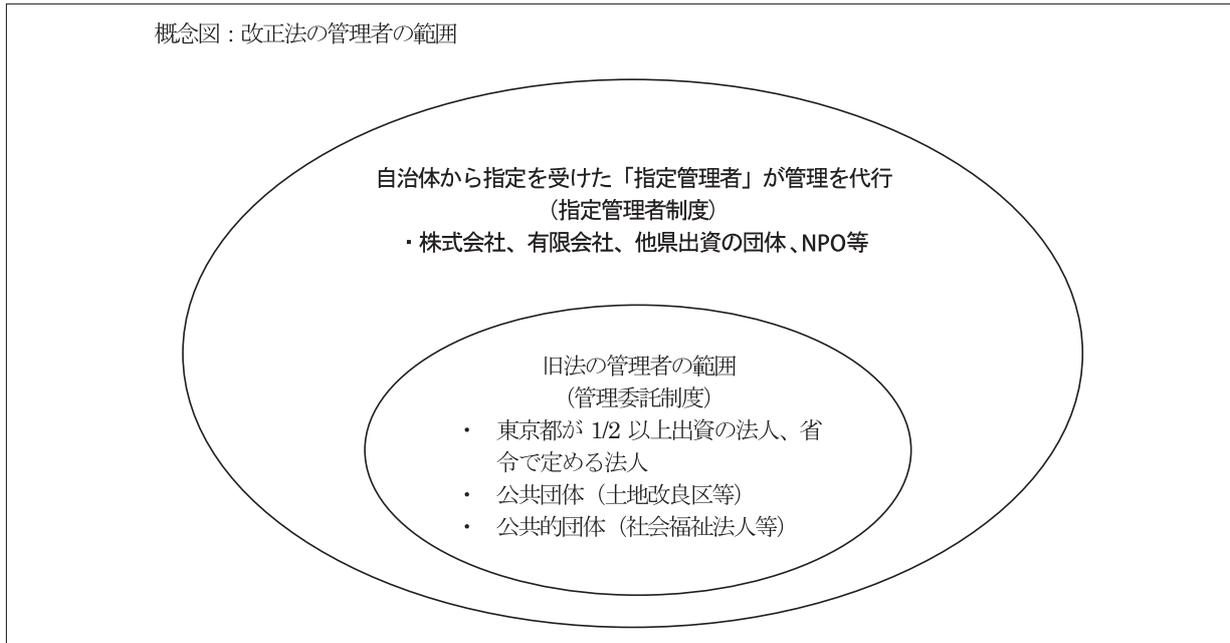
#### 【指定管理者制度】

- 平成15年6月地方自治法改正により創設。同年9月から施行。
- 公の施設の管理について、地方公共団体の指定を受けた「指定管理者」が管理を代行する制度。
- 公の施設の管理運営について、民間事業者等の参入を可能とし、効率的・効果的な管理運営により住民サービスの向上を図ることを目的としたもの。

#### (1) 制度の概要

これまで、公の施設の管理者については、法令で規定された公共的団体等に限定されていたが、平成15年6月の地方自治法の改正により、指定管理者の対象が広く民間事業者にまで拡大されたほか、管理の代行ができるようになった。この改正により、これまで公の施設の管理を受託することができなかったNPOや株式会社等の民間事業者にも門戸が開かれるようになり、公の施設の管理・運営に広く民間のノウハウを活用することが可能となった。

概念図：改正法の管理者の範囲



指定管理者制度と旧法の管理委託制度との比較

	指定管理者制度（改正法）	管理委託制度（旧法）
法的効果	指定管理者に公の施設の使用許可を行わせる場合、公の施設の利用関係は、指定管理者と利用者の間に生じる。〈管理の代行〉	公の施設の利用関係は、都と利用者との間に生じる。
要件	法人その他の団体 但し、都が指定するもので、あらかじめ都議会による議決を経る必要がある。	以下の団体に限定 ①都の出資法人のうち一定の要件を満たすもの ②公共団体 ③公共的団体（例：社会福祉法人等）
行政に留保される管理範囲	①公物警察権に基づく管理行為 ②基本的利用条件の設定、使用料の強制徴収、不服申立てに対する決定等、公物管理権に基づく管理行為のうち権力的性格を有するもの	③個々の利用関係の設定行為（使用許可とその取消）
管理者の管理範囲	①個々の利用関係の設定行為（使用許可とその取消）	
	②施設管理のうち、非権力的性格の管理行為 ※利用料金制度の採用	
条例の規定内容	指定の手続き、管理の基準、業務の範囲その他必要な事項	委託の基本的事項（委託の条件、委託の相手方、委託料等）
自治体の関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者は毎年度終了後事業報告書を作成し、都に対し提出</li> <li>知事は、指定管理者に対して、業務又は経理の状況に関する報告徴収、実地調査、必要な指示が可能</li> <li>都は、指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、指定の取消、業務の全部又は一部の停止命令が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知事は、管理受託者に対して、業務又は経理の状況に関する報告徴収、実地調査、必要な指示が可能</li> </ul>

## (2) 指定管理者の責務

これまでの管理委託制度では、使用に係る承認や認可及びその取消は都が行うものであったが、指定管理者制度では、条例で規定することにより、指定管理者は使用許可及びその取消を行うことが可能となる。

指定管理者は、公の施設の管理を行うことにより様々な責務を負う。

### ア 住民利用の公平性の担保

公の施設は、地方自治法の中にも明記されているとおり、住民の福祉を増進させる目的をもってその利用に供するための施設であり、その利用に際しては、平等且つ公平な取扱いをしなければならない。

また、「正当な理由」がない限り、施設の利用を拒むことはできない。

### イ 情報の適切な管理

公の施設の管理において知り得た個人情報等に関しては、都の機関と同様、個人情報等の保護につき配慮する必要がある。

(※各施設の設置条例及び協定などで規定)

### ウ 行政処分の代行に伴う責務

指定管理者に使用の許可及びその取消を行わせる場合、指定管理者が行政庁に代わって行政処分を行う（代行する）こととなるため、指定管理者は、行政手続条例に規定する「行政庁」に含まれる。

このため、使用許可の取消など不利益処分を行う際には、行政手続条例に従う必要がある。また、不利益処分に不服がある者の審査請求に基づき、知事により当該処分が取り消される場合がある。

### エ 出納等の適正な管理

指定管理者の管理業務及び委託金に係る出納は、財政援助団体等監査の対象となる。

### 3 公園・管理施設一覧表

(令和5年6月1日現在)

(1) 直営公園

① 公園 面積 600,103.92 m<sup>2</sup>

公園の名称等		沿革とその特徴
上野恩賜公園	<b>1 計画決定</b> (明治22年5月20日)(府告37)市区改正 昭和32年12月21日 令和3年3月4日(82.5ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 明治元年8月に官収された後、明治6年1月の公園制定に関する太政官布達により、芝、浅草、深川、飛鳥山の4公園とともに日本最初の公園に指定され、明治9年5月9日に開園式が行われた。</p> <p>上野恩賜公園の都市計画上の位置づけは、都市計画制度の第一歩である「東京市区改正条例」の公布(明治21年8月16日勅令第62号)を受け、明治22年5月20日東京府告示第37号をもって市区改正設計(通称「旧設計」)公園第6号「上野公園」として告示された。その後、明治36年3月31日東京市告示第36号(通称「新設計」)の告示を経て、昭和32年の東京市計画公園・緑地(通称「再検討」)による公園・緑地の一元化が現計画の起点となっている。</p> <p>土地の所管も、文部省、内務省、農商務省、宮内省等を経て帝室博物館の管轄に移ったが、明治31年皇室御料地となり、大正13年に皇室の御慶事のため動物園とともに東京市に下賜され、以来上野恩賜公園と称し、東京市の管理となった。その後、第2次世界大戦のため、一般公園としての機能が失われたが、戦後の復旧整備を完了した後、年とともに文化的諸施設が建設され、現在では近代文化の担い手として大きな役割を果たしている。</p> <p>また、京成上野駅改良工事に伴う公園修復計画に基づく工事は、昭和50年8月から施工され昭和51年6月30日に竣工した。この工事により新たに公園施設として壁泉(忍の池)と流れ(しのぶ川)が設置された。</p> <p>上野恩賜公園野外ステージ(水上音楽堂)については、昭和27年に完成以来、不忍池を望める開放的な特色ある施設として多くの都民に親しまれてきた。施設の老朽化が著しくなったため、昭和63年6月に多目的に利用できる施設として改築し、さらに平成9年3月には雨天でも利用できるよう開閉式の屋根を設置した。</p> <p>当公園は、上野の観光文化拠点の中心にあることから、都内はもとより全国から利用者が訪れるため、従来から公園案内機能の充実が望まれていた。このニーズに応えるため、平成元年5月1日に上野恩賜公園総合案内所を開設した。</p> <p>平成2年7月に開所した上野恩賜公園緑の相談所は、平成11年度末に閉鎖した。</p> <p>平成9年度に上野恩賜公園再生整備事業を開始した。</p> <p>平成10年4月28日には、C地区(大噴水の東側)、同11年3月にはA地区(さくら通り)、同12年3月にはA地区(広場部)同13年3月</p>
	<b>2 開園年月日</b> 明治6年10月19日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b> 538,761.46	
	<b>4 位置</b> 台東区上野公園、池之端三丁目	
	<b>5 交通</b> JR・東京メトロ銀座線、日比谷線・京成線「上野駅」徒歩2分	
	<b>6 主な施設</b> 野球場兼競技場(1面・照明付)、ポート場、野外ステージ、上野恩賜公園総合案内所、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、上野の森美術館、日本芸術院、日本学士院、東京文化会館(公園区域外)、駐車場、便益施設(精養軒等)、教養施設(西郷隆盛像等)	
	<b>7 文化財等の指定</b> 旧東京音楽学校奏楽堂(重要文化財=建造物、台東区管理)	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
上野恩賜公園		<p>J地区(上野駅前広場)、同14年3月B地区(中央広場)、同15年3月E地区(噴水周辺)、同16年3月F及びH地区(行幸道路外)、同17年3月K地区(野球場)、をそれぞれ再生整備した。</p> <p>平成21年4月1日より、上野公園管理所が廃止され、東部公園緑地事務所直轄管理となる。</p> <p>上野公園ランドデザイン検討会報告書に示された考え方を踏まえ、平成24年5月12日、竹の台広場に新しい噴水やオープンカフェを整備した。</p> <p>平成30年3月、動物園表門前広場の再生整備が完了した。</p> <p>令和2年3月20日、上野公園口南北ロータリーの供用を開始した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>新型コロナウイルスに伴う制限が解除され、4年ぶりに園内の一部箇所で見聞会を解禁した。また、東京都都市公園制度制定150周年記念事業の一環である「It's My Park Day!」では、竹の台広場にて「みんなでラジオ体操」を開催した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
明治公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>昭和21年4月25日に戦災復興第14号で東京復興内環状緑地として計画決定され、その後昭和32年12月21日に都市計画法にも基づき再度計画決定された。</p> <p>昭和31年8月11日には東京都体育館周辺を、昭和32年4月18日国立競技場前を事業決定し、昭和35年8月15日に青年館前、野球場西側、若葉町地区を、昭和39年3月31日に旧赤坂離宮前が事業決定された。</p> <p>昭和33年10月に体育館周辺地区の大部分が財務局から所管換され、昭和36年から青年館前、若葉町等の用地買収に着手するとともに、オリンピックの東京招致に成功後、国立競技場が主会場に決定されるに及んで、オリンピック準備局が公園整備に当たり、昭和39年9月に完成した。</p> <p>昭和39年10月1日及び同年12月1日付けで全面積を開園したが、地方自治法の一部を改正する法律の主旨により昭和42年4月1日に赤坂離宮前地区、若葉町地区を新宿区に移管した。</p> <p>なお、昭和46年3月25日には国有地であった野球場西側地区(2,653.16㎡)について、財務局所管の土地との交換により都営地となった。</p> <p>昭和61年5月31日に東京都体育館の改築に伴い、一部を開園区域から除外した。</p> <p>昭和61年12月20日には126.75㎡を追加開園した。</p> <p>平成27年1月27日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備のため、公園の一部(26,280.15㎡)を廃園し、平成28年4月1日より東部公園緑地事務所直轄管理となった。</p> <p>平成28年9月30日、東部公園緑地事務所直轄管理地(2,648.16㎡)については、区画整理事</p>
	(昭和21年4月25日)(院告14) 内環状緑地 昭和32年12月21日 平成29年11月30日	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和39年10月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	61,342.46	
	<b>4 位置</b>	
新宿区霞ヶ丘町、渋谷区千駄ヶ谷一丁目		
<b>5 交通</b>		
JR中央線「千駄ヶ谷駅」徒歩3分 都営大江戸線「国立競技場前駅」徒歩2分		
<b>6 主な施設</b>		
東京体育館(メインアリーナ、サブアリーナ、プール、陸上競技場)		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
明治公園		業実施のため廃園し、都市整備局へ移管した。 令和元年11月30日、連絡デッキ1号・2号竣工。 令和3年11月9日、Park-PFI事業設置等予定者が決定し、令和3年12月25日及び令和4年4月1日、Park-PFI事業予定地が開園した。

② 葬儀所 面積 9,559.65 m<sup>2</sup>

公園の名称等		沿革とその特徴
青山葬儀所	<b>1 開設</b> 大正14年6月1日	<p>青山葬儀所は、明治39年に青山寺の住職であった正田運猷により落成・竣工、経営されていたもので、大正14年に東京市が買い受け、引き継いだ唯一の公営葬儀所であり、一般的には青山斎場として知られている。</p> <p>昭和20年5月に戦災で焼失したが、昭和28年12月に現在地へ移転・木造平屋建てで再建された。その後、昭和49年2月に鉄筋鉄骨造の洋風建築として改築され、昭和60・61年度に改修された。</p> <p>平成18年度からは指定管理者の管理運営となり、内装等の施設改修が行われた。</p> <p>式場は300席（椅子の追加でプラス約40席）であるが、30名程度の家族葬でも利用されている。付属施設としてご遺体安置室、専用保冷庫、宿泊可能な遺族室、会葬者控え室などがあり、これら各室は静かな中庭に面し、回廊で結ばれている。</p> <p>また平成23年度11月には、新たに待合室が建設された。椅子320脚（最大450席収容）、テーブル各種38台等を常備し、専用の配膳準備室も併設、立食などで懇親会も行われている。</p> <p>当施設では主に社葬、団体葬で、会葬者1,000名から2,000名という大規模な葬儀が多かったが、最近は500名以下の利用が多く、著名人が密葬で使用するケースも増えている。ご法要や生前葬での利用も可能になっている。1日1件の利用に限られており、緑の木々、庭園に囲まれた自然環境の中で、ご遺族には施設全体を占用して頂き、安らかで落ち着いた時間と共に、ご葬儀を執り行って頂いている。</p> <p>施設の老朽化が顕著であることから、令和3年3月31日をもって施設の使用を休止している。</p>
	<b>2 面積 (m<sup>2</sup>)</b> 9,559.65	
	<b>3 位置</b> 港区南青山二丁目33番20号	
	<b>4 交通</b> 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩3分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目駅」徒歩12分	
	<b>5 使用者及び埋葬者数</b> 令和2年度実績（Ⅰ種8h、Ⅱ種4h計）37件 令和2年度葬儀等（※）実績件数 18件 ※法要の利用もある為	
	<b>6 文化財等の指定</b> なし	
	<b>7 施設の概要</b> 建築面積 2,512 m <sup>2</sup> （待合室含む） 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建 式場 315 m <sup>2</sup> 椅子 300席 付属設備 1,402 m <sup>2</sup> 安置室（個室）、遺族室、待合室、懇親会室、受付、本部室、更衣室、クローク、駐車場 他	

③ 主な公園内施設

公園の名称等		沿革とその特徴
日比谷公会堂	<b>1 開設</b> 昭和4年10月19日	<p><b>【沿革・特徴】</b> 日比谷公会堂は、時の市長であった後藤新平伯の発議により、これに賛同した安田善次郎翁の志を継いだ遺族の寄付金を元に、財団法人東京市政会館附属ホールとして建設され、昭和4年10月19日に竣工と同時に東京市に対して、その運営管理が委譲されたものである。</p> <p>この建物は、昭和20年9月から同24年10月まで進駐軍に接収されていた一時期を除き、開設以来多目的ホールとして音楽会、舞踊、演劇、式典、各種大会等の催し物に利用されてきた。</p>
	<b>2 位置</b> 千代田区日比谷公園1番3号	
	<b>3 交通</b> J・R・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」徒歩15分 東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」徒歩5分 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩3分	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
日比谷公会堂	4 文化財等の指定	<p>特に、第二次世界大戦から戦後の一時期にかけて、内外の著名演奏者による音楽会のほとんどは当公会堂で行なわれ、日本のカーネギーホールとして、我が国の音楽文化の向上に果たした役割は非常に大きい。(以下次頁につづく)</p> <p>昭和30年代の後半以降、都内の各地に近代的なホールが次々と建設されているが、2,000人以上を収容できる廉価な施設は都内には数少なく、かつ、著名度や地理的・環境的条件等から、一定の需要がある。</p> <p>一方で、設備については、相当に老朽化しているものの、昭和32年以降、継続的に舞台、客席、冷暖房装置、消防設備、身体障害者設備等の改修及び舞台の張替を行なうなど、時代の要求に応じられるよう努力してきた。</p> <p>平成21年に開設80周年を迎え、これまでの歴史を改めて確認し、未来へと継承させていくスタートとした。</p> <p>なお、平成28年4月1日より、耐震化のため利用を休止している。</p>
	日比谷公会堂 (歴史的建築物 = 都条例)	
	5 施設の概要	
	建物面積 6,032 m <sup>2</sup> 舞台面積 198 m <sup>2</sup> 間口 20 m 奥行 10 m 高さ 7.3m 客席 2,074 m <sup>2</sup> 階下 1,052 席 階上 1,022 席 身体障害者専用施設 客席 11 席、エレベーター 1 基 車椅子 3 基	

## (2) 委任公園

① 庭園 面積 595,514.92 m<sup>2</sup>

公園の名称等		沿革とその特徴
旧岩崎邸庭園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            旧岩崎邸庭園は、旧三菱財閥の創始者岩崎彌太郎氏によって、明治11年8月にこの地が購入され、岩崎家の本宅として使用されていたもので、洋館と和館が併置する典型的な明治期の大邸宅で、現存している洋館・和館・撞球室等は、岩崎彌太郎の子息、久彌氏の邸宅であった。            往時は15,000坪の敷地に20棟もの建物があったが、現在は書院造の和館広間と、英国人建築家ジョサイア・コンドル氏の設計である洋館と撞球室が現存するのみで、芝庭も同期に作庭されたものだが、建築と同じ和洋折衷の形式となっていて、文化史に残る明治期の貴重な財産である。            昭和36年に洋館と撞球室が、また昭和44年には和館大広間と洋館東脇にある袖塀が、そして、平成11年には宅地・煉瓦塀を含めた屋敷全体が、国の重要文化財に指定されている。            平成13年2月28日に公園として都市計画決定されたのを受けて、平成13年10月1日には和館と庭園を開園した。            洋館と撞球室については、文化庁による改修工事の完了に伴い、平成15年4月25日に追加開園した。            平成23年に隣接地を取得し、令和2年度より茅町本邸内実測図（大正6年）に基づき、芝庭を往時の姿に復元するための整備に取りかかった。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            華道家假屋崎省吾氏とのコラボレーションイベントや、非公開エリアを巡るミステリーツアーなどを開催した。            芝庭復元工事の完了に伴い、令和5年6月1日に追加開園し、新管理所とともにオープンした。</p>
	平成13年2月28日 平成21年11月30日 (2.07ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	平成13年10月1日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	20,709.25	
	<b>4 位置</b>	
	台東区池之端一丁目、文京区湯島四丁目	
	<b>5 交通</b>	
	東京メトロ千代田線「湯島駅」徒歩3分 東京メトロ銀座線「上野広小路駅」徒歩10分 都営大江戸線「上野御徒町駅」徒歩10分 JR山手線「御徒町駅」徒歩15分	
<b>6 入園料</b>		
一般及び中学生 400円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65歳以上 200円 みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)は無料		
<b>7 主な施設</b>		
洋館、撞球室、和館		
<b>8 休園日</b>		
12月29日から翌1月1日		
<b>9 文化財等の指定</b>		
旧岩崎家住宅建造物及び庭園とする敷地 (国の重要文化財)		
公園の名称等		沿革とその特徴
旧芝離宮恩賜庭園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            元々海面であったこの地は、明暦(1655年～1658年)頃に埋め立てられ、延宝6年(1678年)に老中・大久保只朝の邸地となった。只朝は、この地に上屋敷を建てることとし、藩地小田原から庭師を呼び、庭園を作らせて「楽寿園」と命名した。            その後、幾人かの手にわたり、幕末には紀州徳川藩の芝屋敷となった。明治4年には、有栖川宮家の所有となったが、明治8年に宮内省がこれを買上げ、翌明治9年に芝離宮となった。            本庭園は、江戸時代の典型的な回遊式潮入林泉庭園で、品川湾の展望をほしいままにしたものである。            園内の建物や樹木は関東大震災により焼失した後、大正13年1月に昭和天皇の御成婚記念と</p>
	(昭和21年4月25日)(院告14) 東海道線緑地 昭和32年12月21日 昭和36年12月25日 (4.19ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	大正13年4月20日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
43,175.36		
<b>4 位置</b>		
港区海岸一丁目		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
旧芝離宮恩賜庭園	<b>5 交通</b> J R・東京モノレール「浜松町駅」徒歩1分 都営大江戸線、浅草線「大門駅」徒歩5分 ゆりかもめ「竹芝駅」徒歩10分	して下賜され、園地の復旧、整備を施して同年4月に公開された。 その後、景観の主たる展望も前面海岸の埋立により失われるに至ったが、その地割は未だに残り、往時の面影を偲ばせている。 昭和37年度に、東海道新幹線の敷地として4,875㎡を割譲し、昭和44年には研修所跡地を所管換により取得し、昭和45年6月1日に1,371.34㎡を児童公園（無料）として追加開園した。 平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成8年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行なうなど、サービスの向上を図っている。 令和3年度に、隣接する旧東京浜松町海員会館敷地を所管換により取得した。
	<b>6 入園料</b> 一般及び中学生 150円 （都内在住・在学の中学生は無料） 65歳以上 70円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料	
	<b>7 主な施設</b> 弓道場	
	<b>8 休園日</b> 12月29日から翌1月1日	
	<b>9 文化財等の指定</b> 旧芝離宮庭園（国の名勝＝園内全域）	<b>【近年の取組等】</b> 令和4年5月、周辺エリアの開発事業者とライトアップによる光のショーやプロジェクションマッピングによる夜間特別観賞「旧芝離宮夜会」を開催した。

公園の名称等		沿革とその特徴
旧古河庭園	<b>1 計画決定</b> 昭和32年12月21日	<b>【沿革・特徴】</b> この地は、明治の元勳陸奥宗光伯の邸地であったが、その嫡子である潤吉氏が古河市兵衛氏の養子となった縁故により、古河家の所有となった。 第二次世界大戦後、古河家の手を離れ国有財産となったが、地元の要望に應えるため、昭和30年4月に大蔵省から園地の無償使用の承認を受け、翌31年4月に開園した。 園地は、武蔵野台地の高低差を巧みに利用した閑雅な邸地で、本園の核心をなす洋館は、日本の建築界に多大な貢献をした英国人ジョサイア・コンドル博士の設計により大正6年5月に竣工した。この洋館は、英国風ルネッサンス風建物であるが、日本の芸術、建築に造詣深かった博士は、内部に日本風の様式を巧みに取り入れ、博士の晩年の代表作として極めて評価の高い建築物の一つである。ちなみに、鹿鳴館、ニコライ聖堂などの設計も博士によるものである。 経年変化により老朽化した洋館について、昭和53年に本格的な修復に着手し、平成元年3月になって工事が完了した。その後、同年10月には美術館としてオープンした。 庭園は、台地の平地と南斜面を利用し、洋館に調和して絵画的効果をもたらすように設計された洋風庭園と、山間の風趣を模した低地の山水を中心とする日本庭園とに分かれており、大正期の庭園中、最も原型をとどめている。 六義園、小石川後樂園は江戸時代の大名によって造られたものであるが、本園は明治維新以降の実業家の手により造られた大正期を偲ぶ重
	<b>2 開園年月日</b> 昭和31年4月30日	
	<b>3 面積（㎡）</b> 30,780.86	
	<b>4 位置</b> 北区西ヶ原一丁目	
	<b>5 交通</b> J R京浜東北線「上中里駅」徒歩7分 東京メトロ南北線「西ヶ原駅」徒歩7分 J R山手線・東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩12分	
	<b>6 入園料</b> 一般及び中学生 150円 （都内在住・在学の中学生は無料） 65歳以上 70円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料 洋館については別途入館料が必要（400円）	
	<b>7 主な施設</b> 洋館、茶室	
	<b>8 休園日</b> 12月29日から翌1月1日	
	<b>9 文化財等の指定</b> 旧古河氏庭園（国の名勝＝園内全域）	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
旧 古 河 庭 園		<p>要な文化財であるとして、昭和57年8月に東京都の文化財に指定された後、7年をかけた修復工事を経て、平成18年1月26日の官報告示により、文化財名称「旧古河氏庭園」として、国の名勝に指定された。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成8年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行なうなど、サービス向上を図っている。</p> <p>また、平成12年度から、バラの開花に合わせて、開園時間延長やライトアップ、茶室での抹茶のサービスも行なっている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 3年ぶりに「春のバラフェスティバル」を開催した。秋バラは開花時期を調整し、紅葉期にも「紅葉と秋バラ」を楽しめるよう見頃を延伸し、紅葉イベントとしては過去最高の入場者数となった。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
清 澄 庭 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> この地は、享保年間（1716～1736年）の下総国関宿城主であった久世大和守の下屋敷であった。明治に入って荒廃していたこの地を岩崎彌太郎が買い受け、現在に続く庭園として整備した。なお、この敷地の一部は、江戸時代の豪商、紀伊国屋文左衛門の屋敷跡であったと伝えられている。</p> <p>この庭園は、江戸時代の大名庭園を代表する回遊式潮入林泉庭園で、岩崎家が全国から収集し、庭園の大半を占める大泉水周辺に配置した奇岩、名石は、その数と種類の豊富なことで著名である。</p> <p>関東大震災により、本庭園も大きな被害を被ったが、破損の少なかった東側半分について、大正13年10月に東京市が寄付を受けた。その後これを整備して、昭和7年7月には泉水、築山、枯山水を主体にした回遊式築山山水庭園として公開した。</p> <p>大正天皇の葬場殿を移設、命名した大正記念館は、昭和20年3月に東京大空襲により焼失したため、昭和28年の貞明皇后の葬場殿旧材の譲与を得て、杉浦巴早稲田大学教授の設計で再建されたが、経年のため老朽化が激しく、昭和63年度に建替え工事が行なわれ、平成元年3月31日に落成した。現在は、集会場として本都の公式招宴などに広く利用されている。</p> <p>池畔の涼亭は、明治42年に国賓として来日した英国のキッチナー元帥を歓迎するため、岩崎家が建設したものであるが、昭和60年に全面改築工事を行ない、現在では集会場として利用に供している。</p> <p>昭和52年6月1日には、庭園の西側に開放公園（32,818㎡）を追加開園した。</p>
	(昭和21年4月25日) (院告14) 仙台堀緑地 昭和32年12月21日 (9.66ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和7年7月24日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	81,091.27	
	<b>4 位置</b>	
	江東区清澄二・三丁目	
	<b>5 交通</b>	
	都営大江戸線「清澄白河駅」徒歩3分 都営新宿線「森下駅」徒歩15分 東京メトロ東西線「門前仲町駅」徒歩20分 都営バス（豊海水産埠頭行）「清澄庭園前」徒歩3分	
<b>6 入園料</b>		
一般及び中学生 150円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65歳以上 70円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料		
<b>7 主な施設</b>		
大正記念館（集会場：洋室150人）、涼亭（集会場：和室40人）		
<b>8 休園日</b>		
12月29日から翌1月1日		
<b>9 文化財等の指定</b>		
清澄庭園（都の名勝）		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
清 澄 庭 園		<p>開放公園の特色は、江東地区を災害時の避難場所として有効な空間を確保するため、芝生広場と樹林、また防災のための水を供給する池とで成り立っている。</p> <p>なお、庭園部分では、昭和 54 年 3 月 31 日に東京都の名勝に指定された。</p> <p>平成元年 6 月 1 日、平成 7 年 6 月 1 日、平成 10 年 6 月 1 日には、西側の未開園地を追加開園した。</p> <p>本園の近くには、芭蕉記念館、深川江戸資料館などがある。</p> <p>平成 7 年 4 月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成 8 年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行なうなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>継続して行っている景観改善では、富士山の稜線上の高木を計画的に伐採し、作庭意図が効果的に現れた景観を楽しんでいただけるようになった。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 3 年ぶりに花菖蒲の見頃に合わせて津軽三味線や琴の演奏会、特別ガイドなどを実施した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
小 石 川 後 楽 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 徳川御三家の一つである水戸徳川家の祖、徳川頼房が寛永 6 年（1629 年）に京都の庭師、徳大寺左兵衛を招き、その邸地に回遊式築山泉水庭園を築造した。</p> <p>水戸徳川家第二代藩主の光圀は、明の遺臣で我が国に亡命していた儒者、朱舜水の意見を用いて手を加え、現在のような中国趣味豊かな造園工事を施工した。また、園名についても朱舜水の意見を採用し、「(士はまさに) 天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」という中国の教えから後楽園と名付けられた。</p> <p>明治維新後は、官収された後、明治 21 年に東京砲兵工廠と改称され、陸軍省の管理するところとなり、国際的招宴場にしばしば使用された。</p> <p>大正 12 年に史蹟及び名勝に指定されたが、関東大震災により多くの建物が焼失し、第二次世界大戦でも戦災を被っている。</p> <p>昭和 11 年 12 月、文部省から東京市に移管された。東京市では、鋭意補修に努め、昭和 13 年 4 月に一般公開され、昭和 27 年 3 月には文化財保護法により、特別史跡及び特別名勝に指定された。</p> <p>昭和 50 年からは光圀公ゆかりの稲田において田植え稲刈り行事を復活し、以後、毎年地元文京区立柳町小学校の協力を得て、5 月に「田植え」9 月に「稲刈り」を実施し、現在では地元住民による貴重な伝統行事となっている。</p> <p>昭和 55、56 年には、老朽化した得仁堂を保存</p>
	(昭和 17 年 4 月 21 日) 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 45 年 8 月 7 日 (22.10ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和 13 年 4 月 3 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	70,847.17	
	<b>4 位置</b>	
	文京区後楽一丁目	
	<b>5 交通</b>	
	J R 中央線・東京メトロ有楽町線、東西線、南北線「飯田橋駅」徒歩 8 分 都営大江戸線「飯田橋駅」徒歩 3 分 東京メトロ丸の内線、南北線「後楽園駅」徒歩 8 分	
<b>6 入園料</b>		
一般及び中学生 300 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 150 円 みどりの日 (5 月 4 日)、都民の日 (10 月 1 日) は無料		
<b>7 主な施設</b>		
涵徳亭 (集会場：和室 30 人、洋室 85 人) 得仁堂、九八屋		
<b>8 休園日</b>		
12 月 29 日から翌 1 月 1 日		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
小石川後楽園	<b>9 文化財等の指定</b> 小石川後楽園（国の特別史跡及び特別名勝＝園内ほぼ全域[一部域外]）	<p>するため、主として建物外回り、土間、三和土打替、屋根葺替、建具金物取付等の補修工事を行ない、涵徳亭については、昭和60年度に建物の全面改修を行なった。また、平成5年度以降、庭園外周塀を順次築地塀に改修している。</p> <p>昭和60年4月にそれまでの休園日をなくして、通年開園を他の庭園に先駆けて開始（清澄庭園との二庭園）した。</p> <p>平成8年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行ない、来園者がゆっくり庭園鑑賞を楽しめるよう努め、平成11年からは日曜日、祝日にボランティアによる無料庭園ガイドを一日2回実施し、団体客については平日の臨時ガイドも行なっている。</p> <p>さらに、平成13年より正月期間（1月2・3日）の開園も行なうなど、サービス向上を図っている。また、平成14年から2～3月には、水戸光圀公が楽しんだであろう梅の香りを懐かしんでもらうため、催しを開催している。</p> <p>平成31年度には塀鶴碑（えいようひ）建立200年記念行事が行われ、白糸の滝の補修工事が完了した。</p> <p>令和2年11月に唐門・扁額復元工事が完了し、12月に公開するとともに、東門を常時開門とした。令和3年10月には「唐門復元一周年記念行事」を開催した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            文化財指定100周年記念行事として、文京区や近隣施設、茨城県などと連携し、能楽などの伝統芸能公演、文化財庭園の価値を伝える催しを多数開催した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
浜離宮恩賜庭園	<b>1 計画決定</b> （昭和21年4月25日）（院告14） 東海道線緑地 昭和32年12月21日（25.16ha）	<p><b>【沿革・特徴】</b>            この付近は、寛永の頃までは将軍家の鷹狩場で、一面の芦原であった。承応3年（1654年）に徳川第四代将軍家綱の弟で甲府宰相の松平綱重がこの地を賜り、海を埋め立てて「甲府浜屋敷」または「海手屋敷」と呼ばれる別邸を建てた。その後、綱重の子綱豊が第六代将軍となったのを契機に、この屋敷は将軍家のものとなり、その名を「浜御殿」と改め、娯楽、社交の場として利用された。以来、幾度かの造園・改修工事が行なわれ、第十一代将軍家斉の時代にはほぼ現在の姿の庭園となった。</p> <p>明治維新以後は宮内省所管となり、その名も「浜離宮」と改められた。明治2年に落成された延遠館は、我が国最初の洋風石造建築であり、皇室の迎賓館として使用され、鹿鳴館とともに世上に知られたが、明治22年に老朽化のために取り壊された。</p> <p>第二次大戦後の昭和20年11月には東京都に下賜されたため、整備のうえ一般公開すること</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和21年4月1日	
	<b>3 面積（㎡）</b> 250,215.72	
	<b>4 位置</b> 中央区浜離宮庭園、銀座八丁目	
	<b>5 交通</b> JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」徒歩12分 都営大江戸線「築地市場駅」徒歩7分 都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留駅」徒歩7分 水上バス（東京都観光汽船）「浜離宮」下船	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
浜 離 宮 恩 賜 庭 園	<b>6 入園料</b>	<p>となった。</p> <p>本庭園は、江戸時代の代表的な大名庭園であり、現存する潮入の庭として貴重なものである。昭和 27 年 11 月には文化財保護法に基づいて国の特別名勝及び特別史跡に指定されている。</p> <p>庭園は海に面し、三方に川を巡らせてあり、ほぼ北庭と南庭に分けられる。北庭は、延遠館跡の芝生に松が点在し、細流には花菖蒲、雪見灯籠等が配置されている。南庭には、海水を導いた潮入の池、お伝い橋、中島の御茶屋などがあり、これらが潮の干満に合わせて景観が変化する様は浜離宮ならではのものである。</p> <p>園内には、庚申堂鴨場と新銭座鴨場の二つの鴨場があり、近年、鴨を始めとする野鳥の数も増加している。</p> <p>お伝い橋、中島の御茶屋は、昭和 28 年と同 58 年にそれぞれ復元したもので、中島の御茶屋では抹茶を楽しむこともできる。平成 22 年松の御茶屋、平成 27 年燕の御茶屋、平成 30 年には鷹の御茶屋を復元した。これら 3 つの歴史的資源を活用した「御茶屋ガイドツアー」を実施している。</p> <p>平成 7 年 4 月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成 8 年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行ない、平成 10 年度からは日曜日、祝日にボランティアによる庭園ガイドを実施、平成 13 年からは正月期間（1 月 2・3 日）の開園も行なうなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>また、水上バス発着場として利用の売店第三号が平成 19 年 6 月に改修され、水路からの来園者を迎えている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>大泉水の水質改善に向けた取り組みを行い、近年見受けられた赤潮やヘドロの堆積を改善するため、文献を基に新たに水の流れをつくることで水質の改善と景観の向上を図った。また、「生物観察体験会～潮入の池の生き物たち～」を開催し、庭園の特徴である海水を取り入れた環境を考える体験イベントなどを実施した。</p>
	一般及び中学生 300 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 150 円 みどりの日（5 月 4 日）、都民の日（10 月 1 日）は無料	
	<b>7 主な施設</b>	
	中島の御茶屋（集会場：和室 40 人）、芳梅亭（集会場：和室 25 人）、松の御茶屋（教養施設）、燕の御茶屋、鷹の御茶屋、船着場（水上バス）	
	<b>8 休園日</b>	
12 月 29 日から翌 1 月 1 日		
<b>9 文化財等の指定</b>		
旧浜離宮庭園（国の特別名勝及び特別史跡＝園内全域）		
公園の名称等		沿革とその特徴
向 島 百 花 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>向島百花園は、元旗本多賀氏の屋敷跡であったこの地に、文化元年（1804 年）に仙台の人である佐原鞠塙（さはらきくわう）が創設した庭園で、現代に残る江戸時代の花園唯一のものである。</p> <p>開園当初は、360 本の梅が主体で、当時有名だった亀戸の梅屋敷に対して「新梅屋敷」と呼ばれていた。なお、「百花園」の名称は、「四季百花の乱れ咲く園」という意味で名づけられたものである。</p> <p>小石川後楽園や六義園などの数奇をこらし経費を惜しまず築造された大名庭園とは著しく趣</p>
	昭和 32 年 12 月 21 日 平成 6 年 1 月 28 日（1.1ha）	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和 14 年 7 月 8 日	
	<b>3 面積（㎡）</b>	
10,885.88		
<b>4 位置</b>		
墨田区東向島三丁目		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
向島百花園	<b>5 交通</b> 東武伊勢崎線(スカイツリーライン)「東向島駅」徒歩8分 京成押上線「京成曳舟駅」徒歩13分 J R線「日暮里駅」より都営バス(亀戸行)「百花園前」徒歩3分	<p>を異にし、鞠塙と親交の深かった当時の一流文化人たちが協力し、文人趣味豊かな庭として造られ、いわば素人の手による庶民のための庭であった。</p> <p>また、作庭の構想もその名のとおり、梅 360本の梅園を始め、池泉、築山の代わりに日本の山草、野草を無数に植栽したもので、特に梅の花とハギを初めとする秋の七草をもって知られ、年を追うごとに盛況を極めていった。</p> <p>大正初年、時代の移り変わりとともに園景は荒廃し、これを惜しんだ小倉常吉氏が一切を譲り受け、五代目鞠塙を園主として公開した。</p> <p>その後、昭和8年2月に国の名勝に指定され、同13年10月に小倉翁の追善と名勝の永久保存のため、小倉未亡人から東京市に寄付された。これを受けた市では、補修整備のうえ翌14年7月に制限公開庭園として有料で開園した。昭和53年10月に文化財保護法により再び国の名勝及び史跡に指定された。</p> <p>昭和60年には、老朽化した御成座敷を保存するため、同建物の全面改修を行なった。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成8年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行なうなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>また、新春「春の七草籠」の頒布を始めとして、8月下旬の「虫ききの会」、中秋の名月を中心とした「月見の会」等の夜間特別公開といった江戸の園芸・伝統文化の保存や継承を行っている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 古写真を基に老朽化して破損した梅洞水(つるべ式井戸)を再設置し、往時の景観に近づけた。</p> <p>3年ぶりに「虫ききの会」や「月見の会」を開催した。梅の見頃に合わせて開催した「梅まつり」では伝統園芸や江戸の文化と合わせて早春の庭園を楽しんでいただく催しを実施した。</p>
	<b>6 入園料</b> 一般及び中学生 150円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65歳以上 70円 みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)は無料	
	<b>7 主な施設</b> 御成座敷(集会場:和室35人)、ハギのトンネル、福祿寿尊(隅田川七福神)	
	<b>8 休園日</b> 12月29日から翌1月3日	
	<b>9 文化財等の指定</b> 向島百花園(国の名勝及び史跡=園内全域)	
公園の名称等		沿革とその特徴
六義園	<b>1 計画決定</b> 昭和32年12月21日(10.08ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 元々は、徳川五代将軍綱吉の側用人である柳澤出羽守吉保の下屋敷で、この付近四万六千余坪を幕府から与えられ、吉保自ら設計指揮に当たり、文学趣味を遺憾なく発揮して元禄15年(1702年)に完成した。「六義園」の名は、中国の古い漢語集である「毛詩」に記されている「風、賦、比、興、雅、頌」の六義に由来し、和歌の六体によるものである。</p> <p>庭園様式は、回遊式築山泉山庭園で、千川上水の水を注いでいた。園内には、日本の名勝に似せた景観が88箇所あり、それらの景観にちなんだ名称を付すなど、江戸時代屈指の名園であったが、吉保が没した後は荒れる一方であった。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和13年10月16日	
	<b>3 面積(m<sup>2</sup>)</b> 87,809.41	
	<b>4 位置</b> 文京区本駒込六丁目	
	<b>5 交通</b> J R山手線・東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩7分 都営三田線「千石駅」徒歩10分	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
六 義 園	<b>6 入園料</b> 一般及び中学生 300 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 150 円 みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)は無料	<p>明治 10 年頃、付近の藤堂、安藤、前田の各氏邸とともに、岩崎彌太郎別邸となるに及んで旧景を補修し、再び昔の美しさを取り戻した。</p> <p>昭和 13 年 4 月、岩崎久彌氏から庭園を中心とした三万余坪が市民の鑑賞・休養の地として東京市に寄贈され、同年 10 月に有料庭園として公開された。昭和 15 年 8 月には国の名勝に、同 28 年 3 月には特別名勝に指定された。</p> <p>なお、老朽化した心泉亭を保存するため、昭和 60 年に同建物の全面改修を行ない、平成 5 年度からは外周塀の改修を行なっている。</p> <p>平成 7 年 4 月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成 8 年からはゴールデンウィーク期間など利用増が見込まれる場合に開園時間延長を行ない、平成 13 年より正月期間(1月2・3日)の開園も行なっている。</p> <p>さらに、シダレザクラの開花や紅葉に合わせた開園時間延長やライトアップ、日曜日、祝日のボランティアによる庭園ガイドを実施するなど、サービスの向上を図っている。</p>
	<b>7 主な施設</b> 心泉亭(集会場:和室 25 人)、宣春亭(集会場:和室 5 人)、滝見茶屋	
	<b>8 休園日</b> 12 月 29 日から翌 1 月 1 日	
	<b>9 文化財等の指定</b> 六義園(国の特別名勝=園内全域)	
		<p><b>【近年の取組等】</b> 紅葉としたれ桜の見頃に合わせたライトアップイベントを、夜間特別観賞として開催した。</p>

②開放公園 面積 9,060,778.55㎡

公園の名称等		沿革とその特徴
青山公園	<b>1 計画決定</b> (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 4) 内環状緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 38 年 3 月 29 日 (30.39ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 都市計画青山公園の都市計画上の問題点は多い。戦災復興計画においては、広義の「緑地」として内環状緑地の一環として位置づけされた。しかし、この時指定された公園区域の大部分は、市区改正新設計で明治 36 年 3 月 31 日市告示 36 号により「青山墓園」として都市計画決定されたものである。昭和 32 年に都市計画の再検討で計画上追認されることとなり、当面の間、都市計画青山公園と都市計画青山墓園の二面性を有する事となった。</p> <p>(1) 六本木地区 (南地区・25,015.50㎡) この公園は、昭和 38 年 3 月に国が都市計画代々木公園の一部をNHKに割愛することとしたため、都がその代替地を国に要求した結果、国から駒場公園用地とともに当公園用地の無償貸付を受けることとなったものである。</p> <p>この土地は元々旧陸軍の射撃場跡地であり、昭和 44 年 3 月 24 日に公園地として国から無償貸付を受け、昭和 44 年度工事で約 1/2 を造成した上で昭和 45 年に開園後、昭和 47 年 6 月 1 日にも 6,120㎡、昭和 53 年 6 月 1 日に 2,826㎡、令和 5 年 2 月 1 日に 4,732.26㎡を追加開園した。</p> <p>(2) 南青山地区 (北地区・19,734.96㎡) 都市計画に基づき昭和 48 年用地買収に着手し、昭和 50 年 6 月 1 日に 3,212.38㎡を、昭和 59 年 6 月 1 日に引揚者住宅跡地 3,545.62㎡を整備し追加開園した。</p> <p>その後、平成 5 年 6 月 1 日に、1,711.37㎡、平成 6 年 6 月 1 日に 1,546.81㎡、平成 7 年 6 月 1 日に 7,570.92㎡、平成 9 年 6 月 1 日に 595.15㎡、平成 25 年 6 月 1 日に 1,552.71㎡を追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 令和 4 年度は、近隣の保育園等と連携して、来園者へのおもてなしの花壇づくりを行うなど地域連携の取り組みに力を入れた。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 45 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 44,750.46	
	<b>4 位置</b> 港区六本木七丁目、南青山一丁目	
	<b>5 交通</b> 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩 5 分 東京メトロ日比谷線「六本木駅」徒歩 5 分 東京メトロ銀座線・都営大江戸線「青山一丁目駅」徒歩 5 分	
	<b>6 主な施設</b> こども広場 (北地区)	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
	公園の名称等	
赤塚公園	<b>1 計画決定</b> (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 522) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 11 年 2 月 26 日 (32.1ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 昭和 18 年 8 月に赤塚緑地として都市計画決定されたが、第 2 次世界大戦中であったため、暫く事業化されなかった。</p> <p>計画面積は約 32.1ha で、昭和 44 年から用地買収に入り、逐次準備を図りながら追加開園している。</p> <p>昭和 47 年 4 月には、日本住宅公団から土地区画整理事業による公園用地として約 12.8ha の引継を受けた。</p> <p>なお、昭和 53 年 6 月及び同 55 年 8 月に板橋区徳丸丘土地区画整理組合から 3.13ha の用地を引継いだ。</p> <p>昭和 62 年度には噴水を設置し、広場の改修工事を行った。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 49 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 255,480.40	
	<b>4 位置</b> 板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、赤塚四・五・八丁目、大門	
	<b>5 交通</b> 都営三田線「高島平駅」徒歩 8 分	
	公園の名称等	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
赤塚公園	<b>6 主な施設</b> 競技場、野球場、テニスコート（7面）、バーベキュー広場、駐車場	平成 11 年 5 月 31 日には、バレーボール場を廃止した。  【近年の取組等】 特別支援学校との協働による清掃・美化活動。「ニリンソウ月間」を3年ぶりに実施し、都内最大のニリンソウ自生地をPR。赤塚公園アートウィークにおいて、「東京五感公園 2022」を開催。
	<b>7 文化財等の指定</b> 徳丸ヶ原（都の旧跡）	
園の名称等		沿革とその特徴
宇喜田公園	<b>1 計画決定</b> 昭和 17 年 1 月 31 日（内告 43） 昭和 32 年 12 月 21 日（20.00ha）	【沿革・特徴】 本公園は、江戸川区の南東部、環状7号線内側の既成市街地内に位置しており、動物園や釣り池、日本庭園等の施設をもつ江戸川区立行船公園に隣接している。 本公園は昭和 32 年に都市計画決定され、平成 2 年に宇喜田公園基本計画を策定（20.0ha）、周辺住民からの野球広場整備要望等を受け、江戸川区はじめ地元住民と整備計画の調整を図り、「身近なスポーツから自然観察まで多彩なクリエーション活動が可能な、広々とした花いっぱい、緑豊かな公園」として計画される。 平成 13 年度に整備工事の完了した、少年野球のできる多目的広場・フラワープロムナード・駐車場を平成 14 年 4 月 1 日に開園した。 平成 14 年度には第二駐車場を整備。平成 15 年 5 月 1 日に 4,080.33 m <sup>2</sup> 、平成 16 年 1 月 1 日に 8,695.68 m <sup>2</sup> 、平成 16 年 6 月 1 日に 23,438.08 m <sup>2</sup> 、平成 21 年 6 月 1 日に 4,526.91 m <sup>2</sup> 、平成 22 年 6 月 1 日に 1,585.88 m <sup>2</sup> を追加開園した。  【近年の取組等】 ボランティア団体と協働し、ハーブガーデンを拡充した。
	<b>2 開園年月日</b> 平成 14 年 4 月 1 日	
	<b>3 面積（m<sup>2</sup>）</b> 59,812.58	
	<b>4 位置</b> 江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	
	<b>5 交通</b> 都営新宿線「船堀駅」徒歩 15 分 東京メトロ東西線「西葛西駅」徒歩 13 分	
	<b>6 主な施設</b> 多目的広場、駐車場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
	<b>1 計画決定</b> （昭和 17 年 1 月 31 日）（内告 43） 昭和 32 年 12 月 21 日（12.75ha）	
<b>2 開園年月日</b> 昭和 42 年 7 月 26 日		
<b>3 面積（m<sup>2</sup>）</b> 117,330.24		
<b>4 位置</b> 北区浮間二丁目 板橋区舟渡二丁目		
<b>5 交通</b> JR 埼京線「浮間舟渡駅」徒歩 1 分		
<b>6 主な施設</b> 野球場（照明付）、テニスコート（4面・照明付）、ゲートボール場、子ども運動広場、風車、桜草園、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b> なし		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
浮間公園		<p>なお、当公園地は、桜草の自生地であったが、野生種が絶滅してしまったため、現在では北区が公園地の一部約 1,600 m<sup>2</sup>を利用して桜草の栽培を行っている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> クラウドファンディングで購入したチューリップの植え付け、近隣保育園や大学との連携によりコミュニティーガーデンを彩った。子育て支援団体やNPOと連携した「キッズスマイルフェスタ」を初開催。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
大泉中央公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 東京都と埼玉県の境に位置する当公園は、かつて旧陸軍予科士官学校の敷地の一部であったもので、第2次世界大戦後に米軍が接収し、キャンプ朝霞として利用していたものである。その後、米軍から返還を受け、昭和62年に、面積10haの総合公園として都市計画決定され、造成後の平成2年に開園した。 400mトラックのある陸上競技場やナイター設備のついた野球場などがある。 大泉の名に相応しく、大きな噴水のモニュメントがある水の広場や既存樹林を活かした野鳥の森、四季の広場、陽だまり広場で構成されている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> クイズやシール貼りなど、来園者参加型のコミュニティーボードをちょうの里に作成。NPOとの連携で、年間41回こどもたちに生物多様性を体感してもらう「みる・さわる・たのしむ」プロジェクトを開催。</p>
	昭和62年11月25日(10.00ha)(大泉中央公園) 昭和63年1月14日(0.25ha)(長久保緑地)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	平成2年6月1日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	103,000.00	
	<b>4 位置</b>	
	練馬区大泉学園町九丁目	
<b>5 交通</b>		
東武東上線「成増駅」西武バス(大泉学園町行)「大泉中央公園」徒歩1分 西武池袋線「大泉学園駅」西武バス(成増駅行)「大泉中央公園」徒歩1分 JR中央線「荻窪駅」西武バス(長久保行)「長久保」徒歩2分		
<b>6 主な施設</b>		
野球場(1面・照明付)、競技場(400mトラック)、アスレチック、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
大島小松川公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、昭和44年に策定された「江東再開発基本構想」に基づく防災市街地再開発事業の一つである亀戸・大島・小松川地区に設置された公園である。 この再開発事業は、江東デルタ地域の東端に位置し、旧中川を挟んで、江東区と江戸川区にまたがる住宅・店舗・工場等が混在密集した98.6haの区域を、緊急時には避難場所となる公園の周囲に不燃高層建築物を配して防災拠点とするとともに、良好な生活環境を創造するものである。 平成11年4月には、市街地再開発事業区域外も含めて公園とすべく計画変更を行った。 当公園は、平常時には広域的なレクリエーションの場として利用され、災害時には20万人の避難広場となるもので、旧中川の江東区側にス</p>
	昭和50年8月15日 平成11年4月13日(25.10ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	平成9年8月1日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	249,282.77	
<b>4 位置</b>		
江東区大島九丁目(江戸川区小松川一丁目)		
<b>5 交通</b>		
都営新宿線「東大島駅」徒歩3分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
大島小松川公園	<b>6 主な施設</b> テニスコート（4面・照明付）、小野球場（1面）、小野球場兼サッカー場（小野球：2面、サッカー場：1面、照明付）、アスレチック広場、バーベキュー広場、駐車場	<p>ポーツ広場、わんさか広場を、江戸川区側に自由の広場、季節の広場、風の広場の5つのブロックを配している。</p> <p>事業の進捗に併せて、平成4年に季節の広場、風の広場を、平成9年4月にわんさか広場の一部を暫定的に一般開放した。</p> <p>平成9年8月には、運動施設を中心とするスポーツ広場の一部を開放し、平成10年6月には兼用球技場をオープンした。</p> <p>平成12年7月にはアスレチック広場を、平成13年4月及び6月には自由の広場、駐車場、バーベキュー広場をオープンした。</p> <p>平成18年3月には、暫定開放部分を含め194,556.45㎡を開園告示した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 地域と連携した防災プログラムを展開した。また、六価クロム浸出対策工事を実施した。</p>
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
尾久の原公園	<b>1 計画決定</b> 平成元年3月30日（10.00ha）	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、旭電化尾久工場跡地を利用して計画された都市計画公園である。</p> <p>計画の概要は、「自然環境の回復とスポーツ・レクリエーション利用の両立」を図ることを基本テーマとしている。</p> <p>平成2年11月27日に事業認可を受けて造成を行ない、平成5年6月1日には造成が終了した部分1.4haを開園した。</p> <p>その後も、広場、流れ等を整備し、さらにトンボの貴重な生息地であった地域については自然を生かしたトンボの池として整備して、順次開園している。</p> <p>当公園西園部分に面する公園予定地については、下水道処理場を建設する予定となっており、その完成後、上部を公園として整備する予定であることから、全面開園までは相当な年月を要すると思われる。</p> <p>平成24年12月に土壌調査のため全面閉鎖されたが、平成25年6月に部分開放されている。</p> <p>平成26年3月にはダイオキシン類土壌汚染対策地域の指定が告示されるとともに開放区域も変更となり、対策工事の上、平成27年3月全面開放された。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 地域協働イベント「森のマルシェ」、「おぐのはらアートフェスタ」の実施や園内での目撃情報が少ない生き物を探索する企画である「尾久の原バウンティハンター」を実施した。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 平成5年6月1日	
	<b>3 面積（㎡）</b> 61,841.28	
	<b>4 位置</b> 荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	
	<b>5 交通</b> 都電荒川線「東尾久三丁目駅」徒歩10分 日暮里・舎人ライナー「熊野前駅」徒歩10分	
	<b>6 主な施設</b> 池（トンボ池）、子供の遊び場、流れ	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
葛西臨海公園	<b>1 計画決定</b> 昭和47年1月14日 昭和60年6月17日（183.50ha）	<p><b>【沿革・特徴】</b> 葛西臨海公園は、隣接する西海浜公園（港湾局所管の人工なぎさ、海水面部分）と連続性を</p>

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
葛 西 臨 海 公 園	<b>2 開園年月日</b> 平成元年6月1日	<p>持った“海～浜～陸”を形成している点で、非常に魅力のある空間構成を有している。</p> <p>本公園は昭和47年に都市計画決定されたもので、陸域76.3ha、水域107.2haの合計183.5haである。</p> <p>そもそも東京都施行の葛西沖開発土地地区画整理事業(約38ha)の一環として昭和60年に事業に着手したもので、平成元年に開園後、平成6年4月21日にオープンした鳥類園をもって、殆どの整備を完了した。</p> <p>この公園は、緑の浜辺、都民の浜辺、楽しい浜辺、頼もしい浜辺のテーマを計画の四本柱として、駅前広場の噴水、海へのプロムナードを経て西海浜公園の西なぎさへ至るルートと、展望レストハウス、汐風の広場を経て水上バス(東京水辺ライン)乗場に至るルートを中心に池(蓮池、芦ヶ池)、流れ、休憩舎、植物等を配し、都民のレクリエーション、環境学習の場として整備したものである。</p> <p>また、公園内にある葛西臨海水族園は、昭和57年(1982年)恩賜上野動物園開園100周年記念事業として計画され、平成元年10月10日に開園した。</p> <p>葛西沖は、昔から豊富な魚介類を餌とする鳥類が飛来し、繁殖する有数な場所であった。この地域特性を活かして、淡水池、汽水池及び広大な森を人工的に造成し、かつての豊かな自然環境の創出に努めているのが鳥類園である。園内には、ウォッチングセンター、観察舎、観察窓を設置し、鳥類の観察ができるようになっている。</p> <p>平成11年4月には、バーベキュー広場を開設し、平成13年3月には当時日本最大・最高の大観覧車が設置され、当公園のシンボリック施設として好評を博している。</p> <p>平成28年度、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた会場整備に着手した。</p> <p>平成29年9月29日に29,542.25㎡を廃園した。</p> <p>平成31年4月1日に878.56㎡を追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 芦ヶ池の流れを復元。水仙の名所4市と連携し、3年ぶりに水仙まつりを開催。豊かな自然を活かした鳥類や動物とのふれあいイベントの実施。視覚障がい者誘導設備を、カヌー・スラロームセンター付近まで416m増設。</p>
	<b>3 面積 (㎡)</b> 778,597.49	
	<b>4 位置</b> 江戸川区臨海町六丁目	
	<b>5 交通</b> JR京葉線「葛西臨海公園駅」徒歩1分 水上バス(東京水辺ライン)「葛西臨海公園」徒歩1分	
	<b>6 主な施設</b> バーベキュー広場、葛西臨海水族園、ホテルシーサイド江戸川、大観覧車、西海浜公園(人工なぎさ)、駐車場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
	公園の名称等	
亀 戸 中 央 公 園	<b>1 計画決定</b> 昭和48年3月3日(10.60ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 日立製作所亀井戸工場跡地について、都市計画決定を行い、昭和48年度に102,122.52㎡を買収して公園としたものである。昭和54年度には、造成が終了した1ブロック(A地区)について、先行して開園した。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和55年6月1日	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
亀戸中央公園	3 面積 (㎡)	<p>昭和 61、62 年度には B、C 地区を整備した。B 地区には人工池、流れを採り入れ、C 地区にはテニスコート、多目的球技広場、児童遊具等を配置した明るい開放公園として整備された。</p> <p>昭和 61 年 6 月 1 日に B 地区部分 49,005.18 ㎡を、昭和 62 年 6 月 1 日に C 地区部分 26,496.05 ㎡を、平成 3 年 6 月 1 日に A 地区 294.04 ㎡を追加開園した。</p> <p>また、テニスコートについては、昭和 62 年 6 月 1 日から使用を開始した。</p> <p>平成 23 年 6 月 1 日 178.64 ㎡を追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> サザンカの名所復元にむけて挿し穂を育成して植付けを行った。また、家族で楽しめるイベントとして「遊びキャラバン」や「自然観察会」を実施した。</p>
	103,205.34	
	4 位置	
	江東区亀戸八・九丁目	
	5 交通	
	東武亀戸線「亀戸水神駅」徒歩 2 分	
	6 主な施設	
テニスコート (4 面・照明付)、児童コーナー、多目的球技広場、亀戸スポーツセンター		
7 文化財等の指定		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
砧公園	1 計画決定	<p><b>【沿革・特徴】</b> 昭和 15 年の皇紀 2600 年記念行事として都市計画決定され、翌年の 3 月までに 760,000 ㎡を買収し、第 2 次世界大戦中防空緑地として使用されていたが、同 23 年自作農創設特別措置法によって 386,000 ㎡を開放した。</p> <p>開散区域のうち、253,600 ㎡を占めた砧ゴルフ場は、昭和 29 年 11 月の都議会において設置が議決され、東京急行電鉄(株)が建設寄付後、同社に経営を委託して、昭和 30 年 12 月 5 日に供用を開始したものであるが、期限満了後の昭和 40 年 12 月 4 日に供用を廃し、昭和 41 年 5 月 5 日に砧ファミリーパークとして一般開放した。</p> <p>昭和 41 年 7 月に東海道幹線自動車国道 (東名高速道路) の路線が当園の南側を通過することが決定し、予定地を含む 38,510 ㎡を日本道路公団に売却し、同年 11 月 12 日をもって面積変更した。</p> <p>昭和 44 年 6 月 10 日に裏門付近を増設するとともに環状 8 号線沿い苗圃 10,854 ㎡を開園し、同年度の工事により造成した元苗圃 29,801 ㎡昭和 45 年 6 月 1 日に追加開園した。また、昭和 46 年 5 月 5 日にサイクリングコースを開設した。</p> <p>昭和 49 年 6 月 1 日に環状 8 号線側 37,775.04 ㎡を昭和 56 年 6 月 1 日に大蔵通り側 46,757.86 ㎡を、昭和 57 年 4 月 1 日に駐車場整備に伴う 898.96 ㎡、平成 7 年 6 月 1 日 4,063.17 ㎡を、平成 8 年 6 月 1 日に 813.10 ㎡を順次追加開園した。</p> <p>園内は、広々とした芝生地で、中央部には随所に桜が植えられ、春には桜の名所としても賑わっている。環状 8 号線側は、梅林、アスレチック広場、運動広場が配され、四季を通じて校外活動等にも利用されている。</p> <p>平成 14 年 6 月 1 日に、砧公園に隣接する世田谷市場周辺道路整備工事に伴い、世田谷区道との土地交換のため 515.09 ㎡を廃止した。交換による受地は 17 年度に行い、18 年 6 月に追加開園した。</p>
	(昭和 15 年 3 月 30 日) (院告) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 28 年 12 月 19 日 (67.00ha)	
	2 開園年月日	
	昭和 32 年 4 月 1 日	
	3 面積 (㎡)	
	391,777.35	
	4 位置	
世田谷区砧公園 大蔵一丁目		
5 交通		
小田急線「千歳船橋駅」東急バス (田園調布行)「砧公園緑地入口」徒歩 0 分 小田急線「成城学園前駅」東急バス (都立大学駅北口行)「岡本一丁目」徒歩 0 分 東急田園都市線「用賀駅」徒歩 20 分または東急コーチバス (美術館行「美術館」) 徒歩 0 分		
6 主な施設		
野球場 (2 面・照明付)、アスレチック広場、運動広場、小サッカー場 (照明付)、駐車場、バードサンクチュアリ、世田谷美術館、サイクリングコース		
7 文化財等の指定		
なし		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
砧公園		<p>令和2年3月、都立公園初のユニバーサル遊具が集まった「みんなのひろば」が完成した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 「みんなのひろば」の利活用・理解促進を図るためのイベントを開催し、子どもたちがアートワークや花育に親しんだ。</p>
	公園の名称等	公園の名称等
木場公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、仙台堀川を挟んで南北に分かれて計画面積 24.2ha の総合公園であり、地方公共団体が設置する昭和天皇御座位 50 周年記念公園として、国（建設省）から指定を受けている。 木場地区は、昭和 44 年に策定された江東再開発基本構想の中で、防災 6 拠点の一つである避難拠点として位置付けられており、当公園はその中心として避難広場の機能を期待されている。このため、当公園は既存の公園とは異なり、工場、商店、事業所ビル、一般住宅等の混在する過密既成市街地の中で用地買収を行い、造成整備を行ってきた。 当公園の計画区域は、元々木材関連企業者の集中する木場地区としてその名が知られていたが、公園整備事業に先立って昭和 47 年から始まった木材関連企業者の新木場移転事業跡地となり、事業認可の時点で 65% の用地が取得されていた。昭和 52 年度末からは、公園事業（防災的役割を持つ都都市公園）として北地区から本格的な整備事業に着手し、南地区では、地下鉄 12 号線（都営大江戸線）の地下車庫が計画されたため、関連する公園基盤整備工事も実施した。当公園は、「水と緑と森林公園」をテーマに、各種の広場を中心に外周植栽を配し、北地区は教養・文化広場（東京都現代美術館）、多目的広場、イベント広場、テニスコート、管理棟等を、南地区は噴水広場、入口広場（イベント池）、冒険広場、駐車場等を、また、中地区は水辺のプロムナード等を整備した。 さらに、南北地区が仙台堀川と葛西橋通りで分割されているため、両地区を結ぶ「木場公園大橋（PC 造・斜張橋）」を架設した。 平成 4 年 6 月 1 日に 192,625.27 m<sup>2</sup> を新規開園し、その後、順次追加開園している。なお、平成 7 年 3 月 19 日には東京都現代美術館部分 23,829.09 m<sup>2</sup> を追加開園し、平成 23 年 3 月 1 日下水道事業のため 2,891.61 m<sup>2</sup> を一時廃止した。 平成 11 年度末で緑の相談所は閉鎖したが、平成 12 年 6 月には家庭で手軽に楽しめる植物の普及のための見本園として、地域住民の手により維持管理してもらう都市緑化植物園を南側地区にオープンした。 また、イベント池では、毎年 10 月に木場の伝統芸である「木場の角乗」が披露され、そのための練習も行われている。 平成 21 年 5 月には南地区にドッグランを開設した。</p>
	昭和 53 年 2 月 21 日（24.20ha）	
	<b>2 開園年月日</b>	
	平成 4 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積（㎡）</b>	
	238,711.13	
	<b>4 位置</b>	
江東区三好四丁目、平野四丁目、木場四・五丁目、東陽六丁目		
<b>5 交通</b>		
東京メトロ東西線「木場駅」徒歩 5 分 都営新宿線「菊川駅」徒歩 15 分 都営大江戸線「清澄白河駅」徒歩 15 分		
<b>6 主な施設</b>		
テニスコート（6 面・照明付）、イベント広場、イベント池、都市緑化植物園、パーベキュー広場、ドッグラン、東京都現代美術館、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
木場公園		<p>平成30年4月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>令和元年8月、ミドリアム内にBBQ売店が、10月にはキッズリアムがオープンした。</p> <p>令和2年8月7日、公募により選定された多面的活用事業者による便益施設「KIBACO」がオープンした。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 木に触れる木育の機会の提供の場として木材コースターの作成や広葉樹・針葉樹の違い、9種類の樹木に触れるなどのプログラム実施。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
駒沢オリンピック公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 現在の駒沢オリンピック公園が所在する土地は、大正2年に東京ゴルフクラブにより駒沢ゴルフクラブとして開発されたが、昭和18年に防空緑地として指定された時点で、東京都が全面的に買収した。</p> <p>第2次世界大戦後の昭和22年12月には、自作農特別措置法により農林省に買収され、一時国有地となったが、昭和24年10月に駒沢緑地総合運動場（教育庁所管）として再び都有地になった。</p> <p>昭和34年6月、第18回オリンピックが東京で開催されることに決定し、駒沢オリンピック公園はその第2会場として、46億円の工事費と3年の工期を費やして昭和39年7月23日に竣工し、競技場として輝かしい使命を果たした。</p> <p>大会終了後の昭和39年12月1日に、現在の名称である駒沢オリンピック公園と命名され、都市公園として開園した。</p> <p>以降、総合運動公園（公開施設は建設局、運動施設はオリンピック・パラリンピック準備局）として、広く都民に親しまれ現在に至っている。</p> <p>園内には、児童公園3か所を始めとして憩いの池、ドッグラン、サイクリングコース等があり、多くの利用者で賑わっている。</p> <p>平成29年3月には、指定管理者と公募した事業者との共同事業で運営されるレストランがオープンした。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 「駒沢ファンタジア」を3年ぶりに現地開催。世田谷区で活躍する学校や団体・店舗等が参加し、地域活性化に寄与した。</p>
	(昭和17年1月31日) (内告43) 昭和32年12月21日 昭和37年12月22日 (40.52ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和39年12月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	413,573.09	
	<b>4 位置</b>	
	世田谷区駒沢公園、駒沢一丁目 目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目	
<b>5 交通</b>		
東急田園都市線「駒沢大学駅」徒歩15分 JR線「渋谷駅」東急バス田園調布行「駒沢公園東口」徒歩0分 JR線「恵比寿駅」東急バス用賀行「駒沢公園」徒歩0分		
<b>6 主な施設</b>		
児童遊園、ドッグラン、駐車場、ストリートスポーツ広場、サイクリングコース、オリンピック・パラリンピック準備局施設（陸上競技場、体育館、屋内競技場、硬・軟式野球場、水泳場、弓道場、テニスコート等12施設）、		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
猿江恩賜公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 本公園が存する地は、享保18年(1733年)頃に横網町から移った幕府の材木蔵の跡地で、明治維新後は猿江御料地(宮内省御料局貯木所)となった。</p>
	(昭和21年4月25日) (院告14) 豎川緑地 昭和32年12月21日 昭和53年10月4日 (17.40ha)	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
猿 江 恩 賜 公 園	<b>2 開園年月日</b>	<p>大正 13 年 1 月 26 日に、昭和天皇御成婚記念として現在の南側地区が下賜され、昭和 7 年に開園した。</p> <p>北側地区は、その後も林野庁所管の貯木場として機能していたが、昭和 51 年に貯木場が江東区潮見へ移転したのを機に払い下げを受け、公園として整備、開園した。</p> <p>本公園は、かつての貯木場の水面景観を再現したものである。ミニ木蔵と石材で作った流れには、じゃぶじゃぶ池も配され、特に夏場は親子連れでにぎわっている。</p> <p>昭和 38 年 9 月に、池を埋め立てて江東公会堂の設置を許可した。この公会堂は、昭和 40 年 3 月 12 日に竣工し、その後平成 6 年に改築された。</p> <p>昭和 46 年 6 月 1 日に 39.58 ㎡を、昭和 56 年 12 月 26 日に貯木場跡地 93,326 ㎡を追加開園した。</p> <p>昭和 63 年度には、南側部分について日本庭園化工事を行った。</p> <p>平成 3 年 6 月 1 日に 415.26 ㎡を追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>「ぶちボランティア」において地元企業等と連携してチューリップの球根植付けを行った。また、「防災フェスタ」を実施し、地域防災に貢献した。</p>
	昭和 7 年 4 月 29 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	145,088.43	
	<b>4 位置</b>	
	江東区住吉二丁目、毛利二丁目	
	<b>5 交通</b>	
都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」徒歩 2 分 JR 総武線「錦糸町駅」徒歩 15 分		
<b>6 主な施設</b>	<p>野球場 (2 面・照明付) 兼競技場 (照明付)、テニスコート (8 面・照明付)、江東公会堂 (ティアラ江東)、ミニ木蔵</p>	
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
汐 入 公 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>当公園が立地する白鬚西地区は荒川区の東端に位置し、住・商・工の混在する密集市街地であった。当地区の建物は戦災を免れて老朽化が進み、道路も狭く、また、工場移転に伴って人口が大幅に減少した結果、防災性の向上と地域の活性化が課題となっていた。</p> <p>この事態を受け、昭和 44 年に江東デルタ地帯における防災性の向上及び地域の生活環境の改善・経済基盤の強化を目的として策定された「江東再開発基本構想」に基づき、都内の防災拠点の 1 つとして、昭和 63 年以降、施設建築物や公共施設の整備が行われてきた地区である。汐入公園は、この事業の一環として整備され、広さ 12.9ha、災害時には 12 万人が収容可能な避難広場としての機能を併せ持ち、防災備蓄倉庫や非常用電源などの施設が存在する。</p> <p>公園施設としては、テニスコートなどのスポーツ施設のほか、災害時にヘリコプターが離着陸できる広場と駐車場に応急仮設トイレも配置している。</p> <p>また、バーベキュー広場や多目的広場などを配置し、都民が利用できる施設も備えられており公園の東側は、隅田川のスーパー堤防と一体化して整備され、展望広場からの隅田川の眺望は、水辺空間として、快適で親しみやすい都市空間を生み出す、都内では貴重なビュースポット</p>
	昭和 58 年 3 月 31 日 平成元年 1 月 20 日 (12.9ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	平成 18 年 4 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	129,369.83	
	<b>4 位置</b>	
荒川区南千住八丁目		
<b>5 交通</b>	<p>JR 常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス「南千住駅」徒歩 12 分</p>	
<b>6 主な施設</b>		
テニスコート (4 面)、ピクニック広場 (バーベキュー広場)、野外ステージ、展望広場、日時計広場、多目的広場、複合遊具、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
汐 入 公 園		トとなっている。平成23年6月1日335.76㎡を追加開園した。 平成29年4月1日、国家戦略特別区法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。  【近年の取組等】 地域の子供たちと一緒に「キッズガーデン」を整備、専門家の元、ハーブに触れ、学ぶ遊び場として活用を図り、ハーブの魅力発信を行った。
公園の名称等		沿革とその特徴
潮 風 公 園	<b>1 計画決定</b> 昭和45年1月20日(20.20ha)	【沿革・特徴】 東京港のシンボルゾーンの一部として、航行する船を眺めながら楽しく利用できる公園として、昭和49年に13号埋立地跡を造成・開園したものである。 昭和49年6月1日に13号地公園として開園後、同53年6月1日に6,541.50㎡、同54年5月31日に10,439.05㎡、同56年12月26日に91,991.23㎡を追加開園した後、平成7年6月1日付けで17.70㎡を実測により面積変更、平成8年6月1日に1,192.03㎡を追加開園した。臨海副都心内では最大の公園となっている。 平成4年11月15日から平成8年3月23日まで立入を禁止し、園内の全面改修工事を行った。その際に、太陽の広場、夕日の塔、水と緑のプロムナードやコーストデッキ等の修景施設を整え、海と飛行機に見える公園として、その名も潮風公園と改めて、平成8年3月24日にリニューアルオープンした。 なお、平成10年度には、バーベキュー施設も設置された。 園地は、太陽の広場やバーベキュー場のある北エリアと、カスケードや園内唯一の遊具「しおかぜ丸」のある南エリアに分かれている。この両エリアを結んでいた「しおかぜ橋」は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による損傷や老朽化のため撤去したが、令和2年4月1日「新しおかぜ橋」の供用を開始した。  【近年の取組等】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での会場使用に伴い、公園を全面閉鎖していたが、令和3年12月1日より公園南側エリア、令和4年4月1日より公園北側エリアの一部を開放した。
	<b>2 開園年月日</b> 昭和49年6月1日	
	<b>3 面積(㎡)</b> 154,542.41	
	<b>4 位置</b> 品川区東八潮1・2番	
	<b>5 交通</b> ゆりかもめ「台場駅」・「東京国際クルーズターミナル駅」徒歩5分 臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」徒歩10分 京浜急行バス(大井駅～船の科学館行)「台場駅」徒歩5分 水上バス(東京水辺ライン)(東京都観光汽船)「お台場海浜公園」発着所徒歩10分	
	<b>6 主な施設</b> コーストデッキ、サニーテラス、太陽の広場、カスケード、バーベキュー広場、レストハウス、駐車場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
篠 崎 公 園	<b>1 計画決定</b> (昭和15年3月30日)(内告147) 昭和32年12月21日 平成27年10月2日(86.50ha)	【沿革・特徴】 昭和15年3月に皇紀2600年記念事業として篠崎緑地の名称で都市計画決定されたが、第二次世界大戦のため事業が一時中断した。戦後、昭和32年12月に東京都市計画公園・緑地の再検討が行われた際に篠崎公園と改められ、昭和
	<b>2 開園年月日</b> 昭和42年7月26日	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
篠崎公園	<b>3 面積 (㎡)</b>	<p>35年から公園造成に着手し、昭和42年7月に一部開園、以降順次整備を図りつつ、現在も追加開園を行っている。</p> <p>昭和61年5月には都民グリーンフェスティバル実行委員会による植樹祭が行われ、約1000本の木が植えられた。</p> <p>昭和51年7月には計画面積を当初の124haから89.5haに縮小、さらに同59年11月には86.8haに縮小した。</p> <p>平成21年4月にドッグランを開設した。</p> <p>令和4年1月15日に10,121.22㎡の追加開園を行った。</p> <p>篠崎公園地区高台まちづくり事業のため、令和4年5月31日をもってバーベキュー広場が閉鎖となった。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            新たな取り組みとして、専用紙に描いた絵をスキャナーで読み込むことで絵が動き出す「紙アプリ」を活用した「ハーモニーフェスティバル」を開催した。</p>
	312,744.18	
	<b>4 位置</b>	
	江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	
	<b>5 交通</b>	
	〔A地区〕 JR総武線「小岩駅」京成バス「浅間神社」徒歩4分 都営新宿線「篠崎駅」徒歩16分 〔B地区〕 JR総武線「小岩駅」京成バス「小岩消防署」徒歩1分 都営新宿線「篠崎駅」徒歩13分	
	<b>6 主な施設</b>	
野球場兼競技場（4面・うち2面は照明付）、小野球場（2面・照明付）、少年野球場、テニスコート（8面・照明付）、球技広場（4面）、児童遊園、駐車場、ドッグラン		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
芝公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            明治6年の太政官布達に基づく都内最初の5公園（深川、上野、芝、浅草、飛鳥山）の一つである。</p> <p>開園当初は、江戸時代そのままの姿で、山内には増上寺の本堂や徳川家霊廟を中心として、巨木老木が繁茂し、各種文化財に富む景勝地であった。</p> <p>明治13年には、初めて公園の開発や園内の茶屋等の整理が行われた。</p> <p>敷地は、しばしば拡張・除外等がなされ、殊に新憲法施行により、増上寺、東照宮等の寺社境内地や墓地等が除外され、わずかに外縁部のみが残されたもみじ谷、丸山付近に往年の面影をとどめるにすぎない。</p> <p>なお、昭和43年10月15日に、港区立中学校用地として2,578㎡を、放射21号線道路用地として1,774㎡を割譲したのを始めに、昭和46年12月22日には都市計画石神井公園用地との交換により1,472.8㎡を提供し、都有地と港区有地2,578.53㎡を等積交換した。また、昭和53年3月31日に港区へ管理を引き継ぐため1,998.56㎡を公園区域から除外した。</p> <p>平成元年6月1日には、買収した民有地69.42㎡を追加開園し、同5年6月1日に231.29㎡を、同7年6月1日に226.82㎡を、同8年6月1日に446.87㎡を、同9年6月1日に453.97㎡を、同11年6月1日には106.78㎡を追加開園した。</p> <p>現在では、増上寺、プリンスホテルの周辺を囲う形で15区画の飛地公園となっている。</p>
	(明治22年5月20日) (府告37) 市区改正 昭和32年12月21日 昭和43年10月7日 (33.0ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	明治6年10月19日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	122,501.09	
	<b>4 位置</b>	
港区芝公園一・二・三・四丁目		
<b>5 交通</b>		
都営三田線「芝公園駅」徒歩2分 都営三田線「御成門駅」徒歩2分 都営大江戸線、浅草線「大門駅」徒歩5分 都営大江戸線「赤羽橋駅」徒歩2分 JR線・東京モノレール「浜松町駅」徒歩12分		
<b>6 主な施設</b>		
野球場（2面・照明付）兼競技場（照明付）、テニスコート（3面・照明付）、もみじ谷、芝丸山古墳、プール、図書館		
<b>7 文化財等の指定</b>		
芝丸山古墳（都の史跡）		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
芝 公 園		<p>春は丸山の花見、夏はもみじ谷の滝と流れが憩いの場として利用され、にぎわっている。          なお、港区設置の図書館、プール等がある。          令和2年6月1日、足掛け3年にわたる改修工事を経て、もみじ谷が再開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>          令和5年の芝公園開園150年に向け、近隣施設と連携した「歴史ガイドツアー」を実施するなど、開園150周年の広報に努めた。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
石 神 井 公 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>          当公園は、石神井風致地区の中核をなす三宝寺池及び石神井池を中心とした水と緑の公園である。自然林に囲まれた三宝寺池は、武蔵野の三大湧水池の一つであり、昭和30年代頃までは、真冬でも池面が凍らない「不凍池」として知られていたが、周辺の市街化などの環境の変化により、現在では地下水を汲み上げて池を満たしている。</p> <p>三宝寺池の浮島にある沼沢植物群落は、昭和10年12月に国の天然記念物に指定されている。氷河期のままの姿を伝える寒冷地植物のミツガシワを始め、カキツバタ、コウホネなどが群落している。しかし、水環境の変化などにより、その種類や個体数は減少しているため、大型の水生植物を刈り取るなど群落の回復を図っている。</p> <p>また、三宝寺池周辺は、起伏に富み、木々に囲まれた静寂な趣が神秘的な環境を形作るとともに、武蔵野の自然をよく残した野鳥の楽園をともっており、文明9年(1477年)に陥落した石神井城跡も往時の姿を偲ばせている。</p> <p>一方、東側の石神井池周辺にはボート場を始めとする施設があり、また、西側とは趣の異なる庭園部分もある。昭和5年に風致地区に指定され、都心の貴重な自然を今に残している公園であり、地元区の様々な「まつり会場」としても親しまれている。</p> <p>平成22年6月1日に22,410.74㎡を追加開園し、野球場、テニスコートを整備した。平成24年6月1日に1,864.46㎡を追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>          生物多様性の魅力を広く親子連れにも伝えるため、「蝶々園」を新たにオープンした。また、地域の自然や未来について考えるイベント「THINK ETHICAL PARK DAY」の開催や親子連れを中心に協働で外来種を防除する「アメリカザリガニBYEBYEプロジェクト」を新たに始動した。</p>
	昭和17年1月31日(内告43) 昭和32年12月21日 平成26年11月28日(41.10ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和34年3月11日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	226,232.99	
	<b>4 位置</b>	
	練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目	
<b>5 交通</b>		
西武池袋線「石神井公園駅」徒歩7分 西武新宿線「上井草駅」西武バス(長久保行)「三宝寺池」徒歩1分 西武新宿線「上井草駅」西武バス(石神井公園行)「石神井公園」徒歩3分		
<b>6 主な施設</b>		
野球場(2面・うち1面は照明付)、テニスコート(2面)、野外ステージ、ボート場、小野球場、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
三宝寺池沼沢植物群落(国の天然記念物) 石神井城跡(都の史跡)		

公園の名称等		沿革とその特徴
城北中央公園	<b>1 計画決定</b> (昭和17年1月31日)(内告43) 昭和32年12月21日 昭和51年7月13日(43.60ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 昭和17年1月、防空緑地として都市計画決定を行ない、用地買収に入ったが、第二次世界大戦中事業を一次中断した。戦後に入って、約8.6haを農地に開放したことは、砧、駒沢、水元公園等と同様である。 昭和32年4月1日に上板橋緑地として開園し、同年立教大学に運動施設の設置を許可したが、昭和43年1月に同大学から返還され、以後一般に開放している。 昭和45年には、現在の名称である城北中央公園に名称を変更した。 城北地域における最大の運動公園として、陸上競技場、野球場、テニスコート、児童遊戯施設等がある。 また、昭和43年には都民の森として園内約1,000㎡に緑の銀行からの寄付により85本の植樹が行なわれた。 プール、じゃぶじゃぶ池、サイクリングセンター、サイクリングコースについては、平成11年度末をもって閉鎖した。 平成12年5月31日に5,885.63㎡、平成14年6月1日には5,723.2㎡、平成15年6月1日に10,359.38㎡と整備完了箇所を開園した。 平成17年6月には、ドッグランを開設し、新しいニーズに込えている。 平成23年6月1日に635.84㎡、平成24年6月1日に1,394.96㎡を追加開園した。 平成29年10月1日河川事業のため9,291.14㎡を一時廃止した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 地域と連携して栗原遺跡・茂呂遺跡の特別公開及びガイドツアーを行う等、伝統と歴史的遺産の継承に向けた取組みを行った。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和32年4月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 258,915.20	
	<b>4 位置</b> 板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	
	<b>5 交通</b> 東武東上線「上板橋駅」徒歩15分 東京メトロ「氷川台駅」徒歩20分	
	<b>6 主な施設</b> 競技場(400mトラック)、野球場(2面・照明付)、小野球場(2面)、テニスコート(9面・うち8面は照明付)、ドッグラン、上板橋体育館、駐車場	
	<b>7 文化財等の指定</b> 茂呂遺跡(都の史跡)	
	<b>公園の名称等</b>	
善福寺川緑地	<b>1 計画決定</b> (昭和17年1月31日)(内告43) 昭和32年12月21日 昭和35年3月31日(28.58ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、善福寺川に沿った帯状の公園で、五日市街道を挟んで上流区域と下流区域とに分かれており、児童を対象とした施設の多い公園である。 公園内を流れる善福寺川は、藻が繁殖し、色とりどりの鯉の群れが随所に見られ、水辺の公園として都民の期待が高まっている。園内には約400本ものサクラがあり、杉並区内のサクラの名所の一つとなっている。 昭和53年8月1日に有料施設として野球場及び小野球場を各1面設置し、昭和62年6月1日にテニスコート3面を設置した。 なお、上流区域に設けられていたサイクリングコースセンター及びサイクリングコースについては、平成11年度末を持って閉鎖したが、これとは別に杉並区により設置・管理されているサイクリングコースがある。 また、平成13年6月1日に886.86㎡、平成21年4月1日に3,473.60㎡、平成22年4月1日</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和39年8月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 181,220.07	
	<b>4 位置</b> 杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	
	<b>5 交通</b> 京王井の頭線「西永福駅」「浜田山駅」徒歩15分 JR中央線「中野駅」関東バス(吉祥寺駅行)(五日市街道営業所行)「緑地公園前」「五日市街道営業所」徒歩1分	
	<b>公園の名称等</b>	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
善福寺川緑地	<b>6 主な施設</b> 野球場（1面）、小野球場（1面）、テニスコート（3面）、子供の広場	に 235.75 m <sup>2</sup> を追加開園した。  【近年の取組等】 善福寺川緑地から和田堀公園にかけてスポーツ教室、秋の実を使った工作キット配布、生物多様性観察会と、1日を通して公園全体を楽しめるイベントを初めて実施した。
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
善福寺公園	<b>1 計画決定</b> (昭和 17 年 1 月 31 日) (内告 43) 昭和 32 年 12 月 21 日 (10.89ha)	【沿革・特徴】 その昔、善福寺というお寺があり、その名をつけたとされるのが、現在の善福寺池である。 当公園は、武蔵野三大湧水池の一つとして数えられた善福寺池を核とした公園であり、池はボート場を設置した上の池と下の池とに分かれている。 この善福寺池は江戸時代は神田上水の補助水源にも利用されたと伝えられるほど湧水量が豊富で、清冽であったが、周囲の開発により逐次水量が減少し、現在では井戸水の汲み上げに依存している。 園内は、善福寺池を中心とした水と樹林と散策路の公園であり、昭和 5 年に風致地区に指定されてから地元の風致協会によって風致の保存が図られてきたが、公園としての歴史は比較的浅い。 昭和 36 年の開園以来、昭和 39 年 8 月 1 日に 18,868.03 m <sup>2</sup> 、昭和 50 年 6 月 1 日に 3,585.16 m <sup>2</sup> 、昭和 53 年 6 月 1 日に 6,491.54 m <sup>2</sup> 、昭和 54 年 6 月 1 日に 694.92 m <sup>2</sup> 、昭和 55 年 6 月 1 日に 963.07 m <sup>2</sup> 、平成 30 年 4 月 1 日に 1,642.44 m <sup>2</sup> を追加開園した。  【近年の取組等】 豊かな自然を活かした取り組みが多い。開園 60 周年を迎え、記念シンポジウムを開催。近隣小学校と連携した地域アートイベントを展開し、イベント時に作成したペイントボートは現在一般利用できる。
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 36 年 6 月 16 日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b> 80,264.47	
	<b>4 位置</b> 杉並区善福寺二・三丁目	
	<b>5 交通</b> JR 中央線「荻窪駅」関東バス (南善福寺行)「善福寺公園前」徒歩 0 分 JR 中央線「西荻窪駅」関東バス・西武バス (上石神井駅行) (大泉学園駅行)「善福寺」徒歩 5 分 西武新宿線「上石神井駅」関東バス・西武バス (西荻窪駅行)「善福寺」徒歩 5 分	
	<b>6 主な施設</b> ボート場、ゲートボール場、子ども広場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
	<b>1 計画決定</b> (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 522) 昭和 32 年 12 月 21 日 (53.33ha)	
<b>2 開園年月日</b> 昭和 50 年 6 月 1 日		
<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b> 94,902.81		
<b>4 位置</b> 世田谷区上祖師谷三・四丁目、成城九丁目		
<b>5 交通</b> 京王線「千歳烏山駅」徒歩 20 分 小田急線「成城学園前駅」小田急バス (千歳船橋行) (千歳烏山行)「駒沢グラウンド前」下車		
公園の名称等		沿革とその特徴
祖師谷公園	<b>1 計画決定</b> (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 522) 昭和 32 年 12 月 21 日 (53.33ha)	【沿革・特徴】 当公園は、世田谷区の西北部を流れる仙川沿いに位置した整備中の公園である。 昭和 47 年 12 月 22 日に首都整備局から先行取得地の所管換を受け、児童遊戯施設を設置して一部開園したのに続き、下水道用地 11,674 m <sup>2</sup> を取得し、昭和 63 年 6 月 1 日に追加開園した。 さらに、旧東京教育大学祖師谷農場跡地を取得して整備を進め、追加開園した。その後も順次用地取得、整備、開園を進めていき、直近では、平成 29 年 10 月 1 日に 792.35 m <sup>2</sup> を追加開園した。 平成 29 年 4 月 1 日に国家戦力特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 50 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b> 94,902.81	
	<b>4 位置</b> 世田谷区上祖師谷三・四丁目、成城九丁目	
	<b>5 交通</b> 京王線「千歳烏山駅」徒歩 20 分 小田急線「成城学園前駅」小田急バス (千歳船橋行) (千歳烏山行)「駒沢グラウンド前」下車	
	<b>6 主な施設</b> 児童遊戯施設、ゲートボール場、子ども広場	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
祖師谷公園	<b>6 主な施設</b>	<b>【近年の取組等】</b> ボランティアと連携し、「ラベンダーの摘み取りとラベンダースティック作り」を開催し、花壇活動を活性化した。また、地域の保育園・幼稚園と連携し、たねだんごイベントを開催した。
	テニスコート（4面）、ゲートボール場、運動広場、湿性植物園、児童遊戯施設	
	<b>7 文化財等の指定</b>	
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
台場公園	<b>1 計画決定</b>	<b>【沿革・特徴】</b> 品川台場は、ペリー提督が嘉永6年（1853年）に黒船で来航した後、江戸防備のために徳川幕府が築いた砲台の一つである。伊豆蕪山の反射炉を設計した江川太郎左衛門英龍の設計に基づき、品川湾に6か所築かれたが、ついに使用されることなく放置されていた。 明治維新後は、陸軍省の管理となり、砲台は撤去された。6か所とも昭和の初めまで残っていたが、大正15年10月28日に国の文化財に指定された第三台場と第六台場を除き、東京湾の整備のために取り壊された。 第三台場は、関東大震災により被害を受けたが、昭和3年に整備して公園として開放した。この当時は、第三台場も海上にあったが、埋立地の造成により陸続きとなった。 一般開放している第三台場は、お台場海浜公園（港湾局所管）と一体的な景観を生み出している。 なお、現在は一般の立入が禁止になっている第六台場は、植物や野鳥の生息地として学術上貴重な存在となっているが、カワウが集団で営巣している部分については樹木の立ち枯れ等も見受けられる状況となっている。  <b>【近年の取組等】</b> 歴史紹介パネルの内容をパンフレットにし配布、東京文化財ウィークの期間にライトアップを実施した。
	(昭和21年9月4日) (院告132) 昭和32年12月21日 平成3年2月28日 (4.80ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和3年7月7日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	29,963.40	
	<b>4 位置</b>	
	港区台場一丁目	
	<b>5 交通</b>	
	ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」徒歩15分 水上バス（東京水辺ライン）（東京都観光汽船）「お台場海浜公園」発着所徒歩18分 臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」徒歩18分	
<b>6 主な施設</b>		
第三台場（砲台跡を含む。）		
<b>7 文化財等の指定</b>		
第三台場及び第六台場（国の史跡=品川台場）		
公園の名称等		沿革とその特徴
高井戸公園	<b>1 計画決定</b>	<b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、昭和17年に防空緑地として、当時の都市計画法に位置付けられ、昭和32年の東京都市計画における公園・緑地の再検討で種別運動公園として、都市計画決定された。 平成16年に、都市計画公園区域の南側を走る東京都市計画道路幹線街路放射第5号線（放射5号線）の都市計画と整合を図るため、区域の一部が変更された。 低層住宅と集合住宅の多い住宅地が周辺に広がり、まとまった空間は本計画地が最大であることから、「空の景を感じ、スポーツを楽しむ緑の拠点づくり」を基本理念とし、広々とした台地の空間を活かして、健康増進やスポーツを主体としたレクリエーション空間を創出するとともに、既に指定されている避難場所としての防災機能の向上、神田川や玉川上水の水辺の緑、
	(昭和17年1月31日) (内告43) 昭和32年12月21日 平成16年5月14日 (17.4ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	令和2年6月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	81,666.51 ㎡	
<b>4 位置</b>		
杉並区久我山二丁目		
<b>5 交通</b>		
京王井の頭線「富士見ヶ丘駅」徒歩4分、 「久我山駅」徒歩10分、京王線「千歳烏山駅」 関東バス（久我山病院行）終点徒歩12分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
高井戸公園	<b>6 主な施設</b> 芝生広場、遊具広場、野球場	<p>放射5号線の緑といった帯状の緑と公園の緑を連続させ、水と緑のネットワークの形成を図り、都民の利用、地域のまちづくりへの寄与といった点から整備方針を策定した。</p> <p>平成24年、事業認可を取得、埋蔵文化財の試掘調査で遺物が確認されたため、平成28年度より発掘調査を実施。調査が終了した北東地区から整備工事に着手することとなり、令和2年6月1日、芝生広場や遊具広場を備えた24,667.03㎡が開園した。また、令和3年6月1日には、北西地区34,654.39㎡が追加開園した。さらに、令和4年8月1日には南地区東側園地22,345.09㎡が追加開園し、野球場がオープンした。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 親子連れを中心とした「あおぞら会議」が本格始動、防災訓練や、「遊び場発見マップ」の作成、子どもボランティアによる環境改善など地域と一体になった公園づくりを図った。</p>
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
東京臨海広域防災公園	<b>1 計画決定</b> 平成15年11月6日(13.20ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 平成15年11月に東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点として13.2haが都市計画決定された。</p> <p>このうち6.7haは国営公園、残り6.5haは都立公園として整備された新たなタイプの防災公園である。</p> <p>平成22年7月に4.1haを一部開園し、平成23年6月に全面開園した。</p> <p>発災時には国や地方自治体等の現地対策本部が設置され、広域的な指令機能をもつ場所となる。また、防災体験学習施設「そなエリア東京」では楽しく防災知識を身につけることができる。</p> <p>園内には、草地広場、多目的広場、ヘリポート、国営公園内にバーベキューガーデンがある。本公園の特性上大型遊具を設置することが難しいため、広大な敷地を防災関連イベント等で活用している。</p> <p>園地の開園時間は6時から20時までとなり、それ以外の時間帯は閉鎖管理されている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 親子で楽しめる防災訓練や自宅で被災した場合に備える「おうちマップ」作成など、防災関連のワークショップを実施した。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 平成22年7月1日	
	<b>3 面積(㎡)</b> 65,197.12	
	<b>4 位置</b> 江東区有明三丁目	
	<b>5 交通</b> りんかい線「国際展示場駅」徒歩4分 ゆりかもめ「有明駅」徒歩2分	
	<b>6 主な施設</b> 防災体験学習施設(そなエリア東京)	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
舎人公園	<b>1 計画決定</b> (昭和15年3月30日)(内告147) 昭和32年12月21日 平成8年8月23日(69.50ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、東京都と埼玉県の境に位置する総合公園である。</p> <p>昭和15年3月30日に皇紀2600年記念事業として砧、小金井、水元、篠崎の各緑地とともに防空大緑地として約102haが都市計画決定され</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和56年6月1日	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
舎人公園	<b>3 面積 (㎡)</b> 649,645.09	<p>た。第2次世界大戦が終る頃までには、ほぼ100%の用地を買収し終えていたが、昭和21年10月に公布された自作農創設特別措置法により、買収地の大部分である約96haを開放した。</p> <p>その後、昭和32年に都市計画公園として緑地から公園に名称を変更し、同44年には流通業務団地造成事業との調整で、公園区域を86.8haに変更して今日に至っている。</p> <p>昭和49年には、東京都公園審議会から「舎人公園の計画について」が答申され、基本計画が明らかになった。また、昭和52年には昭和天皇御在位50周年記念公園として国から指定を受け、本格的に公園造成に着手することとなった。</p> <p>この後、計画地の事業認可を受けつつ、昭和56年6月に1.38haの当初開園を行い、開園区域を拡大、平成20年3月にはB地区で日暮里・舎人ライナーの車庫上部を整備開園している。</p> <p>なお、明治45年に日本からアメリカに送られ、ワシントンのポトマック湖畔に植樹された、通称「タフト桜」から採取した苗木が当公園に植樹されており、鈴木元都知事により「レーガン桜」と命名されている。</p> <p>また、平成16年度から19年度には、都民から寄付を募り、新たに700本の桜を植樹し、既存の桜とあわせ、1,000本の桜の名所とする事業を行った。</p> <p>平成12年4月に、B地区の池をボート池から魚釣り池に変更し、釣りを解禁した。平成17年6月には、A地区にドッグランを開設した。</p> <p>平成20年3月にB地区に、ちびっこソリゲレンデを設置した。</p> <p>公園整備後、順次追加開園しているが、令和3年6月1日に13,465.88㎡を追加開園し、遊具広場「冒険の丘」をオープン、同年11月15日には幼児用遊具エリア「幼児の遊び場」をオープンした。また、令和4年6月1日にも4,648.54㎡を追加開園し、バーベキューサイトの増設整備等を行った</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 新たに整備された冒険の丘を含むC地区を中心に新たにアプリコンテンツの制作・配信を行った。</p>
	<b>4 位置</b> 足立区入谷町、舎人町、古千谷一・二丁目、西伊興町、西伊興一・二・三丁目、皿沼三丁目、舎人公園	
	<b>5 交通</b> 日暮里・舎人ライナー「舎人公園前」徒歩1分 東武スカイツリーライン「竹ノ塚」バス(入谷循環)「中入谷」徒歩1分	
	<b>6 主な施設</b> 陸上競技場(400mトラック)、野球場(2面・照明付)、テニスコート(14面・照明付)、プレイグラウンド、浮球の池(ジャブジャブ池)、菖蒲田、バーベキュー広場、魚釣り場、キャンプ場、バードサンクチュアリ、駐車場、ドッグラン、ソリゲレンデ、冒険の丘	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
戸山公園	<b>1 計画決定</b> (昭和18年5月10日)(院告289) 昭和32年12月21日 昭和51年7月13日(25.10ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 本公園は、山手線内で最も標高が高い箱根山を中心とした箱根山地区と、明治通りを隔てた場所にある広場を中心とする大久保地区とに分かれている。</p> <p>(1) 大久保地区(77,157.69㎡) 本地区は、陸軍大久保小銃射撃場であったが、第2次世界大戦後、進駐軍に接収されて調達庁が管理していた。昭和34年に接収が解除され、大蔵省が管理するに至ったので、昭和32年の都</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和29年8月16日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 186,471.81	

(以下次頁につづく)

公園の名称等	沿革とその特徴
<b>4 位置</b> 新宿区戸山一・二・三丁目、大久保三丁目	市計画決定に基づき、同 37 年 2 月 21 日に公園地として無償貸付を受けた。
<b>5 交通</b> 大久保地区： JR 山手線「新大久保駅」徒歩 10 分 東京メトロ東西線「高田馬場駅」徒歩 10 分 箱根山地区： 都営大江戸線「若松河田駅」徒歩 15 分 東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩 10 分 東京メトロ副都心線「西早稲田駅」徒歩 8 分	一方、大都市における交通禍を重視した建設省は、諸外国が幼少時に公園を利用した交通道德の教育を行っていることに着目し、交通公園の造成を計画して本用地の一部が指定された。
<b>6 主な施設</b> じゃぶじゃぶ池、運動広場、総合体育館（新宿スポーツセンター）	これによって、昭和 37 年度から本格的に着工し、昭和 39 年 10 月 30 日に追加開園、同年 11 月 25 日に有料施設（ゴーカート）の使用を開始した。
<b>7 文化財等の指定</b>	昭和 59 年 6 月 1 日には、本園北部の市街地再開発ビル（ニュータウンオークボ）に南面する都有地 21,209.31 m <sup>2</sup> について「スポーツと憩いの森」を中心とした造成を行い、追加開園した。
なし	昭和 61 年 3 月 31 日に、当初の交通道德の啓蒙普及の目的を達成したとして、有料施設（ゴーカート）を廃止した。 平成 5 年 6 月 1 日に 203.33 m <sup>2</sup> 、同年 12 月 10 日に 1,690.74 m <sup>2</sup> 、平成 7 年 6 月 1 日に 5,461.98 m <sup>2</sup> 、平成 9 年 6 月 1 日に 1,428.63 m <sup>2</sup> を追加開園した。 (2) 箱根山地区 (109,314.12 m <sup>2</sup> ) 明治 6 年になると、兵学校戸山出張所が設けられ、翌 7 年に陸軍戸山学校と改称し、終戦に至るまで武道、音楽の地として知られた。 この地区は、和田戸という武士の館跡で、後の和田戸山と呼ばれていた場所である。 寛文年間（1661～1673 年）に尾張徳川家の下屋敷となり、箱根山を中心として東海道五十三次に擬した庭園が造成された。 昭和 37 年 2 月 1 日に国と無償貸付契約を締結し、箱根山を中心とした周辺の公園予定地もその後逐次造成され、昭和 57 年 4 月 1 日に木製遊具を配した児童遊園を含めて 5,772.94 m <sup>2</sup> を追加開園した。 昭和 58 年 6 月 1 日には、箱根山東南部の国有地 5,772.94 m <sup>2</sup> を広場及び園路を中心として造成し、昭和 59 年 6 月 1 日には、箱根山東北部の国有地 2,835.10 m <sup>2</sup> 、都有地 22,716.14 m <sup>2</sup> を草地広場として造成し、それぞれ追加開園した。 昭和 61 年度には、大久保つつじの名所として再現するため、植栽工事を行った。 昭和 63 年 6 月 1 日には、取得した国立聴力言語障害センター跡地 9,975.30 m <sup>2</sup> 部分を多目的運動広場の整備や植栽工事を行ったうえで追加開園し、平成元年 6 月 1 日には戸山三丁目地内の 13,349.52 m <sup>2</sup> を流れ、池等に整備して追加開園した。 その後も、平成 3 年 6 月 1 日に 667.61 m <sup>2</sup> 、同年 6 月 30 日に 1,343.93 m <sup>2</sup> 、平成 8 年 6 月 1 日に 1,969.76 m <sup>2</sup> 、平成 10 年 6 月 1 日に 294.07 m <sup>2</sup> を追加開園した。平成 27 年 5 月 29 日に 335.63 m <sup>2</sup> を廃止した。 <b>【近年の取組等】</b> 内藤とうがらしの収穫にあわせて感謝祭を開催。地元希少種の復興普及に貢献した。

戸山公園

公園の名称等		沿革とその特徴
中川公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            当公園の敷地は、日立製作所の亀有工場があった場所で、工場の移転跡地の利用に際し、当初は地下部分に下水処理施設が設置される予定であったことから、広場として都市計画決定されていた。その後、昭和54年3月に運動公園として計画変更を行ったものである。            土地は、東京都下水道局中川処理場の所有であり、公園用地として使用許可を受けて設置したものである。            当公園は、環状7号線に面した北側部分のA地区と、中川に面した南側部分のB地区とに分かれている。            A地区は、各種遊具と樹木が植栽され、芝生地もある付近住民の憩いの場及び避難場所としてのスペースと下水道処理場周辺の緑化を図る環境も併せ持っている。            また、地上から約6mの高所にあることなどから、来園者の安全確保のため、9時から16時30分以外の時間は、利用を制限している。            B地区(55,830.81㎡)は、運動広場・ふれあい広場・多目的広場・駐車場などを配置して整備し、利用時間の制限のない開放公園として、平成17年6月1日に追加開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            公園内で育てた巨大カボチャやひょうたんの育成、収穫、加工して園内に展示することで、新たな魅力を発信、来園者のリピート利用につなげた。</p>
	昭和47年12月23日 昭和54年3月29日(27.60ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和61年6月1日	
	<b>3 面積(㎡)</b>	
	120,698.72	
	<b>4 位置</b>	
	足立区中川五丁目	
<b>5 交通</b>		
JR常磐線「亀有駅」徒歩15分		
<b>6 主な施設</b>		
自由広場、ちびっこ広場、運動広場、ふれあい広場、多目的広場、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
練馬城址公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            練馬城址公園は、昭和32年に都市計画決定が告示された。            当該地では遊園地を営業していたことなどから、公園として整備されずに長年経過したが、東日本大震災後の平成23年12月に「都市計画公園・緑地の整備方針」を改定し、「優先整備区域」に位置付けた。令和3年4月、整備計画に関する答申を公園審議会で受け、整備工事に着手した。当公園は「緑と水」・「広域防災拠点」・「にぎわい」という3つのコンセプトを、多様な主体と連携しながら実現していくという目標設定をしている。            令和5年5月1日、「花のふれあいゾーン」「川辺の散策ゾーン」「エントランス交流ゾーン」の3つのエリアを含む32,106.02㎡が新規開園した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            令和5年5月1日に開園イベントを実施した。</p>
	昭和32年12月21日	
	<b>2 開園年月日</b>	
	令和5年5月1日	
	<b>3 面積(㎡)</b>	
	32,106.02	
	<b>4 位置</b>	
	練馬区春日町一丁目、向山三丁目	
<b>5 交通</b>		
都営大江戸線「豊島園駅」徒歩2分、 都営大江戸線「練馬春日町駅」徒歩9分、 西武豊島線「豊島園駅」徒歩2分、 西武バス(練馬駅北口-成増駅南口)「豊島園」徒歩3分		
<b>6 主な施設</b>		
草地広場、遊具広場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		

公園の名称等		沿革とその特徴
東 綾 瀬 公 園	<b>1 計画決定</b> (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 147) 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 42 年 8 月 15 日 (17.40ha)	<b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、昭和 18 年に東淵江緑地として計画決定され、昭和 32 年になって新たに東淵江公園として都市計画決定された。 しかし、昭和 30 年代からの急速な宅地化の中で、北三谷土地区画整理組合、綾瀬土地区画整理組合、下谷中土地区画整理組合による土地区画整理事業が行われ、当時の東淵江公園の規模を維持しつつ、地域の住区基幹公園の機能を持たせる等の理由から、現在のような馬蹄形に変わった。 昭和 41 年に、前記土地区画整理組合から東京都が管理を引継いで開園し、昭和 42 年に東綾瀬公園として都市計画決定された総合公園である。 近年、国民の生活意識の変化の中で、公園施設に対する地域住民ニーズが多様化してきている。特に、スポーツ施設に対する要求が高く、これらの都民ニーズに答えるため、昭和 61 年 11 月に策定された東京都第二次長期計画において、東綾瀬公園内に都立武道館の建設が計画され、併せて公園内の機能充実を図るための基本計画が策定された。 この計画のテーマは子供から高齢者までの各層が、共に気持ちの良い空間で自然に体を動かし、楽しく健康づくりの行える公園、即ち「三世代スポーツ・パーク」と設定し、公園全体に一体感を持たせ、しかも有効な公園利用を促すため、公園の連続性・周回性を高めるよう整備した。 なお、都立武道館は教育庁の所管で平成 2 年 2 月 10 日に開設された（現在はオリンピック・パラリンピック準備局所管）。 また、温水プールは、足立区営で平成 3 年 4 月 1 日に開設された。 平成 30 年 9 月 3 日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。  <b>【近年の取組等】</b> 年齢を問わず多世代で楽しむ催しを開催し、公園の利用促進に寄与。
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 41 年 7 月 11 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 158,969.79	
	<b>4 位置</b> 足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目	
	<b>5 交通</b> 東京メトロ千代田線「綾瀬駅」徒歩 1 分	
	<b>6 主な施設</b> 野球場 (3 面・照明付)、テニスコート (4 面・照明付)、ゲートボール場、駐車場、東京武道館、温水プール	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
東 白 鬚 公 園	<b>1 計画決定</b> 昭和 47 年 9 月 20 日 昭和 53 年 10 月 11 日(10.30ha)	<b>【沿革・特徴】</b> 当公園は、江東再開発基本構想に基づき、防災拠点の一つとして昭和 47 年 9 月に都市計画決定し、江東再開発事務所（前第一再開発事務所）が工事を施行し、昭和 61 年 3 月 31 日に公園部分の造成工事が竣工し、引継を受けたものである。 墨田区堤通二丁目先の環状 4 号線（明治通り）と補助 119 号線（墨堤通り）に沿って巨大な防火壁の役割を備えた高さ 40m の連続住宅棟の内側に位置し、隅田川を沿うよう南北に細長く伸びた公園は、平常時には一般公園・運動公園と
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 61 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 103,127.60	
	<b>4 位置</b> 墨田区堤通二丁目	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
東 白 鬚 公 園	<b>5 交通</b> 東武スカイツリーライン「鐘ヶ淵駅」徒歩 10分	<p>して利用され、災害時には約8万人の都民を収容する避難場所としての機能を有する。</p> <p>植栽の種類も常緑、耐火耐陰性と変化に富み、また園内には、公園の施設のほかに、非常用便槽2か所と消火用水のための池が2か所設置されている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> こども花壇を新設し、近隣保育園等に花壇の植え付けなどをおこなってもらうボランティア活動を実施してもらうことで、こどもから高齢者までが集う場を提供できた。</p>
	<b>6 主な施設</b> 小野球場（2面）兼競技場、テニスコート （4面）、ゲートボール場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
光 が 丘 公 園	<b>1 計画決定</b> 昭和49年3月11日 昭和55年10月4日（60.7ha）	<p><b>【沿革・特徴】</b> 当公園の計画は、昭和15年の紀元2600年記念の大緑地計画に端を発するものであるが、第2次世界大戦の勃発に伴い計画は変更され、陸軍の「成増飛行場」が建設された。戦後は、元アメリカ大統領であり南北戦争時の北軍司令官としてその名を知られたグラント将軍の名を冠した「グラントハイツ」として米軍の管理下にあったが、昭和48年に返還された。</p> <p>これに先立つ昭和47年の2月に決定した、国有財産関東地方審議会における大蔵省処分方針に基づいて、グラントハイツ跡地の約1/3に当たる60.7haが公園として確保されることとなり、昭和49年2月の東京都都市計画地方審議会に付議され、同3月11日の東京都告示第260号で計画決定された。その内容は、市街化する都区部の中で60.7haの広大な敷地に豊かな自然を保ち、各種のスポーツ施設を備えた総合公園として計画されたもので、森林公園として災害時の広域避難場所にも指定されている。</p> <p>用地については、当初の開園区域は国から無償貸付を受けているが、残余については1/3を有償払下げ、2/3を無償貸付ということで、昭和60年度末で処理済みである。</p> <p>整備工事は、昭和49年度を初年度として随時実施し、同62年度をもって光が丘地区の中心施設へのアプローチ部分を始めとする大規模な整備を終了しており、現在までにおよそ62億円を投じている。</p> <p>計画区域の殆ど全域にわたっての施工が可能であったため、園路、給排水、照明、放送設備等が合理的に整備されているのが特色である。</p> <p>在来の樹木は、3,000本程度であり、比較的少数であった。大部分の樹木は新たに植樹したものであるが、樹相はほぼ成熟し、一般区域では自然を回復している。</p> <p>スポーツ施設については、昭和57年度より同60年度にかけて整備され、有料施設として利用に供している。</p> <p>光が丘地区の中心施設へのアプローチ部分（ふれあいの径）の並木に植えてあるいちようは、千代田区丸の内にあった、旧東京都庁舎前</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和56年12月26日	
	<b>3 面積（㎡）</b> 607,823.73	
	<b>4 位置</b> 板橋区赤塚新町三丁目 練馬区旭町二丁目、光が丘二・四丁目	
	<b>5 交通</b> 都営大江戸線「光が丘駅」徒歩8分 東武東上線「成増駅」徒歩15分 東京メトロ有楽町線「地下鉄成増駅」徒歩15分	
	<b>6 主な施設</b> 競技場（400mトラック）、野球場（4面）、 テニスコート（8面・照明付）、弓道場（和・ 洋弓共用）、ゲートボール場（4面）、デイ キャンプ場、バーベキュー広場、フィールド ドアスレチック、少年サッカー場、駐車場、 バードサンクチュアリ、テニス壁打練習場	
	<b>7 文化財等の指定</b> なし	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
光 が 丘 公 園	公園の名称等	<p>の街路樹を移植したもので、樹齢 100 年以上のものである。</p> <p>公園の周囲は、グラントハイツ跡地を利用して大規模な集合住宅、小、中、高校が整備され、また、平成 12 年に全線が開通した都営大江戸線も乗り入れるなど、都内最大規模の団地となっている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 地域振興イベント「光が丘公園フェスタ」において「JA 東京あおば農業祭」と初めて連携して開催した。また、犬の散歩マナー向上を目指し、飼い主に寄り添った新たなコンセプトによるマナーアップキャンペーンを実施した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
日 比 谷 公 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 15 世紀の中頃までは東京湾の入江で、陸地はごく一部にすぎなかったと伝えられる。徳川時代初期に埋め立てられ武家屋敷となり、幕末は松平肥前守、松平大膳太夫等の屋敷があった。</p> <p>明治 4 年頃、陸軍操練所が置かれ陸軍省が管理していたが、明治 22 年市区改正設計公園（旧設計・公園第 1 号）に議定され、同 33 年に至り、東京市は日比谷公園造営委員会を設置、本多静六、石黒忠らに設計を委託、同 36 年我が国最初の洋風近代式公園が誕生した。</p> <p>都市計画上の位置づけは、その後の新設計を経て、昭和 32 年の東京都市計画公園・緑地の再検討において、前計画は廃止され、新たに「中央公園」として定められた。誕生以来 110 年以上に渡って、都心の高層建築の谷間に緑を保ち、四季花を絶やさず多くの来園者を楽しませている。</p> <p>昭和 35 年 3 月地下駐車場が完成し、その地上には 7,000m<sup>2</sup> に及ぶ芝生広場を設け、同 36 年 9 月完成の大噴水は直径 30m、支柱 12m の大きさで 24 態の水を噴き上げる名所となっている。</p> <p>昭和 49 年 6 月には国有地 955.29 m<sup>2</sup> を造成し、追加開園した。</p> <p>長年の使用によって老朽化した小音楽堂の建替は昭和 58 年 6 月に、大音楽堂は同年 8 月に、それぞれ竣工した。</p> <p>昭和 59 年 3 月には北西部の整備工事により祝田門が開設された。また、同年 5 月地方裁判所跡地 1,749 m<sup>2</sup> を大蔵省から借受、かもめの広場として昭和 61 年 4 月 1 日に開園した。</p> <p>平成 2 年 7 月 27 日には日比谷公園緑の相談所（愛称：日比谷グリーンサロン）を開所した。</p> <p>小音楽堂では、毎週水曜日には水曜コンサート、金曜日には金曜コンサートが昼休みの時間帯に開催され（8 月を除いた 4 月～10 月）、オフィス街の人々にとって憩いの場となっている。</p> <p>平成 7 年 6 月には建替えられた日比谷茶廊（飲食店）を新たにオープンした。</p> <p>平成 11 年度末には、緑の相談所を閉鎖し、「緑と水の市民カレッジ」をオープンした。</p>
	(明治 22 年 5 月 20 日) (府告 37) 市区改正 昭和 32 年 12 月 21 日 令和 3 年 11 月 15 日 (176. 2ha) 中央公園	
	<b>2 開園年月日</b>	
	明治 36 年 6 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	161,636.66	
	<b>4 位置</b>	
	千代田区日比谷公園	
<b>5 交通</b>		
JR・東京メトロ「有楽町駅」徒歩 8 分 東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」 徒歩 2 分 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩 2 分		
<b>6 主な施設</b>		
テニスコート（5 面・照明付）、日比谷公会堂、大音楽堂、小音楽堂、陳列場（第 1、第 2、第 3）、日比谷図書館、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
旧日比谷公園事務所（都指定有形文化財＝建築物） 日比谷公会堂（歴史的建築物＝都条例）		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
日比谷公園		<p>平成 18 年 10 月には、旧公園資料館（旧日比谷公園事務所）で民間事業者（公募）による保存活用事業を実施し、多目的ホールとしてオープンした。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 「日比谷公園で過ごす豊かな時間」をコンセプトに、公園らしさをこの上なく味わえる新時代の公園フェスタ「HIBIYA PARK SHIBAFU TERRACE」を開催した。また、謎解きを楽しみながら園内の主な樹木を巡るスマートフォン用セルフガイドコンテンツ「樹木からの謎解き～ペリカンの行方を追え～」をリリースした。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
水元公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> 昭和 15 年 3 月に皇紀 2600 年記念事業として水元緑地の名称で都市計画決定されたが、用地買収の途上において第 2 次世界大戦のため事業を一時中断した。戦後は自作農創設特別措置法により、買収地の大半を失った。 昭和 32 年 12 月に東京都市計画公園・緑地の改訂が行われた際、水元公園と改められ、昭和 34 年以降は再び用地買収を開始し、昭和 40 年 4 月に一部を開園した。 昭和 44 年 5 月 20 日の計画変更において、小合溜（こあいだめ）中央部分に区域を限定したほか、平成 10 年の変更で外郭環状道路との整合を図り、重複計画の内双方の機能が果たせる区域を極力残し、国道 298 号と交差する部分のサービス道路を公園区域から除外した。また、都市計画法上の公園の種別を「一般公園」から「広域公園」に変更した。 昭和 41 年 12 月には、東京 100 年記念事業としての整備計画が決定され、翌 42 年 6 月に明治 100 年記念森林公園として指定を受けた。 この公園は、水と水生植物等に恵まれた環境を活かし、水郷の景観を豊富に盛り込んだ 145ha の大公園を建設する計画で、中央芝生大広場、水生植物園、バードサンクチュアリ、花菖蒲園、キャンプ広場、水辺散策ゾーン、せせらぎ広場等が既に設けられ、完成の暁には既設の水産試験場区域、埼玉県側河畔の区域をも合わせた大水郷公園となる予定である。 なお、平成 7 年 5 月にバーベキュー広場を開設し、平成 8 年 5 月には老朽化した涼亭の建て替えを行った。 平成 2 年に開所した緑の相談所は、平成 11 年度末に閉鎖した。 水元公園水産試験場跡地及び東金町八丁目地区の整備については、平成 12 年 4 月に東京都公園審議会において整備計画が答申された。これを受けて、平成 12 年度から順次整備を行い、平成 28 年 2 月 1 日に 26,013.76 m<sup>2</sup>、令和 2 年 4 月 1 日に 617.81 m<sup>2</sup>を追加開園した。 令和 2 年 6 月 1 日より、東金町八丁目に葛飾区が設置したクライミングセンター（設置許可）</p>
	昭和 15 年 3 月 30 日（内告 147） 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 16 年 8 月 13 日（145.00ha）	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和 40 年 4 月 1 日	
	<b>3 面積（m<sup>2</sup>）</b>	
	966,814.23	
	<b>4 位置</b>	
	葛飾区水元公園、東金町五・八丁目、東水元二丁目、埼玉県三郷市	
	<b>5 交通</b>	
	JR 常磐線「金町駅」から京成バス（戸ヶ崎操車場行）「水元公園」徒歩 7 分	
<b>6 主な施設</b>		
集会施設（涼亭和室 2 室）、水生植物園、少年キャンプ場、バーベキュー広場、野外ステージ、駐車場、ドッグラン、バードサンクチュアリ		
<b>7 文化財等の指定</b>		
オニバス（都の天然記念物）		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
水 元 公 園		<p>が供用を開始した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>  オニバスが多数開花した。  令和4年5月に3年ぶりとなる葛飾菖蒲まつりを開催。東京都公園協会では独自に参加型コンテンツとして花菖蒲品評会を実施した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
夢 の 島 公 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>  昭和45年3月10日の江東区長及び江東区議会議長要望に基づき、江東清掃工場関連施設として、昭和45年12月12日に計画決定がなされたもので、昭和50年3月に港湾局から埋立地約43haの引継を受け、本格的な整備に着手した。  昭和51年3月に完成して一般に公開されている第五福竜丸展示館には、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを後世に伝えるため、昭和29年にビキニ環礁で行われた水爆実験により被害を受けた「第五福竜丸」が展示されている。また、同年11月には、教育庁所管の夢の島総合体育館が竣工し、開館した。  公園としては、その後の昭和53年10月1日に342,285㎡を開園し、同56年12月26日に33,244㎡を、同58年6月1日に2,128.00㎡を追加開園した。  当園は、補助線街路第116号（明治通り）を跨いで東西に分かれ、東側には陸上競技場、アーチェリー場、第五福竜丸等の他、東京スポーツ文化館がある。また、西側には、江東区が管理する野球場、サッカー場等がある。  それまで分断されていた東西部分であるが、昭和62年になぎさ橋、昭和63年にはかもめ橋を架設し一体化を図った。その際、橋台敷地5,834.83㎡について整備し、昭和63年6月1日に追加開園した。また、昭和63年11月に、東側部分に夢の島熱帯植物館が完成し、開館している。  平成11年度には、他船に転用された後、海中に没していた第五福竜丸に使用していたエンジンの寄贈を受け、エンジンの補修と展示施設の整備を行い、公開している。  平成12年度には、バーベキュー広場の拡大改修を図った。  平成28年度、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた会場整備に着手した。  公園口整備に伴い、平成31年4月1日に400㎡を追加開園した。  令和2年10月、園内工事により利用を休止していたバーベキュー広場が、約2年半ぶりに利用再開した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>  東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「アーチェリー」種目の競技会場として使用された。</p>
	昭和45年12月22日 昭和53年10月4日（43.20ha）	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和53年10月1日	
	<b>3 面積（㎡）</b>	
	433,612.23	
	<b>4 位置</b>	
	江東区夢の島一、二丁目	
<b>5 交通</b>		
JR京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩7分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス（新木場行）（若洲キャンプ場行）「夢の島」徒歩1分		
<b>6 主な施設</b>		
陸上競技場、アーチェリー場、バーベキュー広場、夢の島熱帯植物館、第五福竜丸展示館、野球場、少年野球場、サッカー場、駐車場、東京スポーツ文化館（BumB）		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		

公園の名称等		沿革とその特徴
横 網 町 公 園	<b>1 計画決定</b> (大正 13 年 4 月 1 日) (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 隅田川緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 46 年 7 月 9 日(103.5ha) 隅田川公園	<p><b>【沿革・特徴】</b> 元陸軍被服廠跡の一部を大正 11 年に東京市が買収し公園造成を計画中に、翌年の同 12 年 9 月 1 日に関東大震災が起こった。この震災により、被服廠跡は最大の惨状を呈するところとなった。そのため、この災禍による幾多の遭難者の霊を追悼する震災記念館及び震災時の資料を展示する復興記念館を建設することとなり、従来の公園計画を変更した。</p> <p>本公園は、都市計画では戦災復興計画の一環として隅田川緑地の一部として計画決定されたものである。隅田川緑地の都市計画決定は大正 13 年 4 月 1 日の内務省告示第 170 号によって、震災復興公園の 3 箇所の大公園の 1 箇所である墨田公園として決定され、国が事業を進めた。その後、昭和 21 年 4 月 25 日戦災復興院告示第 14 号により安田庭園並びに横網町公園を区域に含めたものであり、昭和 32 年の再検討により新たに都市計画上の位置づけがなされたものである。</p> <p>戦後、震災記念館には、東京大空襲において犠牲となった戦災死者の霊が合祀され、東京都慰霊堂と改称し、毎年 3 月 10 日及び 9 月 1 日に慰霊祭を行っている。また、復興記念館も震災関係資料を展示していたが、新たに戦災関係資料も加えて昭和 33 年 7 月から再び公開されている。昭和 49 年 4 月 1 日から防災思想の普及を図るため、入館料を無料とし、昭和 61 年、62 年度に復興記念館の設備補修工事を行った。</p> <p>平成 13 年 3 月には、東京空襲犠牲者の追悼と平和を祈念するため、生活文化局所管の「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」が設置された。</p> <p>平成 25 年 12 月より、慰霊堂及び慰霊塔の耐震補強工事を実施し、平成 28 年 2 月に完了している。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 関東大震災 100 年の節目に向け、秋季特別展「関東大震災と地震鯨」、春季特別展「焼け残った神田和泉町・佐久間町の真実」を開催した。</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 5 年 9 月 1 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 19,579.53	
	<b>4 位置</b> 墨田区横網二丁目	
	<b>5 交通</b> JR 総武線「両国駅」徒歩 10 分 都営大江戸線「両国駅」徒歩 5 分	
	<b>6 主な施設</b> 東京都慰霊堂、復興記念館、東京空襲犠牲者追悼・平和関係モニュメント	
	<b>7 文化財等の指定</b> 東京都慰霊堂、復興記念館（歴史的建築物 = 都条例）	
公園の名称等		沿革とその特徴
代 々 木 公 園	<b>1 計画決定</b> (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 山手環状緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 51 年 7 月 13 日 (65.80ha)	<p><b>【沿革・特徴】</b> 昭和 20 年 12 月、戦災復興の基本計画が決定され、当時は公園計画も壮大で進歩的なものであった。代々木公園は当時の山手環状の沿線緑化に沿う形で計画決定されたが、その後すぐに院告 126 号で米軍独身将校宿舎を除外し、特別都市計画復興大公園として誕生した。その後の再検討においても、従来の位置、面積が大公園として再確認され、指定換えがなされた。</p> <p>代々木練兵場跡は、戦後はワシントンハイツと呼ばれた駐留軍家族の居住地であった跡地で、昭和 39 年オリンピック東京大会の開催にあ</p>
	<b>2 開園年月日</b> 昭和 42 年 10 月 20 日	
	<b>3 面積 (㎡)</b> 544,711.27	
	<b>4 位置</b> 渋谷区代々木神園町、神南二丁目	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
代々木公園	<b>5 交通</b>	<p>たつては、選手村に当てられた。</p> <p>昭和40年3月31日に、547,107㎡の国有地を国から借り受ける無償貸付契約を締結し、森林公園の造成に着手した。その後の整備に併せて、昭和42年10月20日にB地区の一部である78,639.73㎡を開園後逐次部分開園し、昭和46年4月1日には全面開園した。</p> <p>園地は、森林公園部分（A地区）、運動施設広場部分（B地区）及び児童公園部分（C地区）の3地区に区分されていたが、昭和52年4月1日に児童公園部分（7,012.05㎡）を渋谷区へ移管した。</p> <p>昭和51年には、都市緑地保全法の主旨に沿う形で、都市計画の変更が行われ、明治神宮内宮地域を公園計画区域から除外した。また、昭和60年5月1日にはB地区運動広場の機能充実を図り、文化的諸活動の振興を図るため、野外ステージを建設した。</p> <p>平成3年5月には、A地区に噴水、池などの水を利用した修景施設を設置し、水と緑に恵まれた公園として、一層の充実を図った。</p> <p>平成6年度にはB地区の園路（国立競技場とNHKとの間）を改修している。なお、B地区の多目的広場は、催物等に数多く利用されている。</p> <p>平成12年度には、噴水池、水上デッキの改修工事を行った。</p> <p>平成13～14年度には、「花の小径」を整備し、また、平成15年度には渋谷門橋耐震補強工事を施工し、安全性の確保を図った。平成16年11月 ナイキジャパンよりバスケットコート2面寄付受領。</p> <p>平成19年4月には、「ドッグラン」を開設し、新たなニーズに込えている。</p> <p>また、平成24年11月には、米国より日米友好の象徴としてハナミズキ100本が寄贈された。</p> <p>平成29年10月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>令和3年11月9日、Park-PFI事業設置等予定者が決定し、令和4年4月1日、Park-PFI事業予定地が開園した。令和4年9月 バスケットコートクラウドファウンディングにより改修。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>防災ライフ・フェスタを開催し、渋谷区、代々木警察署、渋谷消防署に加え、専門学校の協力で外国人向け防災普及啓発動画を制作するなど、多くの団体と連携した。</p>
	JR 山手線「原宿駅」徒歩3分 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」徒歩3分 東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前（原宿）駅」徒歩3分 小田急線「代々木八幡駅」徒歩6分	
	<b>6 主な施設</b>	
	陸上競技場、サッカー場兼ホッケー場、野外ステージ、サイクリングロード、駐車場、ドッグラン、バードサンクチュアリ	
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
森林公園試園の	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>林試の森公園（都市計画名：目黒公園）は、品川区及び目黒区にまたがる約12.1haの公園</p>
	昭和32年12月21日 平成31年3月6日（14.2ha）	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
林 試 の 森 公 園	<b>2 開園年月日</b>	<p>で、都心よりおよそ8kmの距離にある。</p> <p>公園の計画区域の大部分は、明治33年6月に農商務省林野整理局の目黒試験苗圃として使用されたのが始まりで、その後も林野庁の林業試験場として80有余年の間共用されてきたが、筑波学園都市の建設方針により同試験場についても移転が図られ、昭和55年5月に国有財産中央審議会において、同試験場跡地は避難場所を兼ねた公園として利用するよう、跡地の利用大綱が答申された。昭和55年2月に、国は同試験場跡地の一部暫定開放を品川区及び目黒区に認め、両区は「林試の森」として制限公開を行なってきたが、昭和62年に、東京都が国に対して同試験場跡地を公園の事業用地として処分することを要望し、これを受けた国有財産関東地方審議会において、同年10月に処分方針が答申され、公園として事業化を図ることとなった。平成元年6月1日に、東側部分15,123.62㎡及び西側部分25,034.75㎡の計40,158.37㎡を新規開園し、同2年6月1日には28,961.63㎡を追加開園した。その後、平成4年6月1日には中央部分を主とした50,938.99㎡を、さらに、同6年6月1日に703.92㎡追加開園した。本公園は、旧林業試験場跡地として、歴史的経緯を持つ残存樹林を活用して造られた公園であるため、管理運営に当っては特段の配慮が必要とされている。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 令和4年度は、品川区防災課などと連携した防災イベントを実施し、地域防災の啓発活動に取り組んだ。</p>
	平成元年6月1日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	120,762.91	
	<b>4 位置</b>	
	品川区小山台二丁目、目黒区下目黒五丁目	
	<b>5 交通</b>	
東急目黒線「武蔵小山駅」徒歩10分 JR線「渋谷駅」東急バス(五反田行「恵比寿」経由)「林試の森入口」徒歩1分		
<b>6 主な施設</b>		
多目的広場、冒険広場、デイキャンプ広場、展示ルーム(会議室)		
<b>7 文化財等の指定</b>		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
蘆 花 恒 春 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>(1) 恒春園部分 (制限公開)</p> <p>明治から大正にかけての文豪として知られる徳富蘆花は、明治40年2月まで住んでいた青山高樹町の借家を離れ、当時の千歳村粕谷の地に土地と家屋を求めて「恒春園」と名付け、約20年間を過ごしていた。</p> <p>昭和11年の故人の10周年忌に際し、愛子未亡人から寄付を受け、同13年に蘆花夫婦の粕谷移住31周年記念日を期して開園した。</p> <p>邸地とともに寄付を受けた遺品は、昭和35年に建築した陳列場(蘆花記念館)に収蔵し、一部を一般公開している。</p> <p>園内のクヌギ林の一角には夫婦の墓所もあり、蘆花の命日に近い9月第3土曜日には、毎年蘆花を偲ぶ集いが催されている。なお、昭和40年以来コンクリート模擬造りであった秋水書院の屋根は、昭和59年3月に茅葺きに復元した。</p> <p>昭和61年3月には、記念館並びに母屋、愛子夫人居宅、恒春園(旧邸内)を整備復元し、昭和61年3月10日に東京都の文化財史跡指定を受けた。</p> <p>(2) 公園部分 (公開公園)</p> <p>昭和32年に蘆花恒春園隣接地を都市計画決定</p>
	昭和32年12月21日(8.30ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和13年2月27日	
	<b>3 面積 (㎡)</b>	
	80,304.43	
	<b>4 位置</b>	
世田谷区粕谷一丁目		
<b>5 交通</b>		
京王線「芦花公園駅」徒歩15分 小田急線「千歳船橋駅」京王バス(千歳烏山行)「蘆花恒春園」徒歩7分		
<b>6 主な施設</b>		
集会場(梅花書屋、愛子夫人居宅)、蘆花記念館、ドッグラン		
<b>7 文化財等の指定</b>		
徳富蘆花旧宅(都の史跡=徳富蘆花旧邸内部分13,803㎡)		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
蘆花恒春園		<p>したもので、同年に用地買収に着手した。</p> <p>昭和43年4月1日には児童遊園部分 3,409.41㎡を開園し、昭和46年6月1日に 22,542.04㎡を、昭和46年6月10日には児童遊園隣接部分 14,237.44㎡を、昭和47年6月1日に 1,691.24㎡を、昭和55年6月1日には 299.25㎡を追加開園し、昭和56年12月26日には墓所部分 396.69㎡を算入し、55,399.87㎡に面積変更した。</p> <p>さらに、平成2年8月1日に 421.20㎡、平成4年6月1日に 1,095.77㎡、平成7年6月1日に 2,221.59㎡、平成8年6月1日 3,925.07㎡、平成9年6月1日に 1,496.19㎡、平成10年6月1日に 887.95㎡、平成11年6月1日に 2,458.00㎡、平成19年6月1日 9,925.32㎡、平成21年4月1日 1,720.83㎡を順次開園している。</p> <p>平成30年4月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 令和4年度は、保育所と連携したお話し会、児童館と連携したスポーツチャレンジャーを実施し、公園の魅力向上と地域交流促進に努めた。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
和田堀公園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b> かつては、一般に大宮公園と呼ばれていた場所で、大宮八幡宮の境内に接し、和田堀池を中心に12の橋にまたがる公園で、南北端は善福寺川緑地に接している。この和田堀池は昭和30年代の中頃、河川改修時に造られた人工池であるが、そこには、大小二つの中島があり、貴重な野鳥の生息地となっている。</p> <p>園内には、約280本の桜が植えられており、隣接する善福寺川緑地と共に、地域の桜の名所のひとつとなっている。</p> <p>運動施設として設置している野球場は、杉並区に管理許可を行なっているもので、善福寺川が氾濫した場合の遊水池としての機能を併せ持つように設計されている。</p> <p>また、順次公園の拡張整備を実施しており、直近では、平成25年5月1日に 1,026.63㎡を追加開園している。</p> <p><b>【近年の取組等】</b> 普段立入制限をしている済美山自然林の中に入り、林内の自然環境の仕組み等に触れてもらう「自然ふれあいフェスタ2022」を開催し、生態系を守るために必要なことを学ぶ機会を提供した。</p>
	(昭和16年1月14日)(内告13) 昭和32年12月21日 昭和51年12月24日(54.40ha)	
	<b>2 開園年月日</b>	
	昭和39年8月1日	
	<b>3 面積(㎡)</b>	
	260,502.79	
	<b>4 位置</b>	
	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	
	<b>5 交通</b>	
	京王井の頭線「西永福駅」徒歩15分 京王井の頭線「永福町駅」京王バス(松ノ木住宅行)「都立和田堀公園」徒歩1分	
<b>6 主な施設</b>		
野球場(2面)、競技場(300m・400mトラック)バーベキュー広場、郷土博物館、駐車場		
<b>7 文化財等の指定</b>		
大宮遺跡(都の史跡)		

③ 霊園及び葬儀所 面積 1,623,601.71 m<sup>2</sup>

公園の名称等		沿革とその特徴
青山 霊園	<b>1 開設</b>	<p>青山霊園は、明治6年8月の太政大臣布達の「墓地取扱規則」により指定された青山百人町続き神葬祭地（もと青山百人町続き足し山）及び青山神葬祭地（青山元郡上邸跡地）として整備されたものを東京府が引継ぎ、明治7年9月1日に青山墓地として開設した我が国の公営墓地で最も古い墓地の一つである。明治22年に東京市に移管後、昭和10年に青山霊園と改め現在に至っている。区内の霊園の中では最も広く、地勢は多少起伏があり、中央を台地として東、南、西の三方向に傾斜している。また、立山地区（もと青山百人町続き足し山）は飛び地になっている。</p> <p>園内には、古木が点在し、霊園を南北に縦断する道路は桜並木となっており、桜の名所としても知られている。</p> <p>また、園内には明治、大正時代の政治家、軍人、文化人等著名人の墓所が多数あり、中でも大久保利通（幕末から明治にかけての政治家）の墓所は、都の旧跡として昭和15年に文化財に指定されている。</p> <p>なお、昭和32年に都市計画公園として計画決定され、全面的に公園として利用することを目指してきたが、平成14年12月の公園審議会答申により、霊園と公園が共存する空間として再生するとされ、平成15年7月から霊園使用者公募を再開すると共に、墓所移転制度や墓所返還時の特例制度を創設し、空き墓所の拡大・集約して、広場等の拡充を進めている。</p> <p>青山霊園再生事業に伴い、平成17年4月1日から立体埋蔵施設での管理が開始され、公募分を含め保管可能数は1,060区画ある。</p>
	明治7年9月1日	
	<b>2 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	263,564.27	
	<b>3 位置</b>	
	港区南青山二丁目、四丁目	
	<b>4 交通</b>	
	東京メトロ銀座線「外苑前駅」徒歩8分 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩12分 東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目」徒歩10分	
	<b>5 使用者及び埋葬者数</b>	
	令和5年3月31日現在	
使用者 (人)	14,953	
埋葬者 (体)	134,571	
<b>6 文化財等の指定</b>	大久保利通墓所（都の旧跡）	
公園の名称等		沿革とその特徴
雑司 ヶ谷 霊園	<b>1 開設</b>	<p>(1) 霊園 本霊園は、青山霊園と同じく、元雑司ヶ谷旭出町墓地を東京府が引継ぎ、明治7年9月1日に雑司ヶ谷墓地として開設したものである。明治22年に東京市に移管後、昭和10年には雑司ヶ谷霊園と改め、現在に至っている。</p> <p>園内はほぼ平坦で、けやきの古木等の緑が多く、また周辺の住宅が密集していることから、貴重な自然環境空間を提供している。また、夏目漱石を始めとする多数の文化人の墓所があり、散策に訪れる人も多く、特に明治・大正の哲学者であるラファエル・ケーベルの墓所は都の旧跡に指定されている。</p> <p>公園化を目指し、無縁墓地整理事業実施のため、昭和37年6月以降は返還墓所等の新規の使用（再貸付）は行っていない。</p> <p>(2) 崇祖堂 大正から昭和初期にかけて、地方から東京への人口流入が増加したことに伴い、墓地に対する需要が高まった。この状況を検討した結果、墓地の新規需要に応じて造成を重ねることは将来都市計画に支障を来たし、また経営上も問題</p>
	明治7年9月1日	
	<b>2 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	106,110.29	
	<b>3 位置</b>	
	豊島区南池袋四丁目	
	<b>4 交通</b>	
	都電荒川線「雑司ヶ谷駅」徒歩5分 東京メトロ有楽町線「東池袋駅」徒歩10分 東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷駅」徒歩10分 J R線「池袋駅」徒歩15分	
	<b>5 使用者及び埋葬者数</b>	
	令和5年3月31日現在	
使用者 (人)	7,939	
埋葬者 (体)	70,896	
<b>6 文化財等の指定</b>	ラファエル・ケーベル墓所（都の旧跡）	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴		
雑司ヶ谷霊園	<b>7 施設の概要（崇祖堂）</b> 建築面積 2,288.82 m <sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 納骨堂 ロッカー形式短期収蔵施設 3,950 箇所 （令和5年3月31日現在 8,523 体） 一時収蔵保管可能数 2,880 体 （令和5年3月31日現在 992 体） 葬祭施設（式場）収容人数 80 人 控え室（管理事務所棟）	が多いことから、火葬した遺骨であれば便利な場所で、安全かつ荘厳な納骨堂に収蔵し、必要があればいつでも容易に遺骨を移転できるようにすることが時代の要求に合うものと考え、昭和13年12月に霊園の一面に設けられた家族納骨壇方式の墓所が、この崇祖堂である。 崇祖堂内には、この家族納骨壇（現在はロッカー形式短期収蔵施設）のほか一時収蔵施設、簡易な葬祭施設としての式場が併設されている。		
	公園の名称等		沿革とその特徴	
谷中霊園	<b>1 開設</b> 明治7年9月1日	当霊園は、主として明治維新の戦禍で荒廃していた谷中天王寺の墓地等を東京府が引継いで谷中墓地として開設したものである。その後、明治22年に東京市に移管となり、昭和10年には谷中霊園と改め、現在に至っている。 園内は、東側が全体に傾斜しているほかは平坦であり、墓域は点在する古木や中央園路の桜並木と相まって比較的静寂である。また、春には桜並木が美しく、多くの人出がある。 付近には寺院も多く、寛永寺や天王寺の墓地と入り組んでおり、霊園全体の形は複雑になっている。 幸田露伴の小説で有名な谷中天王寺の五重の塔も当霊園中央部にあったが、昭和32年7月6日、放火により惜しくもその姿を失った。 現在、この五重の塔跡地は都の史跡に指定されており、このほか墓所2箇所が都の旧跡に、墓所1箇所が都の史跡に指定されている。 なお、昭和32年に都市計画公園として計画決定がされ、無縁墓地整理事業の実施により将来は公園化を行なうこととなったため、昭和35年8月以降は返還墓所等の新規の使用（再貸付）は行なっていなかったが平成19年度から再開し、現在「霊園再生事業」に伴い、平成22年4月1日から立体埋蔵施設での管理も行っている。		
	<b>2 面積（m<sup>2</sup>）</b> 102,537.46			
	<b>3 位置</b> 台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目			
	<b>4 交通</b> JR線「日暮里駅」徒歩5分			
	<b>5 使用者及び埋葬者数</b> 令和5年3月31日現在			
	使用者（人） 7,493			
	埋葬者（体） 58,738			
	<b>6 文化財等の指定</b> 大原重徳墓所（都の旧跡） 菊地容斎墓所（都の旧跡） 小花作助墓所（都の史跡） 天王寺五重の塔跡（都の史跡）			
	公園の名称等		沿革とその特徴	
	染井霊園		<b>1 開設</b> 明治7年9月1日	染井霊園は、元上駒込の建部邸及び大貫邸の跡地であり、江戸時代は大貫家に対して御墨付墓地として7反（2100坪＝6,930 m <sup>2</sup> ）が下賜されたのが最初と言われている。これを東京府が引き継ぎ、明治7年9月1日に染井墓地として開設した。 明治22年には東京市に移管され、昭和10年に名称を染井霊園と改め、現在に至っている。 都立霊園の中では最も規模が小さく、ほぼ平坦で、桜の古木が点在する中に墓所が設けられている。霊園付近には幹線道路がないことから、区内霊園としては静かな地になっている。 公園化を目指し、無縁墓地整理事業実施のため、昭和37年6月以降は返還墓所等の新規の使用（再貸付）は行なっていなかったが、令和2年度からの「霊園再生事業」に伴い、再開した。また、令和3年4月1日から立体埋蔵施設の管理も行っている。
<b>2 面積（m<sup>2</sup>）</b> 67,910.73				
<b>3 位置</b> 豊島区駒込五・七丁目				
<b>4 交通</b> JR山手線・都営三田線「巣鴨駅」徒歩7分				
<b>5 使用者及び埋葬者数</b> 令和5年3月31日現在				
使用者（人） 4,095				
埋葬者（体） 31,263				
<b>6 文化財等の指定</b> なし				

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
染井 霊園		ちなみに、当霊園のある場所は、江戸時代に染井と呼ばれており、江戸園芸の中心地であった。著名な桜として世に知られる染井吉野（ソメイヨシノ）がこの地にあった植木屋を通じて世に広まったとされていることから、ソメイヨシノの発祥の地とも言われている。
公園の名称等		沿革とその特徴
八 柱 霊 園	<b>1 開設</b>	<p>本霊園は、上野から北東へ 20km の距離にあり区内霊園や当時の多磨墓地が飽和状態となったことから、当時の公園墓地構想により第二の郊外墓地として昭和 5 年に計画したもので、千葉県および松戸市の協力を得て昭和 8 年 10 月に約 74ha の用地を買収し終えて第 1 期工事に着手、昭和 10 年 7 月 1 日に開設したものである。</p> <p>建設当時、地元住民に親しまれるような明るいイメージの公園墓地とすることを基本方針とし、西欧風の公園墓地をイメージしながら「御霊の宿る園」との意味で考案したのが「霊園」という名称である。現在では、公営・民営を問わず、墓地の名称としても一般的に使用されるようになった名称だが、最初に使用されたのがこの八柱霊園であり、以降、東京都の墓地はすべて霊園と改称した。</p> <p>その後、年々利用者が増加し、昭和 35 年に既設区域も飽和状態に達したので、約 30ha にわたる拡張計画が決定され、同 39 年にはその用地買収もほぼ完了した。</p> <p>霊園の正門付近は、庭園を思わせるような設計がなされ、霊園全体がなだらかな起伏に富み、松林も多く自然環境に恵まれている。</p> <p>昭和 12 年には、霊園の一画に遺骨を短期間預かるための一時収蔵施設として、祭壇を併設した納骨堂が設置された。</p> <p>昭和 40 年から同 44 年にかけて、西洋風墓地である芝生墓地が設置された。また、平成 3 年度からは壁型埋蔵施設（通称壁墓地）、平成 25 年度からは合葬式墓地を造成し、併用を開始した。</p>
	昭和 10 年 7 月 1 日	
	<b>2 面積 (㎡)</b>	
	1,046,468.04	
	<b>3 位置</b>	
	千葉県松戸市中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮	
	<b>4 交通</b>	
	J R 武蔵野線「新八柱駅」徒歩 20 分 新京成線「八柱駅」徒歩 20 分 「新八柱駅」「八柱駅」京成バス（東松戸駅行） （紙敷車庫行）「八柱霊園」下車徒歩 1 分 北総開発鉄道線「松飛台駅」徒歩 10 分	
	<b>5 使用者及び埋葬者数</b>	
	令和 5 年 3 月 31 日現在	
	使用者 (人)	
埋葬者 (体)	339,023	
<b>6 文化財等の指定</b>		
なし		
<b>7 施設の概要</b>		
納骨堂 建築面積 163,63 ㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建 一時収蔵保管可能数 2,843 体 （令和 5 年 3 月 31 日現在 1,294 体）		
公園の名称等		沿革とその特徴
瑞 江 葬 儀 所	<b>1 開設</b>	<p>瑞江葬儀所は、東京市における唯一の公営火葬場として、低廉な料金で一般の利用に供すること等により、他の火葬場の範となるべく、昭和 10 年 3 月に都市計画決定され、昭和 13 年に開設された。</p> <p>その後、施設の老朽化とばい煙等の公害防止のため、昭和 48 年 6 月から同年 12 月にかけて全面改築工事を行い、同 50 年 2 月から業務を再開した。また、昭和 57 年度から 61 年度にかけて、順次火葬炉の更新を行った。</p> <p>現在の施設は、管理棟、火葬棟、付属施設に分かれている。火葬炉は燃料に都市ガスを用い、再燃焼装置及び集塵装置が完備され、臭気、ばい煙等の公害対策に万全を期すとともに、厳粛な中にも明るい雰囲気火葬が行えるように、構造、設備に創意工夫が凝らされている。特に、</p>
	昭和 13 年 2 月 1 日	
	<b>2 面積 (㎡)</b>	
	37,010.92	
	<b>3 位置</b>	
	江戸川区春江町三丁目 26 番 1 号	
<b>4 交通</b>		
都営新宿線「瑞江駅」徒歩 13 分 J R 総武線「小岩駅」京成バス（西駅行） （瑞江駅行）「春江町二丁目」徒歩 1 分 東京メトロ東西線「葛西駅」京成バス（小岩駅行）「瑞江斎場」		
<b>5 火葬件数 (件)</b>		
令和 4 年度実績	7,368	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
瑞 江 葬 儀 所	6 文化財等の指定	<p>周囲の景観と調和するように、火葬場のイメージそのものといえる煙突を設けないなどの配慮がなされている。</p> <p>当葬儀所では、静粛な雰囲気を保つために一日の受付件数を25件に制限している。また、当所で火葬する場合は、火葬までの間、柩を保管する業務も行っている。また、夜間も含めて電話による受付を行ったり、それまで仏式風だった祭壇を平成11年7月に無宗教型の祭壇へとリニューアルするなど、サービスの向上を図っている。</p>
	なし	
	7 施設の概要	
	建築面積 4,325.20 m <sup>2</sup> 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 式場（告別焼香斎場） 270 m <sup>2</sup> 火葬室 1,121.9 m <sup>2</sup> 火葬炉 20基（ロストル式） 1日最大25体使用 収骨室 3室（1室42 m <sup>2</sup> ） 柩保管室 8体保管可能 （1柩2m×61cm×45cm以内） 控室 10室（1室29.25 m <sup>2</sup> ）ロビー294 m <sup>2</sup> 全館冷暖房、放送設備完備 駐車場 収容台数 約75台	

④ 主な公園内施設

公園の名称等		沿革とその特徴
日比谷公園大音楽堂（日比谷公園内）	<b>1 開設</b>	<p>大正 12 年 7 月に開設された大音楽堂は、我が国最初の本格的野外音楽堂といわれ、同年 9 月の関東大震災により娯楽施設の壊滅した市内にあって、当時のすさんだ市民生活に健全な娯楽を与える場となった。</p> <p>その後、音楽会、舞踊、野外劇その他各種行事に利用されていたが、第二次世界大戦たけなわとなった昭和 18 年から一時休館していた。</p> <p>戦後は、日比谷公会堂とともに進駐軍に接收されていたが、昭和 25 年 10 月の接收解除後改修を行ない、昭和 29 年 9 月に二代目音楽堂として再開された。</p> <p>再開後は、コンサート、舞踊、集会等に利用されてきたが、最近は大出力の音響装置を使用する各種コンサート等がさかんに行なわれるようになった。</p> <p>コンサート等の多くは、高出力のアンプに多数の高性能スピーカーを組み合わせ大音量を発生し、付近の官庁管理者や公園散策者から苦情が多く寄せられるようになったことから、これらの利用は 4 月から 10 月までの土曜・日曜・祝祭日に限り使用されることとしている。</p> <p>なお、現在の施設は、昭和 57 年 8 月から休園し、(財)日本宝くじ協会からの寄贈により、全面的な改修工事を実施し、同 58 年 8 月に完成したものである。</p>
	大正 12 年 7 月	
	<b>2 位置</b>	
	千代田区日比谷公園 1 番 5 号	
	<b>3 交通</b>	
<p>J R・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」徒歩 15 分</p> <p>東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」徒歩 3 分</p> <p>東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩 3 分</p>		
<b>4 施設の概要</b>		
敷地面積	5,700 m <sup>2</sup>	
客席		
椅子席	2,669 席	
うち身体障害者用	5 席	
立見席	450 席	

公園の名称等		沿革とその特徴
第五福竜丸展示館(夢の島公園内)	<b>1 開設</b>	<p>本展示館には、昭和29年(1954年)3月1日に太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁において水爆実験による被害を受けた木造のマグロ漁船「第五福竜丸」及びその付属品、並びにこれらに関する資料を展示してある。</p> <p>ここに展示してある漁船は、昭和22年(1947年)に和歌山県で建造されたもので、始めはカツオ漁船だったが、後にマグロ漁船に改造され、遠洋漁業で活躍した。上記の被爆後は改造され、東京水産大学の練習船として活躍したが、昭和42年(1967年)に廃船となったものである。</p> <p>第五福竜丸は、船体の木材の腐朽が進み、個々の部材は木材としての強度を殆ど失っているため、昭和58年度に応急手当を、同59年度に船体の保存に関する調査を、同60年度に保存工事を行った。また、平成9年度に船体調査を実施した後に平成10年度に船体保存工事を行った。</p> <p>なお、平成8年12月に第五福竜丸のエンジンが海底から引き上げられ、平成10年1月にこのエンジンの船体がある夢の島公園内に展示して欲しい旨の要望が市民運動として起こり、東京都に要請書の提出があった。</p> <p>平成10年2月には、都知事がエンジンを受け入れるという基本方針を決定し、夢の島公園内に保存することとなった。</p> <p>エンジンは、腐食が進んでいたために、脱塩と防錆等の保存処理を行ない、平成12年度に夢の島公園内の第五福竜丸展示館の横に展示公開された。</p> <p>平成30年度には、展示館の建物について、大規模改修工事を行い、平成31年4月にリニューアルオープンした。</p>
	昭和51年4月1日	
	<b>2 位置</b>	
	江東区夢の島2-1-1	
	<b>3 交通</b>	
JR京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩13分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス新木場行、若洲海浜公園行「夢の島」徒歩5分		
<b>4 施設の概要</b>		
構造	鉄骨造2階 建変形コノイド曲線で構成	
建築面積	798.1㎡	
延床面積	802.5㎡	
入館時間	原則として午前9時30分から午後4時まで	
休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合は、その翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)	
入館料	無料 ※日常の管理は、(公財)第五福竜丸平和協会に委託している。	

公園の名称等		沿革とその特徴																															
夢の島熱帯植物館(夢の島公園内)	<b>1 開設</b>	<p>本園は、熱帯植物を庭園的に展示することにより、都民に楽しみながら植物に親しみ、レクリエーションの場とともに学習の場を提供し、併せて都市緑化思想と自然保護思想の普及啓発を図ることを目的として、夢の島公園内に開館した。</p> <p>当植物管内は、木生シダ、ダイオウヤシ、オウギバショウ、バンノキ、バナナが特に目に付く植物で、これらの植物を熱帯の環境におくため、隣接する新江東清掃工場から熱供給を受けている。</p> <p>令和3年度は、夢の島公園・夢の島熱帯植物館の公式 Youtube「ゆめねつチャンネル」の開設、「ぬいぐるみお泊り会」などの企画を実施し、休館時でも楽しめるコンテンツを提供した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年3月28日から6月1日、12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで臨時休館した。</p>																															
	<b>2 位置</b>																																
	<b>3 交通</b>																																
	<b>4 施設の概要</b>																																
	<p>昭和63年11月19日</p> <p>江東区夢の島2-1-2</p> <p>JR京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩15分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス新木場行、若洲キャンプ場行「夢の島」徒歩7分</p> <table border="0"> <tr> <td>延床面積</td> <td>約 4,300 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>大温室</td> <td>約 1,500 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ約 28m</td> </tr> <tr> <td>イベントホール</td> <td>約 320 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>映像ホール</td> <td>約 150 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>情報ギャラリー</td> <td>約 230 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>植物の種類</td> <td>約 2,000 種類</td> </tr> <tr> <td>うち大温室内</td> <td>約 800 種類</td> </tr> <tr> <td>開園時間</td> <td>午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)</td> </tr> <tr> <td>休館日</td> <td>毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)</td> </tr> <tr> <td>入館料(一人あたり)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>250円</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>120円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>小学生以下と都内在住在学の中学生は無料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20人以上の団体は2割引</td> <td></td> </tr> </table>	延床面積	約 4,300 m <sup>2</sup>	大温室	約 1,500 m <sup>2</sup>		高さ約 28m	イベントホール	約 320 m <sup>2</sup>	映像ホール	約 150 m <sup>2</sup>	情報ギャラリー	約 230 m <sup>2</sup>	植物の種類	約 2,000 種類	うち大温室内	約 800 種類	開園時間	午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)	休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)	入館料(一人あたり)		一般	250円	65歳以上	120円	中学生	100円	小学生以下と都内在住在学の中学生は無料		20人以上の団体は2割引	
延床面積	約 4,300 m <sup>2</sup>																																
大温室	約 1,500 m <sup>2</sup>																																
	高さ約 28m																																
イベントホール	約 320 m <sup>2</sup>																																
映像ホール	約 150 m <sup>2</sup>																																
情報ギャラリー	約 230 m <sup>2</sup>																																
植物の種類	約 2,000 種類																																
うち大温室内	約 800 種類																																
開園時間	午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)																																
休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)																																
入館料(一人あたり)																																	
一般	250円																																
65歳以上	120円																																
中学生	100円																																
小学生以下と都内在住在学の中学生は無料																																	
20人以上の団体は2割引																																	
公園の名称等		沿革とその特徴																															
蘆花記念館(蘆花恒春園内)	<b>1 開設</b>	<p>文豪徳富蘆花が生前所有していた多数の品々を保存する施設で、徳富蘆花の研究に欠くことができない貴重なものである。</p> <p>このほか、徳富蘆花が使用していた母屋、梅花書屋・秋水書院の中は家具などをそのまま展示して、内外から鑑賞できる。</p> <p>なお、これらの建築物は老朽化が著しいため、昭和58年度を初年度として3ヵ年で改修した。</p>																															
	<b>2 位置</b>																																
	<b>3 交通</b>																																
	<b>4 施設の概要</b>																																
	<p>昭和35年4月1日</p> <p>世田谷区粕谷一丁目</p> <p>京王線「芦花公園駅」徒歩15分 小田急線「千歳船橋駅」京王バス千歳烏山行「蘆花恒春園」徒歩7分</p> <table border="0"> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造平屋建</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>170.93 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>入館時間</td> <td>午前9時から午後4時まで</td> </tr> <tr> <td>休館日</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>入館料</td> <td>無料</td> </tr> </table> <p>ただし、年末年始及び記念館・旧宅内の整理、陳列替等で必要な場合を除く。</p>	構造	鉄筋コンクリート造平屋建	延床面積	170.93 m <sup>2</sup>	入館時間	午前9時から午後4時まで	休館日	なし	入館料	無料																						
構造	鉄筋コンクリート造平屋建																																
延床面積	170.93 m <sup>2</sup>																																
入館時間	午前9時から午後4時まで																																
休館日	なし																																
入館料	無料																																

(3) 動物園等

動物園等 (4園) 面積 946,880.173 m<sup>2</sup> (うち無料開園区域 77,508.22 m<sup>2</sup>)

公園の名称等		沿革と特徴
恩賜上野動物園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>                      明治 15 年 3 月 20 日、農商務省博物局所管の博物館附属施設として開園した日本初の動物園。明治 19 年、宮内省に移管され、大正 13 年、昭和天皇のご成婚を記念して東京市に下賜された。昭和に入り、次々と動物の収集展示が行われた。第二次大戦末期(昭和 18 年)には、ゾウ・トラ・ライオンなど 27 頭の猛獣処分命令が下されるという悲しい出来事があった。戦後は、昭和 23 年に「こども動物園」「お猿の電車」などが開設され、昭和 24 年には、子どもたちが待ち望んでいたゾウ(タイから花子・インドからインディラ)が贈られた。贈られたゾウは移動動物園の主役として日本各地を巡り、大歓迎を受けた。その後、園の拡張・展示動物の充実がすすめられ、昭和 32 年、東園・西園を結ぶモノレールが開通、昭和 39 年、不忍池西側に水族館が開館した。昭和 47 年、日中国交回復を記念してジャイアントパンダ 2 頭(カンカン、ランラン)が贈られた。パンダの人気は絶大で、入園者数は急増、昭和 49 年度には約 765 万人の人が動物園を訪れ、水族館の入園者を含めると 922 万人を超える利用者があった。</p> <p>近年、動物園の役割の中で、希少動物の「種の保存」が着目され、東京都の動物園も希少動物の繁殖に本格的に取り組むことになった。平成 8 年に全面公開した「ゴリラ・トラの住む森」は生態的展示施設で、産室など十分なバックヤードを備えており、ゴリラの本格的な群れ飼育・繁殖をめざした施設である。その後、「ゾウのすむ森」(平成 16 年)、「クマたちの丘」(平成 18 年)「アイアイのすむ森」(平成 21 年)が公開され、それぞれの施設で動物の豊かな行動を観察できる。平成 23 年には展示提案による「ホッキョクグマとアザラシの海」が完成した。また、平成 20 年度以降はジャイアントパンダが不在となったが、中国との繁殖協働プロジェクトに基づき 2 頭のジャイアントパンダが来園、平成 23 年度から一般公開が再開された。平成 27 年からは環境省・文部科学省・農林水産省のライチョウ保護繁殖計画のもと、ライチョウの卵を受け入れ、平成 28 年には採取した 4 卵すべての孵化・成育に成功した。翌年には成長した個体間での飼育下繁殖にも成功している。平成 28 年には老朽化した動物病院と検疫施設を集約・高度化した「動物医療センター」が完成し、園内に最先端の医療施設を備えることとなった。</p> <p>平成 29 年度は、ジャイアントパンダ(シンシン)の出産と子ども(シャンシャン)の一般公開、子ども動物園すてっぷ及び弁天門のリニューアルオープン等、大きな出来事が続き、6 年ぶりに入園者数が 450 万人を超えた。</p> <p>車両の老朽化のため、モノレールが令和元年 10 月末に運行を休止した。</p> <p>令和 2 年 2 月に東園無料休憩所(さるやまキ</p>
	—	
	<b>2 開園年月日</b>	
	明治 15 年 3 月 20 日	
	<b>3 面積 (m<sup>2</sup>)</b>	
	144,048.733	
	<b>4 位置</b>	
	台東区上野公園	
<b>5 交通</b>		
<p>■表門：JR「上野駅」(公園口)徒歩 5 分</p> <p>■弁天門：JR「上野駅」(不忍口)徒歩 5 分                      京成電鉄「上野駅」徒歩 4 分                      東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩 8 分                      都営大江戸線「上野御徒町駅」徒歩 10 分</p> <p>■池之端門：東京メトロ千代田線「根津駅」徒歩 5 分</p>		
<b>6 入園料</b>		
一般 600 円 中学生 200 円 65 歳以上 300 円 (小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)		
<b>7 主な施設</b>		
モノレール ※運行休止中		
<b>8 文化財等の指定</b>		
旧寛永寺五重塔(国指定重要文化財) 藤堂家墓所(区指定史跡)		

(以下次頁につづく)

	公園の名称等	沿革とその特徴
恩賜上野動物園		<p>ッチン) が利用を開始し、9月には西園に「パンダのもり」が公開された。10月31日には、上野動物園で初めてアジアゾウが出産し、オスの「アルン」が誕生した。</p> <p>令和3年6月23日には、上野動物園で初めて双子のジャイアントパンダ「シャオシャオ(オス)」と「レイレイ(メス)」が誕生した。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>令和4年3月20日に開園140周年を迎え、「はじまりはいつも上野からー動物園が、未来の動物たちにできること」をキャッチコピーに年間を通して、様々な企画を実施した。</p> <p>令和4年10月28日には日本で初めてジャイアントパンダが来園してから50周年を迎え、50年間の取組の紹介や講演会など、ジャイアントパンダの魅力を更に感じていただける様々な企画を開催した。</p> <p>令和5年2月21日、ジャイアントパンダ「シャンシャン」を中国へ返還した。</p>

	公園の名称等	沿革とその特徴						
葛西臨海水族園	<p><b>1 計画決定</b></p> <p>——</p> <p><b>2 開園年月日</b></p> <p>平成元年10月10日</p> <p><b>3 面積 (㎡)</b></p> <p>85,958.90</p> <p><b>4 位置</b></p> <p>江戸川区臨海町六丁目</p> <p><b>5 交通</b></p> <p>J R京葉線「葛西臨海公園駅」徒歩5分          東京メトロ東西線「葛西駅」、「西葛西駅」より都バス(葛西臨海公園行)「葛西臨海公園」徒歩5分          水上バス(東京水辺ライン)「葛西臨海公園」徒歩10分</p> <p><b>6 入園料</b></p> <table border="0"> <tr> <td>一般</td> <td>700円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>250円</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>350円</td> </tr> </table> <p>(小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)</p> <p><b>7 主な施設</b></p> <p>レクチャールーム          情報資料室          アクアシアター(大水槽)</p> <p><b>8 文化財等の指定</b></p> <p>なし</p>	一般	700円	中学生	250円	65歳以上	350円	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>明治15年9月、日本で最初の水族館「観魚室(うおのぞき)」が上野動物園内に開設された。当初は淡水魚を展示する水族館であったが、開園70周年記念事業の一環として海水水族館が昭和27年に新設された。</p> <p>その後、開園80周年記念事業の一環として上野動物園水族館が計画され、昭和39年10月に再度新設された。ここには、両生類・爬虫類や水生無脊椎動物の展示や、大水槽の展示に初めてアクリル樹脂を使用するなど、様々な試みが用いられ成功した。</p> <p>上野動物園開園100周年記念事業として臨海水族園建設構想を策定し、昭和62年に葛西臨海水族園建設工事が着工された。2年2か月の工事期間を経て平成元年5月下旬に工事が完了した。本館は地上3階建てで、最高部地上30.7mの大きなガラスドームが特徴である。平成元年10月10日に開園した。</p> <p>館内は47の水槽で常設展示が行われているが、ドーナツ型大水槽(2,184t)での、クロマグロ等の回遊魚の展示は圧巻である。波が打ち寄せる関東の磯を再現した「渚の生物」、その隣には「しおだまり」水槽を設け、間近で観察できるようになっている。</p> <p>屋外の園地には、かつての関東の川や池の自然を再現した「水辺の自然」がある。ここでは、池沼や溪流の水面下の様子を観察できる淡水生物館があり、二ホンコウノトリ、タンチョウの野外展示も行っている。平成27年3月から、来園が困難な方を対象に移動水族館事業を新たに開始した。</p>
一般	700円							
中学生	250円							
65歳以上	350円							

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴				
葛 西 臨 海 水 族 園		<p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b>            令和4年7月、他施設と協力して世界初となる凍結精液によるミナミイワトビペンギンの人工授精に成功した。また園内では、生き物をより間近に感じられるしかけがいっぱいの展示を体験したり、スタッフが行う教育プログラムに参加できる特設展示「イキモノマヂカ」が本格オープンした。            令和4年7月21日、本館2階で多くの生き物がサンゴを利用して暮らしている様子を再現した新水槽「サンゴ礁の海」をオープンした。</p>				
	公園の名称等	沿革とその特徴				
多 摩 動 物 公 園	<b>1 計画決定</b>	<p><b>【沿革・特徴】</b>            郊外の広い敷地における無柵放養式と豊かな自然環境の中で動物の保護増殖を推進することを基本とした新動物園建設は、昭和31年1月23日、都立多摩丘陵自然公園内で始まり、昭和33年5月5日の「子供の日」を期して開園された。            開園当時は、飼育動物130種、550余点のほか魚類が若干展示されていたが、来園者の要望に応えるべく、昭和36年に既設区域の北側に約15ha拡張してライオン園を含むアフリカ園を開園した。また、同じ昭和36年には、当時世界でも例の少ない昆虫園を開設、昭和39年には世界に先駆けてサファリ形式のライオンバスの運行を開始した。昭和59年にはオーストラリアから2頭のコアラが来園し、爆発的なコアラ人気を生んだ。            平成10年度から、隣接地に「七生公園区域」を整備し、程久保地区を平成12年6月に、南平地区を平成13年6月に開園（無料・制限公開）した。園内の飼育施設は平成3年度以降、大規模改造を進めており、オランウータンのスカイウォーク、モウコノウマやオオカミを展示する「アジアの平原」、アジアゾウ飼育施設、ライオン園などを整備した。現在はサバンナエリアを再整備中である。            動物の保全活動では、ニホンコウノトリが昭和63年に初めて繁殖して以来、毎年繁殖に成功している。平成19年に佐渡トキ保護センターから受け入れて非公開で飼育しているトキも平成20年以降順調に産卵と孵化がみられ、成長した雛は佐渡トキ保護センターに移送して多くが放鳥されている。また、オーストラリア連邦タスマニア州政府の取り組むタスマニアデビル分散飼育プログラムへの参画により、平成28年5月にタスマニアデビル2頭が来園した。            平成17年からオガサワラシジミの飼育に取り組み、平成28年に園内施設を使用した交尾に成功し方法を確立した。翌29年以降、1年以上の継続した累代飼育を重ねてきたが、令和2年春、個体の有精卵率が急激に低下し、繁殖が困難となり、同年8月25日全ての個体が死亡、生息域</p>				
	昭和32年12月21日 平成2年7月6日 (64.60ha)					
	<b>2 開園年月日</b>					
	昭和33年5月5日					
	<b>3 面積 (㎡)</b>					
	601,372.54					
	<b>4 位置</b>					
	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目					
	<b>5 交通</b>					
京王線・多摩モノレール「多摩動物公園駅」 徒歩1分						
<b>6 入園料</b>						
<table border="0"> <tr> <td>一 般</td> <td>600 円</td> </tr> <tr> <td>中 学 生</td> <td>200 円</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上</td> <td>300 円</td> </tr> </table> (小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)	一 般	600 円	中 学 生	200 円	65 歳以上	300 円
一 般	600 円					
中 学 生	200 円					
65 歳以上	300 円					
<b>7 主な施設</b>						
シャトルバス						
<b>8 文化財等の指定</b>						
なし						

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
多摩動物公園		<p>外個体群の繁殖途絶を報告した。</p> <p>令和元年度は、野生生物保全センターの工学的技術の活用等で、8年ぶりにコアラが誕生し、コアラ来園35周年記念イベントやアフリカフェア、サマーナイト@Tama Zooを開催した。また、キリンやマレーバク等多くの希少動物の繁殖に成功している。</p> <p>令和3年3月に札幌市円山動物園と、動物（ゾウ）に関する教育研究活動の拡充に向けた連携・協働に関する協定を締結した。また、7月には広い運動場と大きな屋内施設を備えた「アジアゾウのすむ谷」が公開され、ライオンバスステーションと放飼場の改築工事のために平成28年3月から休止していたライオンバスの運行を再開した。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>令和4年6月、自然交配が困難なオスのチンパンジーから精子を採取して人工授精での繁殖に成功し、野生由来個体の血統を次世代に残すことができた。</p> <p>令和4年11月、3年ぶりにアフリカフェアを実地開催し、在京アフリカ各国大使館の協力のもと、アフリカの国々の自然や文化、野生動物の現状や保全活動を紹介した。</p> <p>令和5年2月、ツクシガモとソデグロヅルから高病原性鳥インフルエンザの感染が確認された。都立動物園で初めての発生であり、消石灰散布や園内の防疫体制強化のため2月16日から4月9日まで臨時休園した。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
井の頭自然文化園	1 計画決定	<p><b>【沿革・特徴】</b></p> <p>昭和9年5月、井の頭恩賜公園内の中の島に小動物園が開園され、昭和11年には我が国初の淡水水族館を開設した。</p> <p>昭和17年5月17日に、この小動物園と御殿山地区の自然生態園地区を併せて「東京市井の頭恩賜公園自然文化園」として開園した。「行楽の間に自然科学知識の普及向上に寄与する」という大テーマの下、大放飼場を中心に動物舎・小禽舎や資料陳列館などが整備され、動植物を始め総合的な野外博物館としての性格を持つ施設にした。</p> <p>戦中、戦後の混乱期を経た昭和22年「東京都井の頭自然文化園」と改称。動物施設の充実が図られる一方、スポーツランド（遊園地）や水生生物館の設置、北村西望氏の彫刻作品を展示する彫刻園の開設、植物園的整備を進めてきた。</p> <p>アカマツ林の中に動物達が自由に生息する武蔵野ハビタット、野鳥の森、ニホンリスを間近に観察出来るリスの小径（こみち）、テンジクネ</p>
	2 開園年月日	
	3 面積（㎡）	
	4 位置	
	5 交通	
	6 入園料	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
井 の 頭 自 然 文 化 園	<b>7 主な施設</b>	<p>ズミの触れ合いコーナーを始め、日本産動物の飼育展示、武蔵野の面影を伝えるアカマツ・イヌシデ等の雑木林、山野草、シヤクナゲ、ツバキなどの植物展示、淡水魚や水に関連する動植物の展示・保護増殖などを行い、多くの都民に親しまれてきた。</p> <p>アムールヤマネコの繁殖実績が評価され、国の天然記念物ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業の域外施設に選定され、現在、雄3頭雌5頭を飼育している。</p> <p>平成25年6月、熱帯鳥温室が耐震上の関係で閉鎖し、仮設オオコウモリ舎がオープンした。</p> <p>平成28年5月、アジアゾウ（♀はな子）が69歳で死亡した。</p> <p>平成29年5月にユーラシアカワウソ、平成30年11月にニホンイノシシ2頭が来園した。</p> <p>令和3年11月にソウル大公園（韓国）からアムールヤマネコ（オス、メス）2頭を19年ぶりに搬入した。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p><b>【近年の取組等】</b></p> <p>令和4年5月17日に開園80周年を迎え、地元の魅力が集まったマルシェやスペシャルガイドなど年間を通じて様々なイベントを実施した。</p> <p>水生物館特設展示「60年の眠りから覚めた幻の水草イノカシラフラスコモ」を令和4年7月15日から12月28日まで開催し、復活までの道のりと、域外保全の取組を紹介した。</p> <p>令和4年7月6日、9年ぶりに国の天然記念物ニホンカモシカの繁殖に成功した。</p>
	<b>8 文化財等の指定</b>	
	なし	

## 第4 管内の文化財

(文化財の定義) 文化財保護法第2条 (この法律で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。)

1. 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの(これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。)並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料(以下「有形文化財」という。)
2. 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所在で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの(以下「無形文化財」という。)
3. 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの(以下「民俗文化財」という。)
4. 貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で我が国にとって学術上価値の高いもの(以下「記念物」という。)
5. 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの(以下「文化的景観」という。)
6. 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの(以下「伝統的建造物群」という。)

【当事務所が管理する公園等に存する文化財のうち、国・都により指定された主なもの】

- 1 国の特別名勝(及び特別史跡)または名勝(及び史跡)に指定されている庭園
  - (1) 旧浜離宮庭園(浜離宮恩賜庭園:特別名勝及び特別史跡)
  - (2) 小石川後楽園(特別史跡及び特別名勝)
  - (3) 六義園(特別名勝)
  - (4) 旧芝離宮庭園(旧芝離宮恩賜庭園:名勝)
  - (5) 向島百花園(名勝及び史跡)
  - (6) 旧古河氏庭園(旧古河庭園:名勝)
- 2 国の史跡に指定されている公園等
  - (1) 江戸城外堀跡(外濠公園)
  - (2) 第三台場(台場公園)、第六台場(未開園地)
- 3 国の天然記念物に指定されている文化財
  - (1) 三宝寺池沼沢植物群落(石神井公園)

- 4 国の重要文化財に指定された建造物
  - (1) 旧東京音楽学校奏楽堂（上野恩賜公園）
  - (2) 旧岩崎家住宅（庭園とする敷地も指定）（旧岩崎邸庭園）
  - (3) 旧寛永寺五重塔（恩賜上野動物園）
- 5 都の名勝に指定されている庭園
  - (1) 清澄庭園
- 6 都の史跡に指定されている公園・遺跡・墓所等（墓所は省略）
  - (1) 徳富蘆花旧宅（蘆花恒春園）
  - (2) 天王寺五重塔跡（谷中霊園）
  - (3) 大宮遺跡（和田堀公園）
  - (4) 芝丸山古墳（芝公園）
  - (5) 茂呂遺跡（城北中央公園）
  - (6) 石神井城跡（石神井公園）
- 7 都の有形文化財（建造物）に指定されている文化財
  - (1) 旧日比谷公園事務所（日比谷公園）
- 8 都の旧跡に指定されている地域・墓所等（墓所は省略）
  - (1) 徳丸ヶ原（赤塚公園）

# 付 表

- 1 有料施設の概要
  - (1) 入 園 料
  - (2) 使 用 料
- 2 年度別有料施設利用状況
- 3 開園（管理）面積調書
- 4 管内公園所在地一覧

# 1 有料施設の概要

## (1) 入園料

公園名	種別	金額		休園日	開園時間	備考
		個人	団体			
浜離宮恩賜庭園 小石川後楽園 六義園	一般及び 中学生	300円	20人以上は 左記金額の 8割の額 (10円未満切 り捨て)	12月29日 から 1月1日 (向島百花園 については 12月29日 から 1月3日、 まで)	午前9時から 午後5時 (入園は、午 後4時30分 まで)	●小学生以下・ 都内在住、在学 の中学生は無料  ●みどりの日 (5月4日) 都 民の日(10月1 日) 入園無料  ●動物園開園記 念日(恩賜上野 動物園3月20日、 葛西臨海水族園 10月10日、多摩 動物公園5月5 日、井の頭自然 文化園5月17日) は、入園無料  ●老人週間(9 月15日から21日 まで)は、60歳 以上と付添者者 一名入園無料  ●こどもの日 (5月5日)は、 中学生以下入園 無料
	65歳以上	150円				
旧芝離宮恩賜庭園 向島百花園 清澄庭園 旧古河庭園	一般及び 中学生	150円				
	65歳以上	70円				
	旧岩崎邸庭園	一般及び 中学生				
65歳以上		200円				
井の頭自然文化園	一般	400円		12月29日 から 1月1日 及び毎週月 曜日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午 後4時まで)	
	中学生	150円				
	65歳以上	200円				
恩賜上野動物園	一般	600円		12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午 後4時まで)	
	中学生	200円				
	65歳以上	300円				
葛西臨海水族園	一般	700円		12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午 後4時まで)	
	中学生	250円				
	65歳以上	350円				
多摩動物公園	一般	600円	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午 後4時まで)		
	中学生	200円				
	65歳以上	300円				
夢の島熱帯植物館	一般	250円	12月29日 から 1月3日 及び毎週月 曜日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午 後4時まで)		
	中学生	100円				
	65歳以上	120円				

※その日が国民の祝日に関する法律で規定する休日または、都民の日条例で規定する都民の日にあたる  
ときは、その翌日

## (2) 使用料

### ア 競技場

公園名	使用料金	夜間照明料金
代々木公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会	一回 (1時間以内) 1,500円
舎人公園 (400mトラック)	○18時から21時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会	
	9,300円 23,000円 28,800円	
	13,000円 31,600円 44,600円	

公園名	使用料金	夜間照明料金	
夢の島公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 5,000円	—	
和田堀公園 (300mトラック)	・学校及びこれに準ずる者 7,200円		
赤塚公園 (300mトラック)	・その他 15,800円		
光が丘公園 (400mトラック)	○13時から17時まで ・都内小、中学校 6,000円		
大泉中央公園 (400mトラック)	・学校及びこれに準ずる者 9,400円		
	・その他 21,600円		
城北中央公園 (400mトラック)	○18時から21時まで(城北中央公園、篠崎公園) ・都内小、中学校 5,000円		一回(1時間以内) 1,500円
篠崎公園 (小野球場兼用)	・学校及びこれに準ずる者 7,200円		
	・その他 15,800円		
和田堀公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 5,900円		—
	・学校及びこれに準ずる者 8,900円		
	・その他 19,800円		
	○13時から17時まで ・都内小、中学校 7,900円		
	・学校及びこれに準ずる者 11,900円		
	・その他 26,500円		
芝公園 (野球場兼用)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 3,200円	一回 (1時間以内) 3,000円	
猿江恩賜公園 (野球場兼用)	・学校及びこれに準ずる者 4,600円		
	・その他 11,100円		
	○13時から17時まで ・都内小、中学校 3,900円		
	・学校及びこれに準ずる者 6,200円		
	・その他 14,400円		
砧公園 (野球場兼用)	○18時から21時まで ・都内小、中学校 3,200円	一回 (1時間以内) 1,500円	
	・学校及びこれに準ずる者 4,600円		
	・その他 11,100円		
上野恩賜公園 (野球場兼用)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 1,500円		一回 (1時間以内) 1,500円
	・学校及びこれに準ずる者 2,200円		
	・その他 5,500円		
	○13時から17時まで ・都内小、中学校 1,900円	—	
	・学校及びこれに準ずる者 3,100円		
	・その他 7,400円		
東白鬚公園 (小野球場兼用)	○18時から21時まで(上野恩賜公園のみ) ・都内小、中学校 1,500円	—	
	・学校及びこれに準ずる者 2,200円		
	・その他 5,500円		

イ 野球場

公園名	規 模	使用料金（1回1時間以内）			休 場 日
		平 日	土日祝祭日	夜間照明	
上野恩賜公園	1面（競技場兼用）	1,200円	1,500円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
芝 公 園	2面（競技場兼用）				
猿江恩賜公園	2面（競技場兼用）				
砧 公 園	2面（競技場兼用）				
城北中央公園	2面				
浮 間 公 園	1面				
石神井公園	2面（1面照明あり） （1面照明なし）				
大泉中央公園	1面				
東綾瀬公園	3面				
舎 人 公 園	2面				
篠崎公園 A	2面				
善福寺川緑地	1面				
赤 塚 公 園	1面				
光が丘公園	4面				
篠崎公園（鹿骨）B	2面			—	
高井戸公園	1面				
和田堀公園	2面	(杉並区管理)			

ウ 小野球場

公園名	規 模	使用料金（1回1時間以内）			休 場 日
		平 日	土日祝祭日	夜間照明	
大島小松川公園 A	2面（小サッカー場兼用）	500円	600円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
篠崎公園 A	2面（競技場兼用）				
大島小松川公園 B	1面（照明なし）				
東白鬚公園	2面				
善福寺川緑地	1面				
城北中央公園	2面				
石神井公園 B	1面			—	

エ テニスコート

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）		休場日
		料金	夜間照明	
日比谷公園	5面	1,300円	500円	12月31日 から 翌年1月3日
大島小松川公園	4面			
芝公園	3面			
猿江恩賜公園	8面			
亀戸中央公園	4面			
木場公園	6面			
東綾瀬公園	4面			
城北中央公園	9面（8面照明あり） 1面照明なし			
浮間公園	4面			
光が丘公園	8面			
舎人公園	14面			
篠崎公園	8面			
東白鬚公園	4面			
祖師谷公園	4面			
善福寺川緑地	3面			
赤塚公園	7面			
石神井公園	2面			
汐入公園	4面	—		

オ サッカー場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）		休場日
		料金	夜間照明	
大島小松川公園	小サッカー場(小野球場兼用)	1,800円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
砧公園	小サッカー場			
代々木公園	ラグビー・ホッケー場兼用	3,600円	—	

カ 弓道場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）			休場日
		個人	料金	夜間照明	
旧芝離宮恩賜庭園	7人立	個人	140円	—	12月29日 から 翌年1月3日
光が丘公園	16人立	個人 団体 弓矢	210円 21,600円 140円	—	

キ 音楽堂・野外ステージ等

公園名	施設名	使用料（1回4時間以内）					休園日
日比谷公園	日比谷公会堂	閉鎖中					12月29日から 翌年1月3日 まで及び毎週 月曜日（祝日等 の場合は翌日）
	大音楽堂	昼間	平日 土日祝日	83,500円 158,400円	夜間	112,300円 158,400円	
	小音楽堂	11,100円					
上野恩賜公園	野外ステージ	15,800円					
代々木公園		15,800円					
石神井公園		15,800円					

公園名	施設名	使用料（1日）	休園日
日比谷公園	第一陳列場・第二陳列場	8,600円	12月29日 から 翌年1月3日
	第三陳列場	14,400円	

ク 集会場

公園名	施設名	使用料	収容 人員	使用時間 （※1回4時間以内）
水元公園	涼亭	全室	16人	9：30～12：30
		菖蒲の間	8人	13：00～16：30
		ポプラの間	8人	17：30～20：30
浜離宮恩賜庭園	中島の御茶屋	21,600円	40人	9：00～12：00 13：00～16：00
	芳梅亭	3,600円	25人	
小石川後楽園	涵徳亭	全室	115人	12：30～16：00 17：00～20：30
		広間	40人	
		別間	20人	
		小室（洋間）	15人	
		小室（日本間）	10人	
六義園	心泉亭	全室	25人	9：00～12：00 12：30～16：00
		松の間・つつじの間	17人	
		もみじの間	8人	
	宜春亭	5人		
向島百花園	御成座敷	全室	35人	9：00～12：30 13：00～16：30 17：00～20：30
		御成の間	15人	
		中の間	10人	
		芭蕉の間	10人	
清澄庭園	大正記念館	25,900円	150人	9：00～12：30 13：00～16：30 17：00～20：30
	涼亭	5,500円	40人	
蘆花恒春園	梅花書屋	800円	20人	9：00～16：00 <sup>**</sup>
	愛子夫人居宅	1,200円	20人	
井の頭自然文化園	資料館 集会場	全室	40人	9：30～16：00 <sup>**</sup>
		一室	20人	
		別室	20人	
	童心居	2,100円	10人	

ケ 有料駐車場（管理運営は公益財団法人東京都公園協会）

公園名	施設名	収容台数 (台)	利用時間	乗用車 (円)	バス (円)	運営時間	
上野恩賜公園	第一駐車場	19	1時間まで (超過30分毎に)	—	1,000	午前8時30分から 午後5時30分 (入庫は午後4時30分まで)	
	第二駐車場	24		—	(500)		
代々木公園		64	1時間まで (超過30分毎に)	600 (300)	1,000 (500)		
			4時間以上12時間まで	2,400	—		
水元公園	第一駐車場	214	1時間まで 2時間まで (超過30分毎に)	200	—		
	第二駐車場	24		(100)	1,000 (500)		
	第三駐車場	49		800	—		
葛西臨海公園		181	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—		
			2時間まで (超過30分毎に)	—	1,500 (500)		
			4時間以上12時間まで(平日のみ)	1,200	—		
夢の島公園	第一駐車場	123	1時間まで (超過30分毎に)	200 (100)	—	24時間 (自動)	
	第二駐車場	20		2時間まで (超過1時間毎に)	—		1,000 (500)
木場公園	第一駐車場	107	1時間まで	400	—		
	第二駐車場	30		—	—		
駒沢オリンピック ビック公園	第一駐車場	181	2時間まで (超過30分毎に)	—	2,000		
	第二駐車場	42		(200)	(500)		
潮風公園	北駐車場	134	4時間以上12時間まで	1,600	—		
	南駐車場	84		—	—		
大島小松川公園		97	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	1,000 —		
			(超過30分毎に)	—	(500)		
			4時間以上12時間まで	1,200	—		
光が丘公園		251	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	1,000 (500)		
石神井公園	第一駐車場	42	4時間以上12時間まで	1,600	—	24時間(自動)	
	第二駐車場	31		—	—	(第二の入庫は午前7時から 午後8時まで, 出庫は24時間)	
舎人公園	第一駐車場	78	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—		
	第二駐車場	46		2時間まで (超過30分毎に)	—		1,000 (500)
	第三駐車場	22		4時間以上24時間まで 7時間以上24時間まで	1,200 —		— 6,000
砧公園		236	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—		
			2時間まで (超過30分毎に)	—	2,000 (500)		
			4時間以上12時間まで	1,200	—		
篠崎公園	第一駐車場	192	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—		
	第二駐車場	49		2時間まで (超過30分毎に)	—		1,500 (500)
			4時間以上当日24時まで	1,200	—		
蘆花恒春園		42	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	—	24時間 (自動)	
			4時間以上12時間まで	1,600	—		
赤塚公園		28					
宇喜田公園	第一駐車場	18	1時間まで	300			
	第二駐車場	31					
浮間公園		35					
汐入公園	第一駐車場	43	1時間まで (超過20分毎に)	(100)			
	第二駐車場	27					
城北中央公園		66	4時間以上12時間まで	1,200	—		
中川公園		21					
東綾瀬公園		107					
和田堀公園	第一駐車場	15	1時間まで	200 (100)			
	第二駐車場	47					
大泉中央公園		66	4時間以上12時間まで	800	—		
高井戸公園		40	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	—		
			4時間以上12時間まで	1,600	—		

コ 霊園附属施設

(令和3年4月1日改定)

名 称	種 別		使用料	単 位	
			金 額		
八柱霊園納骨堂	一時収蔵		1箇所、5年以内、 1年につき	1,600円	
雑司ヶ谷崇祖堂	短期収蔵	第一種 (一段式)	1箇所、5年間	154,000円	
		第二種 (一段式)		116,000円	
		第三種 (一段式)		74,000円	
		第四種 (三段式)		上段	21,000円
				中段	26,000円
				下段	23,000円
		第五種 (四段式)		上段	10,000円
				中段	27,000円
				下段	24,000円
		第六種 (六段式)		上段	9,000円
				中段	11,000円
				下段	10,000円
		一時収蔵		1箇所、5年以内、 1年につき	1,600円
式場 (附属休憩所を含む。)		1回、2時間以内	6,400円		

サ 葬儀所

名 称	種 別	使用料		
		単 位	金 額	
			都民	都民外
瑞江葬儀所	火葬料	7歳以上、一柩	59,600円	71,520円
		7歳未満、一柩	34,500円	41,400円
		胎児、一柩	18,400円	22,080円
		改葬遺骨、一個	25,600円	30,720円
		外科手術等による四肢、一個	14,900円	17,880円
		要保護者・公費対象者 (7歳以上)、一柩	600円	
		要保護者・公費対象者 (7歳未満)、一柩	500円	
	棺保管料	一柩 (24時間以内)	8,140円	9,760円
	控室料	一室	10,200円	12,240円
		一室 (要保護者・公費対象者)	5,100円	
証明手数料	火葬及び焼骨分骨証明書	400円		
青山葬儀所	式場・待合室 利用料	閉鎖中		
	式場利用料	閉鎖中		

## 2 年度別有料施設利用状況

ア 運動施設利用件数 ※令和2年3月28日から令和2年6月14日まで及び令和3年3月8日から令和3年5月11日まで休止

種 別	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
競 技 場	970件	921件	987件	667件	658件	1,045件
野 球 場	48,010件	52,165件	49,963件	31,758件	45,868件	6,886件
テニスコート	251,447件	265,220件	258,576件	161,523件	253,163件	94,387件
サ ッ カ ー 場	3,818件	4,054件	4,137件	2,714件	2,912件	2,901件
弓 道 場	22,631件	22,138件	22,487件	10,470件	16,085件	23,082件

イ 音楽堂・野外ステージ等利用件数

種 別	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
日比谷公会堂 会場	—	—	—	—	—	—	
音楽堂	大 会場	312件	247件	287件	88件	214件	423件
	小 会場	109件	85件	48件	28件	60件	48件
野外ステージ	644件	708件	698件	704件	544件	507件	
陳列場	101件	69件	113件	36件	60件	77件	

ウ 火葬件数

名 称	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
瑞江葬儀所	7,810件	7,608件	7,649件	6,878件	6,975件	7,368件

エ 有料庭園利用者数（上段：有料〔人〕、中段：無料〔人〕、下段：合計人数）

名 称	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
浜離宮恩賜庭園	730,125人	656,404人	548,062人	127,236人	130,963人	354,508人
	96,971人	94,238人	73,304人	19,289人	16,927人	47,458人
	827,096人	750,642人	621,366人	146,525人	147,890人	401,966人
旧芝離宮恩賜庭園	152,118人	132,087人	110,404人	31,480人	33,440人	85,623人
	36,038人	32,670人	25,217人	8,932人	8,646人	24,569人
	188,156人	164,757人	135,621人	40,412人	42,086人	110,192人
小石川後楽園	362,710人	298,682人	273,107人	83,619人	98,638人	231,176人
	40,092人	39,875人	36,141人	12,766人	10,686人	27,410人
	402,802人	338,557人	309,248人	96,385人	109,324人	258,586人
六 義 園	840,049人	662,262人	530,086人	153,854人	167,497人	356,166人
	140,985人	114,691人	88,660人	27,729人	19,580人	58,655人
	981,034人	776,953人	618,746人	181,583人	187,077人	414,821人
向島百花園	85,084人	78,722人	78,506人	32,487人	27,147人	72,321人
	33,879人	36,921人	31,650人	8,590人	10,432人	19,784人
	118,963人	115,643人	110,156人	41,077人	37,579人	92,105人
清澄庭園	204,978人	200,697人	194,976人	72,075人	84,994人	169,592人
	37,110人	42,985人	50,686人	19,118人	17,174人	29,449人
	242,088人	243,682人	245,662人	91,193人	102,168人	199,041人
旧古河庭園	257,492人	272,390人	256,481人	87,489人	96,668人	215,669人
	37,076人	45,031人	57,395人	17,731人	18,116人	50,055人
	294,568人	317,421人	313,876人	105,220人	114,784人	265,724人
旧岩崎庭園	153,574人	136,222人	115,585人	30,796人	43,865人	108,758人
	39,176人	37,255人	36,794人	9,105人	6,337人	22,900人
	192,750人	173,477人	152,379人	39,901人	50,202人	131,658人
合 計	2,786,130人	2,437,466人	2,107,207人	619,036人	683,212人	3,593,628人
	461,327人	443,666人	399,847人	123,260人	107,898人	280,280人
	3,247,457人	2,881,132人	2,507,054人	742,296人	791,110人	3,873,908人

※旧岩崎邸庭園は令和2年2月29日から、それ以外の庭園については令和2年3月28日から令和2年5月31日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

オ 有料施設利用者数（上段：有料 [人]、中段：無料 [人]、下段：合計人数）

名 称	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
恩賜上野動物園	2,700,050人	3,110,008人	2,312,183人	416,011人	439,729人	2,197,197人
	1,800,364人	1,854,539人	1,167,807人	109,988人	125,581人	859,392人
	4,500,414人	4,964,547人	3,479,990人	525,999人	565,310人	3,056,589人
多摩動物公園	485,276人	447,327人	441,594人	240,283人	241,785人	413,997人
	492,455人	467,209人	429,428人	182,469人	156,662人	367,948人
	977,731人	914,536人	871,022人	422,752人	398,447人	781,945人
葛西臨海水族園	701,622人	657,846人	592,833人	201,435人	252,344人	674,661人
	783,102人	739,235人	675,870人	134,700人	176,718人	536,651人
	1,484,724人	1,397,081人	1,268,703人	336,135人	429,062人	1,211,312人
井の頭自然文化園	462,636人	445,127人	428,748人	222,747人	176,909人	406,518人
	401,737人	402,134人	351,264人	158,503人	123,761人	329,408人
	864,373人	847,261人	780,012人	381,250人	300,670人	735,926人
夢の島熱帯植物館	52,999人	45,897人	47,591人	25,015人	24,188人	59,800人
	41,926人	30,670人	27,228人	11,061人	11,089人	38,312人
	94,925人	76,567人	74,819人	36,076人	35,277人	98,112人

※恩賜上野動物園と葛西臨海水族園は令和2年2月29日から令和2年6月22日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※多摩動物公園は令和2年3月28日から令和2年6月3日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※井の頭自然文化園は令和2年3月28日から令和2年6月1日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※夢の島熱帯植物館は令和2年3月28日から令和2年6月1日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休館

カ 集会場利用件数

名 称	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
水元公園	ポプラの間	—	—	—	24件	43件
	菖蒲の間	100件	105件	78件	59件	55件
浜離宮恩賜庭園	中島の御茶屋	0件	0件	0件	0件	0件
	芳梅亭	184件	233件	235件	56件	69件
小石川後楽園	広間	453件	85件	89件	25件	21件
	別間	434件	78件	208件	60件	76件
	小室洋間	1,188件	230件	696件	193件	180件
	小室日本間	329件	68件	128件	23件	34件
六義園	宜春亭	15件	12件	7件	0件	3件
	松の間	64件	75件	61件	12件	12件
	つつじの間	64件	75件	61件	12件	12件
向島百花園	もみじの間	52件	70件	64件	20件	14件
	芭蕉の間	129件	70件	102件	14件	12件
	中の間	131件	73件	114件	16件	12件
清澄庭園	御成の間	209件	113件	178件	42件	32件
	大正記念館	276件	270件	258件	51件	43件
蘆花恒春園	涼亭	798件	771件	674件	253件	165件
	梅花書屋	0件	0件	0件	0件	0件
井の頭文化園	愛子夫人居宅	45件	41件	30件	15件	11件
	資料館集会場	61件	69件	43件	31件	15件
合計	童心居	47件	58件	51件	16件	11件
		4,579件	2,496件	3,077件	898件	767件

※水元公園及び蘆花恒春園は、令和2年3月28日から令和2年5月31日まで休止

※各庭園は、令和2年3月28日から令和2年5月31日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休止

※井の頭自然文化園は、令和2年3月28日から令和2年6月1日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休止

### 3 開園（管理）面積調書

#### 1. 直轄

令和5年6月1日現在

		公園名	開園面積(㎡)
直轄公園	1	上野恩賜公園	538,761.46
		(恩賜上野動物園除く)	395,863.57
	2	明治公園	61,342.46
		計	457,206.03

		公園名	開園面積(㎡)
葬儀所	1	青山葬儀所	9,559.65
		計	9,559.65

#### 2. 委託

		公園名	開園面積(㎡)
指定管理者管理公園	1	芝公園	122,501.09
	2	戸山公園	186,471.81
	3	東白鬚公園	103,127.60
	4	猿江恩賜公園	145,088.43
	5	夢の島公園	433,612.23
	6	潮風公園	154,542.41
	7	台場公園	29,963.40
	8	亀戸中央公園	103,205.34
	9	木場公園	238,711.13
	10	大島小松川公園	249,282.77
	11	林試の森公園	120,762.91
	12	砧公園	391,777.35
	13	蘆花恒春園	80,304.43
	14	駒沢オリンピック公園	413,573.09
	15	祖師谷公園	94,902.81
	16	善福寺公園	80,264.47
	17	善福寺川緑地	181,220.07
	18	和田堀公園	260,502.79
	19	城北中央公園	258,915.20
	20	浮間公園	117,330.24
	21	赤塚公園	255,480.40
	22	石神井公園	226,232.99
	23	光が丘公園	607,823.73
	24	大泉中央公園	103,000.00
	25	東綾瀬公園	158,969.79
	26	中川公園	120,698.72
	27	舎人公園	649,645.09
	28	尾久の原公園	61,841.28
	29	篠崎公園	312,744.18
	30	葛西臨海公園	778,597.49
		(葛西臨海水族園除く)	692,638.59
	31	宇喜田公園	59,812.58
	32	汐入公園	129,369.83
	33	横綱町公園	19,579.53
	34	青山公園	44,750.46
	35	日比谷公園	161,636.66
	36	水元公園	966,814.23
	37	代々木公園	544,711.27
	38	東京臨海広域防災公園	65,197.12
	39	高井戸公園	81,666.51
40	練馬城址公園	32,106.02	
	計	9,060,778.55	

		公園名	開園面積(㎡)
庭園	1	浜離宮恩賜庭園	250,215.72
	2	旧芝離宮恩賜庭園	43,175.36
	3	小石川後楽園	70,847.17
	4	六義園	87,809.41
	5	向島百花園	10,885.88
	6	清澄庭園	81,091.27
	7	旧古河庭園	30,780.86
	8	旧岩崎邸庭園	20,709.25
		計	595,514.92

		公園名	開園面積(㎡)
動物園	1	恩賜上野動物園	142,897.89
	2	多摩動物公園	601,372.54
	3	葛西臨海水族園	85,958.90
	4	井の頭自然文化園	115,500.00
		計	945,729.33

		公園名	開園面積(㎡)
霊園・葬儀所	1	青山霊園	263,564.27
	2	雑司ヶ谷霊園	106,110.29
	3	谷中霊園	102,537.46
	4	染井霊園	67,910.73
	5	八柱霊園	1,046,468.04
	6	瑞江葬儀所	37,010.92
		計	1,623,601.71

## 4 管内公園所在地一覧

東部公園緑地事務所直営管理公園・施設					
名称	郵便番号	管理所・公園等所在地	電話番号	FAX番号	備考
上野恩賜公園	110-0007	台東区上野公園5-20	03-3828-5644	03-3827-7752	
明治公園	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷一丁目	03-3821-6145	03-5685-0144	東部公園緑地事務所
日比谷公会堂	100-0012	千代田区日比谷公園1-3	同上	同上	
青山葬儀所	107-0062	港区南青山2-33-20	同上	同上	

### 指定管理者による管理施設・公園

公益財団法人 東京都公園協会管理公園（指定管理者）					
※1（平成28年4月1日～令和8年3月31日：予定期間） ※2（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間） ※3（令和3年4月1日～令和8年3月31日：予定期間） ※4（平成31年4月1日～令和6年3月31日：予定期間） ※5（令和5年5月1日～令和10年3月31日：予定期間）					
名称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
浜離宮恩賜庭園	104-0046	中央区浜離宮庭園1-1	03-3541-0200	03-3541-0264	※1
旧芝離宮恩賜庭園	105-0022	港区海岸1-4-1	03-3434-4029	03-3434-4037	※1
小石川後楽園	112-0004	文京区後楽1-6-6	03-3811-3015	03-3811-3244	※1
六義園	113-0021	文京区本駒込6-16-3	03-3941-2222	03-3944-5008	※1
向島百花園	131-0032	墨田区東向島3-18-3	03-3611-8705	03-3619-2321	※1
清澄庭園	135-0024	江東区清澄3-3-9	03-3641-5892	03-3641-5884	※1
旧古河庭園	114-0024	北区西ヶ原1-27-39	03-3910-0394	03-3916-8166	※1
旧岩崎邸庭園	110-0008	台東区池之端1-3-45	03-3823-8340	03-3823-8033	※1
戸山公園	169-0072	新宿区大久保3-5-1	03-3200-1702	03-3200-0066	※2
東白鬚公園	131-0034	墨田区堤通2-2-1	03-3614-4467	03-3614-4456	※1
木場公園	135-0023	江東区平野4-6-1	03-5245-1770	03-5245-1772	※1
砧公園	157-0075	世田谷区砧公園1-1	03-3700-0414	03-3700-7059	※1
善福寺公園	167-0041	杉並区善福寺3-9-10	03-3396-0825	03-3394-9906	※2
善福寺川緑地	166-0016	杉並区成田西1-30-27	03-3313-4247	03-5378-2417	※1
和田堀公園	—	杉並区大宮一丁目ほか	同上	同上	※1 善福寺川緑地
汐入公園	116-0003	荒川区南千住8-13-1	03-3807-5181	03-3807-5182	※1
城北中央公園	179-0084	練馬区氷川台1-3-1	03-3931-3650	03-3931-3770	※1
浮間公園	174-0041	板橋区舟渡2-15-1	03-3969-9168	03-3969-9571	※2
赤塚公園	175-0082	板橋区高島平3-1	03-3938-5715	03-3938-5922	※2
石神井公園	177-0045	練馬区石神井台1-26-1	03-3996-3950	03-3995-0789	※2

公益財団法人 東京都公園協会管理公園（指定管理者）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
光が丘公園	179-0072	練馬区光が丘4-1-1	03-3977-7638	03-3977-7433	※1
大泉中央公園	178-0061	練馬区大泉学園町9-4-3	03-3867-8096	03-3921-3874	※2
舎人公園	121-0837	足立区舎人公園1-1	03-3857-2308	03-3857-6798	※1
篠崎公園	133-0054	江戸川区上篠崎1-25-1	03-3670-4080	03-3670-4175	※1
葛西臨海公園	134-0086	江戸川区臨海町6-2-1	03-5696-1331	03-5696-1332	※3
代々木公園	151-0052	渋谷区代々木神園町2-1	03-3469-6081	03-3469-6082	※1
水元公園	125-0034	葛飾区水元公園3-2	03-3607-8321	03-3600-6929	※1
駒沢オリンピック公園	154-0013	世田谷区駒沢公園1-1	03-3421-6431	03-3413-2577	※1
高井戸公園	168-0082	杉並区久我山2-19-43	03-3331-1336	03-5941-3123	※2
雑司ヶ谷霊園	171-0022	豊島区南池袋4-25-1	03-3971-6868	03-3971-1355	※1
青山霊園	107-0062	港区南青山2-32-2	03-3401-3652	03-3404-4724	※1
谷中霊園	110-0001	台東区谷中7-5-24	03-3821-4472	03-3821-4484	※1
染井霊園	170-0003	豊島区駒込5-5-1	03-3918-3502	03-3918-3610	※1
八柱霊園	270-2255	千葉県松戸市田中新田48-2	047-387-2181	047-387-2182	※1
瑞江葬儀所	132-0003	江戸川区春江町3-26-1	03-3670-0131	03-3670-0388	※4
練馬城址公園	179-0074	練馬区春日町1-1-32	03-3825-5021	03-5848-3170	※5

アメニス東部地区グループ（指定管理者）

（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
猿江恩賜公園	135-0001	江東区毛利2-13-7	03-3631-9732	03-3631-9738	
亀戸中央公園	136-0071	江東区亀戸9-37-28	03-3636-2558	03-3636-2575	
尾久の原公園	116-0012	荒川区東尾久7-1	03-3819-8838	03-3819-8854	
東綾瀬公園	120-0004	足立区東綾瀬3-4	03-3605-0005	03-3605-0046	
中川公園	120-0002	足立区中川5-1-1	03-3629-8164	03-3629-8264	
大島小松川公園	136-0072	江東区大島9-9	03-3637-6696	03-3636-9365	
宇喜田公園	—	江戸川区北葛西三丁目ほか	同上	同上	大島小松川公園

アメニス夢の島グループ（指定管理者）

（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
夢の島熱帯植物館	136-0081	江東区夢の島2-1-2	03-3522-0281	03-3522-0283	
夢の島公園	—	江東区夢の島	同上	同上	熱帯植物館

東京臨海副都心グループ（指定管理者） （平成28年4月1日～令和8年3月31日：予定期間）						
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考	
潮 風 公 園	135-0092	品川区東八潮1-2	03-5500-0385	03-5500-2456		
台 場 公 園	—	港区台場一丁目	同上	同上	潮風公園	

東京南部パークスグループ（指定管理者） 予定期間：※5（令和5年4月1日～令和10年3月31日） ※6（令和5年4月1日～令和6年9月30日）						
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考	
芝 公 園	105-0011	港区芝公園4-10-17	03-3431-4359	03-3431-4363	※5	
林 試 の 森 公 園	142-0061	品川区小山台2-6-11	03-3792-3800	03-3792-0153	※5	
蘆 花 恒 春 園	157-0063	世田谷区粕谷1-20-1	03-3302-5016	03-3302-5016	※5	
祖 師 谷 公 園	157-0065	世田谷区上祖師谷3-22-19	03-5384-1693	03-5384-1884	※5	
青 山 公 園	107-0062	港区南青山2-32-2	03-3470-3223	03-3470-3224	青山霊園 ※5	
日 比 谷 公 園	100-0012	千代田区日比谷公園1-6	03-3501-6428	03-3501-6429	※5	
大 音 楽 堂	100-0012	千代田区日比谷公園1-5	03-3591-6388	03-3591-6389	野音:通称 ※6	

公益財団法人 東京都慰霊協会（指定管理者） （令和3年4月1日～令和8年3月31日：予定期間）						
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考	
横 網 町 公 園	130-0015	墨田区横網2-3-25	3622-1208	3623-1200	(Tel、Fax兼用)	

西武造園株式会社（指定管理者） （令和2年2月1日～令和6年1月31日：予定期間）						
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考	
東京臨海広域防災公園	135-0063	江東区有明3-8-35	03-3529-2180	03-3529-2188		

【動物園等施設】

施設管理予定期間： ※7（平成28年4月1日～令和8年3月31日）  
※8（令和5年4月1日～令和8年3月31日）

公益財団法人東京動物園協会（指定管理者）						
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考	
恩 賜 上 野 動 物 園	110-8711	台東区上野公園9-83	03-3828-5171	03-3821-2493	※7	
多 摩 動 物 公 園	191-0042	日野市程久保7-1-1	042-591-1611	042-593-4351	※7	
井 の 頭 自 然 文 化 園	180-0005	武蔵野市御殿山1-17-6	0422-46-1100	0422-46-1906	※7	
葛 西 臨 海 水 族 園	134-8587	江戸川区臨海町6-2-3	03-3869-5152	03-3869-5155	※8	

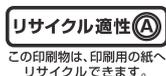
## 東京都東部公園緑地事務所事業概要

令和5年版  
令和5年10月発行

登録番号(5)2

編集・発行 東京都東部公園緑地事務所庶務課  
〒110-0007 台東区上野公園7番47号  
電話 03-3821-6141 庶務課ダイヤルイン  
03-3821-6145 管理課ダイヤルイン  
03-3821-6964 事業推進課ダイヤルイン  
03-3821-7001 工事課ダイヤルイン  
03-3822-5817 動物園工事ダイヤルイン

印刷所 株式会社 アイコー印刷  
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-7



石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

HTT 電力を  
へらす  
つくる  
ためる

*Tokyo*.Tokyo